

レンズ交換式 デジタルカメラ

CGI コマンドリスト

ソフトウェアバージョン 3.00

ILME-FR7 / ILME-FR7K

目次

概要	3	ストリームを取得する	84
本書について	3	映像ストリームを取得する	85
事前準備	3	RTP/RTCP	94
初期設定	3	RTP ヘッダーフィールド	94
Referer チェック (Referer Check) の設定		SR : RTCP パケットの送信者レポート	95
変更	3	映像ストリームの Userdata 情報	96
認証について	3	ビデオコーデック H.264 Userdata 情報	96
CGI コマンドで設定する／問い合わせる	4	ビデオコーデック H.265 Userdata 情報	97
コマンドで設定する	4	SRT 要求 URL	98
コマンドで問い合わせる	4	モーション JPEG 取得 URL	98
コマンドリスト	6	One Shot JPEG 取得 URL	99
Press/Release コマンドについて	6	CGI コマンド設定値	100
状態の取得	7	カメラ IP 設定コマンド	107
撮影操作	10		
パン・チルト・ズーム・フォーカスに関する			
設定	10		
プリセットポジションに関する設定	20		
PTZ トレースに関する設定	24		
PTZ オートフレーミング機能に関する			
設定	26		
PTZ オートフレーミング機能に関する			
制御指示	31		
露出・ホワイトバランスに関する設定	32		
カメラ映像の画面表示と記録・再生に関する			
操作	39		
特殊な撮影機能や、LUT 操作に関する			
設定	41		
アサインブルボタンの操作	42		
タリーランプに関する設定、状態取得	43		
レンズコントローラーに関する設定	44		
プロジェクトの設定	45		
記録フォーマットの設定、記録機能に関する			
設定、All ファイルの管理	45		
画づくりの設定	49		
Scene ファイルに関する設定	49		
基本ルックの設定	50		
基本ルック以外の画づくりに関する設定	51		
映像出力の設定	52		
音声の設定	53		
ネットワークの設定	54		
ストリーミングの設定・操作	65		
メタデータの設定	73		
メンテナンス	74		
Web App	80		
対応コーデック	81		
RTSP 要求 URL	81		
RTSP メソッド	82		
対応メソッド	82		
RTSP 通信の代表的なシーケンス	83		

本コマンドリストをもとに作成したコントロールソフトウェアの動作により生じたお客様のハードウェアおよびソフトウェアの不具合、損害については保証いたしませんのであらかじめご了承ください。

概要

本書について

本書では、レンズ交換式デジタルカメラ ILME-FR7 / ILME-FR7K の CGI コマンド仕様や RTSP ストリーミングに関する仕様について説明します。本書では、以降は本製品を「カメラ」または「本機」と称することとします。

事前準備

本書では、本機がサポートする CGI コマンドや RTSP 機能を使用してネットワーク経由でのリモート制御や映像・音声ストリーミングなどを行うための情報を提供します。本機の CGI コマンドおよび RTSP ストリーミング機能をお使いになるためには、いくつかの事前設定が必要となります。下記にその事前設定について説明します。

初期設定

カメラにアクセスするためには、管理者パスワード、言語および時計を設定する必要があります。初期設定については、ヘルプガイドの「本機の初期設定を行う」を参照してください。

Referer チェック (Referer Check) の設定変更

工場出荷時の状態では、CGI コマンドの配信は、カメラに組み込まれた Web ページを介してのみ可能となるように HTTP header の Referer というフィールドを確認し、リクエストのチェックを行っています。この Referer チェック機能により CGI リクエストが拒否されないように設定を変更できます。

Web ブラウザーを使用して設定メニューから Referer チェック機能の設定を変更する方法については、ヘルプガイドの [Web メニューと詳細設定] の [Network] メニュー > [Referer Check] を参照してください。

Referer チェックを有効にしたまま CGI コマンドをお使いになりたい場合には、CGI リクエストを作成する際に HTTP ヘッダーに下記のような Referer ヘッダーを付加することで対応することも可能です。

```
Referer: http://<camera_address>/r\n
```

ここで <camera_address> はカメラの IP アドレスとなります (HTTP ポート番号が 80 番の場合)。

認証について

本機は IETF RFC 2617 で規定される HTTP/RTSP Digest 認証に対応しています。

本機で CGI コマンドを使用するには、必要なレベルの認証を行う必要があります。カメラとの CGI コマンド通信を実現するソフトウェアなどを構築する場合は、コマンド要求の応答として HTTP 401 Unauthorized 応答に適切な認証ができるように HTTP ヘッダーを構築してください。

本機でサポートされている RTSP ストリーミング機能は、「RTSP 認証設定」に応じて必要なレベルの認証を行う必要があります。カメラとの RTSP ストリーミング機能を実現するソフトウェアなどを構築する場合は、コマンド要求の応答として RTSP 401 Unauthorized 応答に適切な認証が可能になるように RTSP ヘッダーを構築してください。

Web ブラウザーを使用して設定メニューから RTSP 認証機能の設定を変更する方法については、ヘルプガイドの [Web メニューと詳細設定] の [Stream] メニュー > [Stream] > [RTSP] > [RTSP Authentication] を参照してください。

認証が On の場合は RTSP ストリーミングにおいて本機の利用者名とパスワードの認証を行います。

ご注意

同じコンピューターから連続で認証エラーが発生すると、以降のリクエストがブルートフォースアタックとみなされてしまう恐れがあります。HTTP 401 応答を受信した場合には、適切なユーザー・パスワードによる認証情報が付加されるようにソフトウェアを構築してください。

Web ブラウザーを使用して設定メニューからブルート・フォース・アタック・プロテクション機能の設定を変更する方法については、[Web メニューと詳細設定] の [Network] メニュー > [Brute Force Attack Protection] を参照してください。

CGI コマンドで設定する／問い合わせる

コマンドで設定する

以下の Syntax にしたがって CGI コマンドを記述し、カメラの設定を行います。パラメーターを同じ CGI 名 (Syntax の <cgi> の一部) にすると、いくつかのパラメーターを一度に送信できます。この場合、各 <parameter>=<value> の間に "&" を挿入する必要があります。

メソッド

GET/POST

Syntax

```
http://<camera_address>/command/<cgi>?<parameter>=<value>[&<parameter>=<value>...]
```

または

```
http://<camera_address>/command/<cgi>?<parameter>=<value1,value2,...,valueN>
```

パラメーター

詳細は「コマンドリスト」を参照してください。「コマンドリスト」表内の "<" と ">" のカッコについて、一対のカッコに囲われた文字列は数値のシンボルであり、パラメーター名そのものではありません。例えば、パラメーター名が SampleParam<n> と記述されている場合、実際は SampleParam1, SampleParam2, ... と表されます。

コマンドで問い合わせる

以下の問い合わせコマンドはカメラの現在のステータスを得るために使用します。「コマンドリスト」で問い合わせパラメーターを持つ項目は、その項目の現在の設定値を問い合わせ可能です。応答形式としては、「標準形式」と「JS (Java Script) パラメータ形式」をサポートしています。

メソッド

GET/POST

Syntax1 (標準形式)

```
http://<camera_address>/command/inquiry.cgi?inq=
<Inquiry>[&inq=<Inquiry>...]
```

標準形式の場合、以下のような応答になります。

```
HTTP/1.0 200 OK\r\n Content-Type: text/plain\r\n
Content-Length: <len>\r\n
\r\n
<parameter>=<value>[&<parameter>=<value>&<parameter>
=<value>...]
```



Syntax2 (JS パラメーター形式)

```
http://<camera_address>/command/inquiry.cgi?inqjs=
<Inquiry>[&inqjs=<Inquiry>...]
```

JS パラメーター形式の場合、以下のような応答になります。

```
HTTP/1.0 200 OK\r\n
Content-Type: text/plain\r\n
Content-Length: <len>\r\n
\r\n
var <parameter>=<value>\r\n
var <parameter>=<value>\r\n
var <parameter>=<value>\r\n
:
:
```



コマンドリスト

表中の「Value」欄の太字は初期値を示します。

Press/Release コマンドについて

ボタンの押し・離しを模したコマンドで、押している間に動作する機能に対応しています。また、長押しの有無で異なる動作をする機能もあります。

Press を受信すると動作を開始し、**Release** を受信すると動作を停止します。必ず組で送信してください。

本機 GUI の長押し有無判定基準は、特記ない限り「Press 受信から Release 受信まで 1 秒以上」です。

長押し動作を発動させるためには、Press と Release の受信間隔が 1 秒以上になるようにしてください。

長押し動作を発動させないためには、Press と Release を続けて送信してください。







各コマンドの具体的な動作は、ヘルプガイドで **Web App** の該当するボタンの説明をご覧ください。

表の「対応する Web App のボタン」内のボタン名称は、カメラのヘルプガイドの表記です。


assignable.cgi

CGI 項目名		コマンド	対応する Web App のボタン
Assignable Button	Assignable Button	AssignableButton<n>	ライブ操作画面 / 再生操作画面のアサインابلボタン 1 ~ アサインابلボタン 9
		AssignableButtonFocusHold	ライブ操作画面 / 再生操作画面の Focus Hold ボタン

cameraoperation.cgi

CGI 項目名		コマンド	対応する Web App のボタン
Menu 操作	Menu	CamMenuSelector	ライブ操作画面 / 再生操作画面 > GUI 操作部の上下左右ボタンおよび [Set] ボタン
Media	Media	MediaRecording	ライブ操作画面 / 再生操作画面の録画 START/STOP ボタン
		MediaRecording2nd	ライブ操作画面 > [Others] タブの [2nd Rec START/STOP] ボタン
Movie	Movie	MovieForward	再生操作画面の  (Fast Forward) ボタン
		MovieNext	再生操作画面の  (Next) ボタン
		MoviePlayPause	再生操作画面の  (Play/Pause) ボタン
		MoviePrev	再生操作画面の  (Previous) ボタン
		MovieReverse	再生操作画面の  (Fast Reverse) ボタン
		MovieStop	再生操作画面の  (Stop) ボタン
	Slot	SlotSelect	再生操作画面の [Slot Select] ボタン
Display 操作	Display	DisplayButton	ライブ操作画面 / 再生操作画面の [Display] ボタン
	Thumbnail	ThumbnailButton	再生操作画面の [Thumbnail] ボタン

imaging.cgi

CGI 項目名		コマンド	対応する Web App のボタン
ISO/ ゲイン /Exposure Index	AGC	ExposurePushAGC	該当なし
	Auto ND Filter	ExposurePushAutoNDFilter	ライブ操作画面 > ND Filter 調節パネルの [Push Auto] ボタン
アイリス	Auto Iris	ExposurePushAutoIris	ライブ操作画面 > Iris 調節パネルの [Push Auto] ボタン
White Balance	White Balance	WhiteBalanceWBSet	ライブ操作画面 > ホワイトバランス調節パネルの [WB Set] ボタン
Focus	Focus Hold	FocusHold	ライブ操作画面 > Focus タブの [Focus Hold] ボタン
	Focus Tracking	FocusTrackingCancel	ライブ操作画面 > カメラ映像部の  (リアルタイムトラッキング AF 終了) ボタン
	Push AF/Push MF	FocusPushAFMF	ライブ操作画面 > Focus タブの [Push AF/MF] ボタン

状態の取得

機能	コマンド
本機の基本情報の取得	system
ユーザーの権限レベルの取得	viewermode
カメラ状態の表示情報の取得	indicator
本機の異常状態の取得	status

本機の基本情報の取得

system

設定 (Set) : なし

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=system

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
起動と Standby	Power	Power	Inq	on, standby	カメラの電源状態を返します。 on: 起動 standby: スタンバイ
	Administrator	PasswordChanged	Inq	1, 0	管理者パスワードが初期設定から変更されているか否かを返します。 0: 未変更 1: 変更済み
言語設定	Language	LanguageInfo	Inq	お買い上げの地域によって値が異なります。	現在の言語を返します。
時計設定	Date Time	DateTimeChanged	Inq	1, 0	内蔵時計が設定されているか否かを返します。 0: 未設定 1: 設定済み
System	Cam Message	CGIVersion	Inq	–	CGI コマンドのバージョン番号を返します。
		ModelName	Inq	–	カメラの機種名を返します。
		Serial	Inq	–	カメラのシリアル番号を返します。
		SoftVersion	Inq	–	カメラのソフトウェアバージョンを返します。
		BuildNumber	Inq	–	カメラのソフトウェアビルド番号を返します。
	Lens Information	LensModelName	Inq	–	レンズの機種名を返します。
		LensModelNamePmt	Inq	enable, disable, display_only	LensModelName で取得できる値の状態です。 enable, display_only: 値有効 disable: 値無効
		LensSerial	Inq	–	レンズのシリアル番号を返します。
		LensSerialPmt	Inq	enable, disable, display_only	LensSerial で取得できる値の状態です。 enable, display_only: 値有効 disable: 値無効
		LensSoftVersion	Inq	–	レンズのソフトウェアバージョンを返します。
		LensSoftVersionPmt	Inq	enable, disable, display_only	LensSoftVersion で取得できる値の状態です。 enable, display_only: 値有効 disable: 値無効
	System Capability	EncryptionCapability	Inq	1, 0	暗号化通信機能に対応するか否かを返します。 1: 対応する 0: 対応しない
		IsRecordable	Inq	1, 0	録画機能に対応するか否かを返します。 1: 対応する 0: 対応しない
		ScreenReaderCapability	Inq	1, 0	読み上げ機能に対応するか否かを返します。 1: 対応する 0: 対応しない

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
レンズの キャリブ レーション	Lens	LensCalibrateStatus	Inq	calibrated, not_calibrated, no_mount	レンズキャリブレーションの状態を返します。 calibrated: 済 not_calibrated: 未 no_mount: レンズ未装着

ユーザーの権限レベルの取得

viewermode

設定 (Set) : なし

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=viewermode

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
User Management	User	ViewerMode	Inq	ffffffff	カメラにアクセスしているユーザーのアクセス権限を返します。 ffffffff : 管理者 (Web ブラウザーからアクセスしたとき、カメラの設定を含め、本機のすべての機能を利用できます。)

カメラ状態の表示情報の取得

indicator

設定 (Set) : なし

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=indicator

Web App のアイコン表示用のコマンドです。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
System	Cam Message	CamMessageDisplaying	Inq	-	Cam Message の表示用です。
Web App 状態表示コ マンド	Indicator	CameraOperatingState	Inq	-	Camera Operating 状態の表示用です。
		IndicatorAeModeState	Inq	-	Auto Exposure Mode の表示用です。
		IndicatorCizIconState	Inq	-	Clear Image Zoom Icon の表示用です。
		IndicatorCizRatioState	Inq	-	Clear Image Zoom Ratio の表示用です。
		IndicatorCizRatioState Pmt	Inq	-	Clear Image Zoom Ratio Permit の表示用です。
		IndicatorClipNameState	Inq	-	Clip Name の表示用です。
		IndicatorClipNameState Pmt	Inq	-	Clip Name Permit の表示用です。
		IndicatorClipNumberState	Inq	-	Clip Number の表示用です。
		IndicatorClipNumberState Pmt	Inq	-	Clip Number Permit の表示用です。
		IndicatorClipTotalNumber State	Inq	-	Clip Total Number の表示用です。
		IndicatorClipTotalNumber StatePmt	Inq	-	Clip Total Number Permit の表示用です。
		IndicatorCreateDateState	Inq	-	Create Date の表示用です。
		IndicatorCreateDateState Pmt	Inq	-	Create Date Permit の表示用です。
		IndicatorFaceEyeAFState	Inq	-	Face Eye AF の表示用です。
		IndicatorFocusModeState	Inq	-	Focus Mode の表示用です。
		IndicatorFocusPosition FeetState	Inq	-	Focus Position (Feet) の表示用です。
		IndicatorFocusPosition MeterState	Inq	-	Focus Position (Meter) の表示用です。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
Web App 状態表示コマンド	Indicator	IndicatorFocusPositionPmt	Inq	–	Focus Position Permit の表示用です。
		IndicatorFocusPositionUnitState	Inq	–	Focus Position Unit の表示用です。
		IndicatorPlayingCodecState	Inq	–	Playing Codec の表示用です。
		IndicatorPlayingFrameRateState	Inq	–	Playing Frame Rate の表示用です。
		IndicatorPlayingGammaState	Inq	–	Playing Gamma の表示用です。
		IndicatorPlayingImageSizeState	Inq	–	Playing Image Size の表示用です。
		IndicatorPlayingSlotState	Inq	–	Playing Slot の表示用です。
		IndicatorPlayingState	Inq	–	Playing の表示用です。
		IndicatorRawRecState	Inq	–	RAW Rec の表示用です。
		IndicatorRawResolutionState	Inq	–	RAW Resolution の表示用です。
		IndicatorRecState	Inq	–	REC の表示用です。
		IndicatorRegisteredTrackingFaceState	Inq	–	Registered Tracking Face の表示用です。
		IndicatorSlotARemainState	Inq	–	Slot A Remain の表示用です。
		IndicatorSlotAState	Inq	–	Slot A 状態の表示用です。
		IndicatorSlotBRemainState	Inq	–	Slot B Remain の表示用です。
		IndicatorSlotBState	Inq	–	Slot B 状態の表示用です。
		IndicatorTrackingAFStopState	Inq	–	AF Stop の表示用です。
		IndicatorZoomPositionPmt	Inq	–	Zoom Position Permit の表示用です。
		IndicatorZoomPositionRateState	Inq	–	Zoom Position (%) の表示用です。
		IndicatorZoomPositionState	Inq	–	Zoom Position (mm) の表示用です。
		IndicatorZoomPositionUnitState	Inq	–	Zoom Position Unit の表示用です。

本機の電源種類や異常状態の取得

status

設定 (Set) : なし

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=status

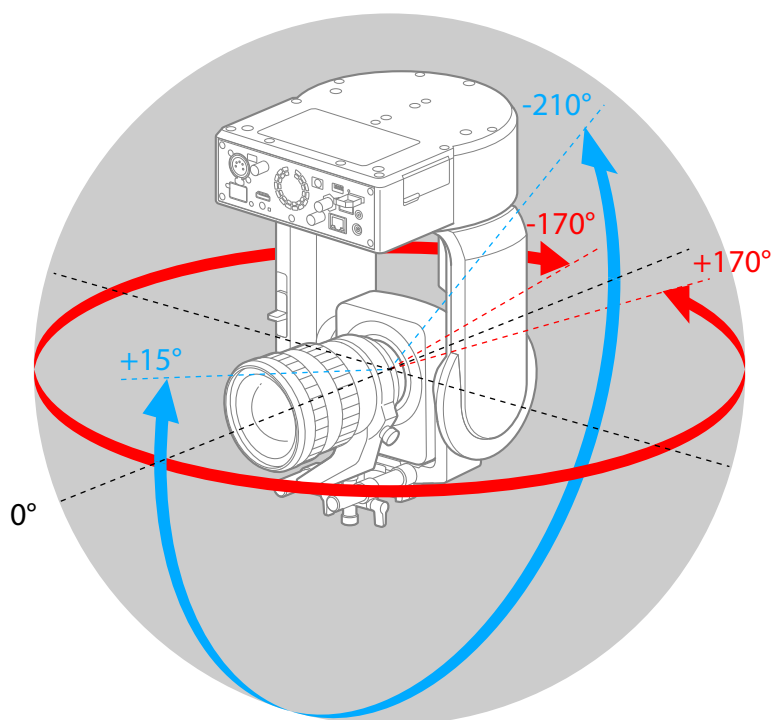
CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
Power Supply	Type	PowerSupplyType	Inq	dc, poe	カメラの電源タイプを返します。 dc: DC 電源入力で動作しています。 poe: PoE で動作しています。
Warning	Temperature	TemperatureWarning	Inq	1, 0	カメラ内の温度の状態を返します。 0: 正常 1: 異常

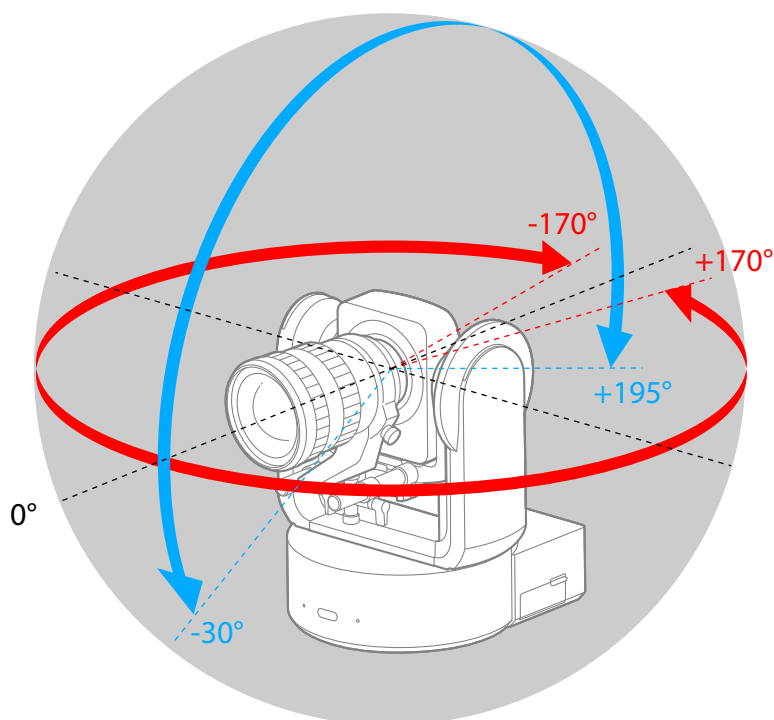
撮影操作

機能	コマンド
パン・チルト・ズーム・フォーカスに関する設定	ptzf
プリセットポジションに関する設定	presetposition presetimg
PTZ Trace に関する設定	trace traceimg
PTZ オートフレーミング	ptzautoframing ptzautoframingexe
露出・ホワイトバランスに関する設定	imaging
カメラ映像の画面表示と記録・再生に関する操作	cameraoperation
特殊な撮影機能や、LUT 操作に関する設定	shooting
アサインابلボタンの操作	assignable
タリールンプに関する設定、状態取得	tally
レンズコントローラーに関する設定	lenscontroller

パン・チルト・ズーム・フォーカスに関する設定

パン・チルトの座標設定に関しては、下記の図と表を参照してください。



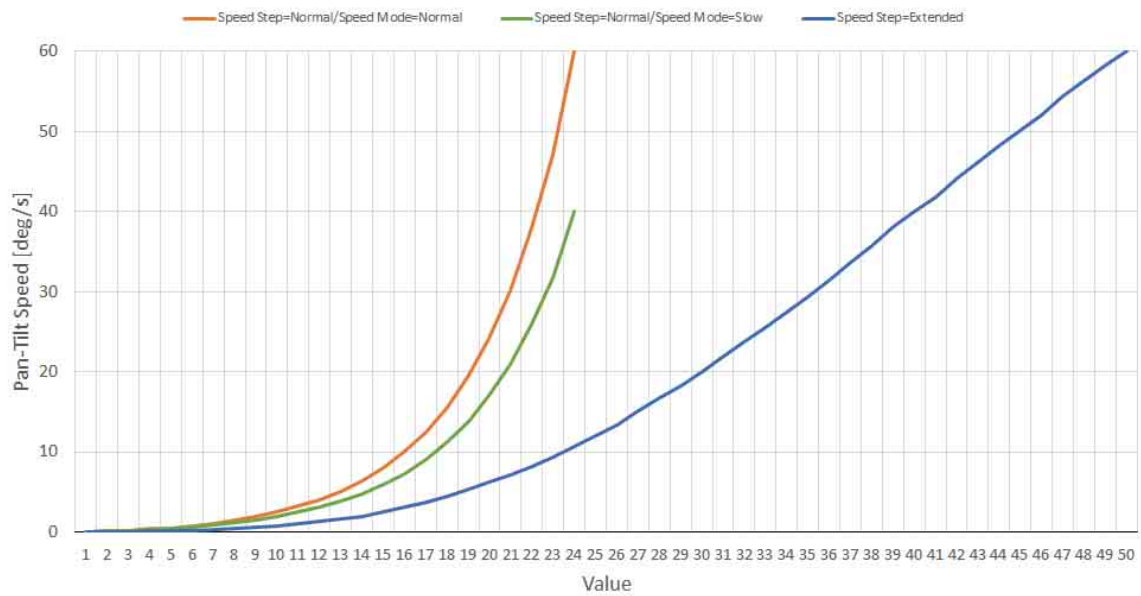


設定項目	Value	位置
パン	09ca7(CCW)	170 度
	00000(center)	0 度
	f6359(CW)	-170 度
チルト (SettingPosition: Desktop)	0b3b0(up)	+195 度
	00000(center)	0 度
	fe45b(down)	-30 度
チルト (SettingPosition: Ceiling)	00dd2(up)	+15 度
	00000(center)	0 度
	f3e7d(down)	-210 度

パン・チルト位置の Value は 16 進数です。

パン・チルト速度の設定に関しては、下記の表とグラフを参照してください。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Speed Step	Normal / Extended	Extended	パン・チルト駆動の速度ステップ数を設定する。 Normal：速度を 24 段階で指定できる。既成のソニー製リモートカメラとの互換性を重視する場合はこの設定にする。 Extended：速度を 50 段階で指定できる。
Speed Mode	Normal / Slow	Normal	パン・チルト駆動の速度モードを設定する。 [Speed Step] を [Normal] に設定した場合のみ有効になる。 Normal：通常速度範囲（最低速～最高速：60°/ 秒）で動作する。 Slow：低速動作を重視した速度範囲（最低速～最高速：40°/ 秒）で動作する。



ズーム位置に関しては、下記の表を参照してください。

位置	Value	備考
光学 Wide 端	0000	
光学 Tele 端	4000	
Clear Image Zoom 1.5x	5556	Rec Format が 3840x2160 以上に設定されている際の Clear Image Zoom Tele 端
Clear Image Zoom 2.0x	6000	Rec Format が 3840x2160 未満に設定されている際の Clear Image Zoom Tele 端

ズーム位置の Value は 16 進数です。

フォーカス位置に関しては、下記の表を参照してください。

位置	Value	備考
Far 端	0000	
Near 端	FFFF	

フォーカス位置の Value は 16 進数です。

ptzf

設定 (Set) : command/ptzf.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=ptzf

パン・チルト

CGI 項目名	Parameter	Set Inq	Value	内容
状態取得	Pan-Tilt Capability	PanMovementRange	Inq [Value1] 09ca7h [Value2] f6359h	パンの動作可能範囲の座標を返します。 PanMovementRange=Value1,Value2 [Value1] 左端 [Value2] 右端 * CGI コマンド設定値 (パン・チルト位置) の項参照
		PanTiltMaxVelocity	Inq PanTiltSpeedStep の 設定に依存します。 24 (Normal) 50 (Extended)	パン・チルト動作の最高速度を表す value を返します。
		TiltMovementRange	Inq [Value1] SettingPosition の設 定に依存する。 fe45bh (Desktop) f3e7dh (Ceiling) [Value2] SettingPosition の設 定に依存する。 0b3b0h (Desktop) 00dd2h (Ceiling)	チルト動作可能範囲の座標を返します。 TiltMovementRange=Value1,Value2 [Value1] 下端 [Value2] 上端 * CGI コマンド設定値 (パン・チルト位置) の項参照
	Pan-Tilt Lock	PanTiltLockStatus	Inq 0, 1	パンチルトロックの状態です。 0: 非ロック状態 1: ロック状態
	Pan-Tilt Status	PtzfStatus	Inq [Value1] idle, moving, unknown, uninitialized, initializing [Value2] idle, moving, unknown, uninitialized, initializing [Value3] idle, moving, unknown [Value4] idle, moving, unknown	パン・チルト・ズーム・フォーカス動作の現在の状態を 返します。 PtzfStatus=Value1,Value2,Value3,Value4 [Value1] パンの現在の状態を返します。 [Value2] チルトの現在の状態を返します。 [Value3] ズームの現在の状態を返します。 [Value4] フォーカスの現在の状態を返します。 idle: 動いていない moving: 動作中 unknown: 異常な状態 uninitialized: 未初期化 initializing: 初期化実行中

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
操作	絶対値駆動 (Pan 5 桁、 Tilt 5 桁)	AbsolutePanTilt	Set	[Value1] f6359h(CW) ~ 00000h(Center) ~ 09ca7h(CCW) [Value2] 設定可能な値は SettingPosition の設 定に依存します。 fe45bh(down) ~ 00000h(Center) ~ 0b3b0h(up) (Desktop) f3e7ch(down) ~ 00000h(center) ~ 00dd2h(up) (Ceiling) [Value3] 設定可能な値は Speed Step の設定に依存しま す。 1 ~ 24 (Normal) 1 ~ 50 (Extended)	座標を指定してパン・チルト移動を行います。 AbsolutePanTilt=Value1,Value2,Value3 [Value1] パン位置の座標の設定です。 * CGI コマンド設定値 (パン・チルト位置) の項参照 [Value2] チルト位置の座標の設定です。 * CGI コマンド設定値 (パン・チルト位置) の項参照 [Value3] 移動速度の設定です。 * 数値が大きいくほど速くなります。 * CGI コマンド設定値 (パン・チルト速度) の項参照
		AbsolutePTZF	Set Inq	[Value1] f6359h(CW) ~ 00000h(Center) ~ 09ca7h(CCW) [Value2] 設定可能な値は SettingPosition の設 定に依存します。 fe45bh(down) ~ 00000h(Center) ~ 0b3b0h(up) (Desktop) f3e7ch(down) ~ 00000h(center) ~ 00dd2h(up) (Ceiling) [Value3] 設定可能な値は Zoom Mode の状態および出 力信号フォーマットの 画像サイズに依存しま す。 0000h ~ 4000h [Value4] 0000h ~ ffffh	座標を指定してパン・チルト・ズーム・フォーカス移動 を行う、または現在の座標位置を返します。 AbsolutePTZF=Value1,Value2,Value3,Value4 [Value1] パン位置の座標の設定です。 * CGI コマンド設定値 (パン・チルト位置) の項参照 [Value2] チルト位置の座標の設定です。 * CGI コマンド設定値 (パン・チルト位置) の項参照 [Value3] ズーム位置の座標を設定します。 * CGI コマンド設定値 (ズーム位置) の項参照 [Value4] フォーカス位置の座標を設定します。Auto Focus のと きかつ AF アシストが無効に設定されているとき、 [Value4] は無視されます。 * CGI コマンド設定値 (FOCUS) の項参照 <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; display: inline-block;"> ご注意 </div> 本コマンドを続けて実行する場合は、間に Cancel コマ ンドの実行を挟んでください。 AbsolutePTZF コマンド実行 →Cancel コマンド実行 →AbsolutePTZF コマンド実行

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
操作	相対値駆動 (Pan 5 桁、 Tilt 5 桁)	RelativePanTilt	Set	[Value1] ec6b2h ~ 1394eh [Value2] f30abh ~ 1394eh [Value3] 設定可能な値は Speed Step の設定によって異 なります。 1 ~ 24(Normal) 1 ~ 50(Extended)	現在の位置から相対的座標を指定して、パン・チルト移 動を行います。 RelativePanTilt=Value1,Value2,Value3 [Value1] 現在位置に対するパン座標のオフセットを設定します。 [Value2] 現在位置に対するチルト座標のオフセットを設定しま す。 [Value3] 速度の設定 最高速度を表す Value は PanTiltSpeedStep の設定で 変わります。 Normal: 24 Extended: 50
	方向駆動	PanTiltMove	Set	[Value1] up, down, left, right, up-left, up-right, down-left, down- right, stop [Value2] 0 ~ 24/50 [Value3] 0 ~ 24/50	パン・チルトの移動方向と速度を指定します。 [Value1] 方向または停止 [Value2] パン方向の速度 最高速度は PanTiltSpeedStep の設定で変わります。 Normal: 24 Extended: 50 [Value3] チルト方向の速度 最高速度は PanTiltSpeedStep の設定で変わります。 Normal: 24 Extended: 50
		PanTiltMovePmt	Inq	enable, disable, display_only	PanTiltMove の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	Cancel	Cancel	Set	on	実行中の PTZ コマンドをキャンセルします。
P/T 速度	Speed Step	PanTiltSpeedStep	Set Inq	normal, extended	パン・チルトの速度分解能を設定します。 normal: 24 段階 extended: 50 段階
	Speed Mode	PanTiltSpeedMode	Set Inq	normal , slow	パン・チルトの速度モードの設定です。 PanTiltSpeedStep が normal のとき有効です。 normal: 標準 slow: 低速
P/T 加減速	Acceleration	RampCurve	Set Inq	1 ~ 8 ~ 9	パン・チルト加減速カーブを設定します。 値が小さいほど緩やかになります。

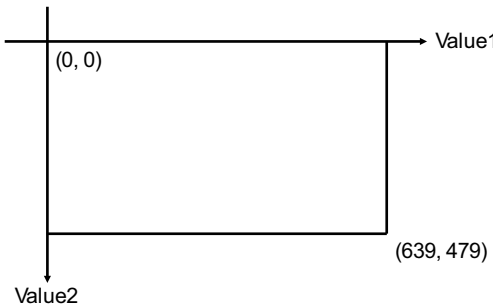
CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
P/T 範囲制限	Pan-Tilt Limit	PanLimitMode	Set Inq	unlimited, limited	パンの移動範囲の制限モードを設定します。 unlimited : 制限なし limited : PanLimit で設定された範囲に制限
		PanLimit	Set Inq	[Value1] f635ah ~ 09ca7h [Value2] f6349h ~ 09ca6h	パンの移動可能範囲を設定します。 PanLimit=Value1,Value2 Value1 は Value2 より大きくなければなりません。 PanLimitMode が「limited」に設定されているときのみ、このパラメーターは有効です。 * CGI コマンド設定値（パン・チルト位置）の項参照。 [Value1] 制限する左側の座標の設定です。 09ca7 : (左端) [Value2] 制限する右側の座標の設定です f6359 : (右端)
		TiltLimitMode	Set Inq	unlimited, limited	チルトの移動範囲の制限モードを設定します。 unlimited : 制限なし limited : TiltLimit で設定された範囲に制限
		TiltLimit	Set Inq	[Value1] 設定可能な値は SettingPosition の設定に依存する。 fe45bh ~ 0b3afh (Desktop) f3e7dh ~ 00dd1h (Ceiling) [Value2] 設定可能な値は SettingPosition の設定に依存する。 fe45ch ~ 0b3b0h (Desktop) f3e7eh ~ 00dd2h (Ceiling)	チルトの移動可能範囲を設定します。 TiltLimit=Value1,Value2 Value1 は Value2 より小さくなければなりません。 TiltLimitMode が「limited」に設定されているときのみ、このパラメーターは有効です。 * CGI コマンド設定値（パン・チルト位置）の項参照。 [Value1] 制限する下側の座標の設定です。 [Value2] 制限する上側の座標の設定です。
	Direction	SettingPosition	Set Inq	desktop, ceiling	カメラの設置方向を設定します。 desktop : 据え置き設置 ceiling : 天井設置
		PanDirection	Set Inq	normal, opposite	パンの方向駆動コマンドの動作方向を設定します。 normal : 正方向 opposite : 逆方向 SettingPosition の状態で初期値が決まります。 Desktop: normal Ceiling: opposite
		TiltDirection	Set Inq	normal, opposite	チルトの方向駆動コマンドの動作方向を設定します。 normal : 正方向 opposite : 逆方向
その他	Pan-Tilt Motor Power	PanTiltMotorPower	Set Inq	normal, low	パン・チルトを駆動するモーターの電力を設定します。 normal : 標準 low : 低電力 ご注意 通常は normal でご使用ください。
	Web App 用	PanTiltSpeedScale	Set Inq	10 ~ 25 ~ 100	Web App でパン・チルト操作するときの速度を設定します。

ズーム

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
操作	ズーム	ZoomMove	Set	[Value1] tele, wide, stop [Value2] 0 ~ 32766	ズームの方向と速度を設定します。 ZoomMove=Value1,Value2 [Value1] 方向または停止 [Value2] 速度
		ZoomMovePmt	Inq	enable, disable, display_only	ZoomMove の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	Web App 用	ZoomSpeedScale	Set Inq	10 ~ 100	Web App でズーム操作するときの速度を設定します。

フォーカス

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
モード設定	Focus Mode	FocusMode	Set Inq	auto , manual	フォーカス制御モードを設定します。 auto : カメラによる自動調整 manual : ユーザーによる手動調整
		FocusModePmt	Inq	enable, disable, display_only	FocusMode の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
操作	マニュアル フォーカス ポジション	AbsoluteFocus	Set Inq	0000h ~ ffffh (16 進 数)	位置を指定して、フォーカス位置の移動を行います。 0000: 遠端 (Far) ffff: 近端 (Near) AbsoluteZoom コマンドを実行して動作が完了した直 後は、本コマンドは実行できません。1 秒程度開けて実 行してください。
		AbsoluteFocusPmt	Inq	enable, disable, display_only	AbsoluteFocus の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	Push AF/ Push MF	FocusPushAFMF	Set	press, release	Push AF/MF ボタンの押下を通知します。 press 、 release の順に組み合わせで通知します。
		FocusPushAFMFPmt	Inq	enable, disable, display_only	FocusPushAFMF の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
操作	Focus Tracking	FocusTrackingPosition	Set	[Value1] 0 ~ 639 [Value2] 0 ~ 479	左上を原点としてタッチ座標を通知します。 [Value1] 横方向の座標 [Value2] 縦方向の座標 
		FocusTrackingPosition Pmt	Inq	enable, disable, display_only	FocusTrackingPosition の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
		FocusTrackingCancel	Set	press, release	トラッキングキャンセルボタンの押下を通知します。 press、release の順に組み合わせで通知します。
		FocusTrackingCancel Pmt	Inq	enable, disable, display_only	FocusTrackingCancel の操作可否の状態です。 enable: 操作可 disable: 操作不可、値無効 display_only: 操作不可、値有効
		FocusTrackingStatus	Inq	off, focusing, tracking	フォーカストラッキングの状態です。 off: 非表示 focusing: 合焦動作中 tracking: トラッキング状態
	FocusHold	FocusHold	Set	press, release	FocusHold ボタンの押下を通知します。press、 release の順に組み合わせで通知します。
		FocusHoldPmt	Inq	enable, disable, display_only	FocusHold の設定可否の状態です。 Enable: 設定可 disable, display_only: 設定不可
詳細設定	AF Transition Speed	FocusAFTransitionSpeed	Set Inq	1 ~ 5 ~ 7	オートフォーカス中の被写体に移り変わる際のフォーカ ス駆動の速さを設定します。 1 (最低速) 7 (最高速)
		FocusAFTransitionSpeed Pmt	Inq	enable, disable, display_only	FocusFaceEyeDetectionAF の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	AF Subject Shift Sensitivity	FocusAFSubjShiftSens	Set Inq	1 ~ 5	オートフォーカス中の被写体の乗り移り感度を設定しま す。 1 (粘る) 5 (敏感)
		FocusAFSubjShiftSens Pmt	Inq	enable, disable, display_only	FocusAFSubjShiftSens の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
詳細設定	Face/Eye Detection AF	FocusFaceEyeDetection AF	Set Inq	only_af, priority_af , off	顔検出 AF の有効 / 無効を設定します。 only_af: 顔限定 AF priority_af: 顔優先 AF off: 顔検出 AF 無効
		FocusFaceEyeDetection AFPmt	Inq	enable, disable, display_only	FocusFaceEyeDetectionAF の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	Push AF Mode	PushAFMode	Set Inq	af, af-s	プッシュオートフォーカスモードを設定します。 af: AF af-s: Single-shot AF(AF-S)
		PushAFModePmt	Inq	enable, disable, display_only	PushAFMode の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	Touch Focus in MF	TouchFocusInMF	Set Inq	tracking_af, spot_focus	マニュアルフォーカス時に Web App のモニター部分を タップしたときの動作を設定します。
		TouchFocusInMFPmt	Inq	enable, disable, display_only	TouchFocusInMF の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	AF Assist Control	AFAssistControl	Set Inq	off, on	Web App の AF アシスト動作の On/Off を設定します。 AFAssistControl とカメラメニューの AF アシストの両 方が On のとき、Web App の AF アシストが有効にな ります。

プリセットポジションに関する設定

presetposition

設定 (Set) : command/presetposition.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=presetposition

画角プリセット

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
モード設定	Preset/ Trace 切替	PresetMode	Set Inq	ptzonly , trace	プリセットモードの設定です。 ptzonly : パン・チルト・ズーム・フォーカス位置を呼び出す。 trace : PTZ Trace の操作をする。
操作	Set	PresetSet	Set	[Value1] 1 ~ 100 [Value2] 0 ~ 32 characters [Value3] on, off	現在のパン・チルト・フォーカス・ズーム位置をプリセットとして登録します。 PresetSet=Value1,Value2,Value3 [Value1] 登録するプリセットの番号 [Value2] Name 登録するプリセットの名前 32 文字以下の英数字を設定可能 [Value3] Thumbnail 現在のカメラ画像をサムネイルとして使用するかどうかの設定をします。 on : 使用する off : 使用しない
		PresetSettable	Inq	available	プリセットの保存が可能かどうかを返します。 available : 可能
		PresetNum	Inq	100	登録可能なプリセットの最大数を返します。
	Recall Preset Position	PresetCall	Set	1 ~ 100	登録済みのプリセットの番号を指定して呼び出します。
	Recall Home Position	HomePos	Set	recall	カメラのパン・チルト・ズーム・フォーカスをホーム位置に移動します。 * ホーム位置の座標は Pan : 00000 、 Tilt : 00000 、 Zoom : 0000 、 Focus : 1000 です。この座標を変更することはできません。
	Thumbnail	PresetThumbnailClear	Set	1 ~ 100	登録済みのプリセットのサムネイルを削除します。
詳細設定	Name	PresetName	Set Inq	[Value1] 1 ~ 100 [Value2] 0 ~ 32 characters	登録済みのプリセットの名前を設定します。 設定時は登録済みプリセットの番号を 1 つ指定して設定します。 PresetName=Value1,Value2 問い合わせに対しては、すべての登録済みプリセットの名前を返します。 PresetName=Value11,Value21[,Value12,Value22,...] [Value1n] プリセットの番号 [Value2n] プリセットの名前 32 文字以下の英数字を設定可能

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
詳細設定	Zoom	PresetZoomSpeed	Set Inq	[Value1] 1 ~ 100 [Value2] 0 ~ 32766	プリセット呼び出し時に Pan-Tilt と Zoom が同期しないときの、ズーム駆動の速さを設定します。プリセット保存時の PresetZoomSpeedDefault 値が、プリセット番号ごとに保存されます。 [Value1] プリセット番号 [Value2] ズーム駆動の速さ
		PresetZoomSpeedDefault	Set Inq	0 ~ 32766	Pan-Tilt と Zoom が同期しないときのズーム駆動の速さとして、プリセット保存時にプリセット番号ごとに保存されます。
		PresetZoomSync	Set Inq	[Value1] 1 ~ 100 [Value2] on, off	プリセット呼び出し時に、Pan-Tilt と Zoom の動きの同期を設定します。プリセット保存時の PresetZoomSyncDefault 値が、プリセット番号ごとに保存されます。 [Value1] プリセット番号 [Value2] 同期する / 同期しない
		PresetZoomSyncDefault	Set Inq	on, off	プリセット呼び出し時に、Pan-Tilt と Zoom の動きの同期の値として、プリセット保存時にプリセット番号ごとに保存されます。 on: 同期する off: 同期しない

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
詳細設定	Focus	PresetAFTransitionSpeed	Set Inq	[Value1] 1 ~ 100 [Value2] 1 ~ 7	プリセット呼び出し時にオートフォーカスで動作するときの、AF Transition Speed（被写体が移り変わる際のフォーカス駆動の速さ）を設定します。プリセット保存時の AF Transition Speed の値がプリセット番号ごとに保存されます。 [Value1] プリセット番号 [Value2] AF Transition Speed
		PresetFocusMode	Set Inq	[Value1] 1 ~ 100 [Value2] auto, manual	プリセット呼び出し時のフォーカス制御モードを変更します。プリセット保存時には、その時点のフォーカス制御モードの値がプリセット番号ごとに保存されます。 [Value1] プリセット番号 [Value2] auto: オートフォーカス manual: マニュアルフォーカス
		PresetFocusRecall	Set Inq	[Value1] 1 ~ 100 [Value2] on, off	プリセット呼び出し時の、フォーカス呼び出しを On/Off します。プリセット保存時の PresetFocusRecallDefault の値がプリセット番号ごとに保存されます。 [Value1] プリセット番号 [Value2] フォーカス呼び出し On/Off
		PresetFocusRecallDefault	Set Inq	on, off	プリセット時のフォーカス呼び出しの規定値として、プリセット保存時に使用されます。 on: フォーカスを呼び出す off: フォーカスを呼び出さない
		PresetMFSpeed	Set Inq	[Value1] 1 ~ 100 [Value2] 0 ~ 32766	プリセット呼び出し時にマニュアルフォーカスで動作するときの、MF Speed（フォーカス駆動の速さ）を設定します。プリセット保存時の PresetMFSpeedDefault 値が、プリセット番号ごとに保存されます。 [Value1] プリセット番号 [Value2] MF Speed
		PresetMFSpeedDefault	Set Inq	0 ~ 32766	マニュアルフォーカスで動作するときのフォーカス駆動の速さとして、プリセット保存時にプリセット番号ごとに保存されます。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
詳細設定	Speed/ Duration	CommonSpeed	Set Inq	1 ~ 50	SpeedSelect が common のときのパン・チルトの速度を設定します。 * CGI コマンド設定値（プリセット駆動速度）の項参照
		PresetSeparateDuration Default	Set Inq	10 ~ 990	各プリセットの初期値として登録される、パン・チルトの駆動完了までの時間を設定します。1.0 秒から 99.0 秒まで 0.1 秒単位で設定します。
		PresetSeparateMode Default	Set Inq	speed, duration	プリセット駆動モードとして、プリセット保存時にプリセット番号ごとに保存されます。
		SeparateDuration	Set Inq	[Value1] 1 ~ 100 [Value2] 10 ~ 990	SpeedSelect に separate が設定されているときの各プリセットに対するパン・チルトの駆動完了までの時間を設定します。 [Value1] 設定するプリセットの番号 [Value2] 設定する時間（1.0 秒から 99.0 秒まで 0.1 秒単位で設定）
		SeparateMode	Set Inq	[Value1] 1 ~ 100 [Value2] speed, duration	SpeedSelect に separate が設定されているときの各プリセットに対するプリセット駆動モードを設定します。 [Value1] 設定するプリセットの番号 [Value2] プリセット駆動モード speed: 速度指定 duration: 時間指定
		SeparateSpeed	Set Inq	[Value1] 1 ~ 100 [Value2] 1 ~ 50	SpeedSelect に separate が設定されているときの各プリセットに対するパン・チルトの速度を設定します。 [Value1] 設定するプリセットの番号 [Value2] 設定する速度 * CGI コマンド設定値（プリセット駆動速度）の項参照
		PresetSeparateSpeed Default	Set Inq	1 ~ 50	パン・チルトの速度として、プリセット保存時に SeparateSpeed の値がプリセット番号ごとに保存されます。 * CGI コマンド設定値（プリセット駆動速度）の項参照
		SpeedSelect	Set Inq	separate, common	プリセット呼び出し時のパン・チルトの速度を設定します。 separate: SeparateSpeed コマンドで、プリセット番号ごとに設定した速度 common: CommonSpeed コマンドで設定した全プリセット共通の速度

presetimng

指定プリセット番号のサムネイル画像を取得する。

< 構文 >

http://<camera_address>/preset/presetimng<No.>.jpg

<No.>: プリセット番号

PTZ トレースに関する設定

trace

設定 (Set) : command/trace.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=trace

CGI 項目名	Parameter	Set Inq	Value	内容
モード設定	Preset/ Trace 切替	PresetMode	Set Inq	ptzonly, trace プリセットモードの設定です。 ptzonly : パン・チルト・ズーム・フォーカス位置を呼び出す。 trace : PTZ Trace の操作をする。
状態表示	Operatable	TraceOperatable	Inq	available, unavailable_raw_codec, unavailable_sdi_off PTZ トレース操作の記録・再生の実行可否を返します。 available : 可 unavailable_raw_codec : 不可 (記録フォーマットが RAW 出力を含む設定である) unavailable_sdi_off : 不可 (SDI OUT に映像信号を出力していない)
	List	TraceList	Inq	[Value1] 1 ~ 16 [Value2] 0 ~ 32 文字 [Value3] 1 ~ 180 記録してある PTZ トレースの情報を返します。 [Value1] PTZ トレース番号 [Value2] 名前 [Value3] 記録してある時間
	Name	TraceName	Set Inq	[Value1] 1 ~ 16 [Value2] 0 ~ 32 characters PTZ トレース番号を指定して名前を設定します。 [Value1] PTZ トレース番号 [Value2] PTZ トレースの名前。32 文字以下の英数字
	Status	TraceRecordingStatus	Inq	- 軌跡の登録がある PTZ トレース番号を返します。 例) PTZ トレース番号の 1,5,7 に軌跡の登録が有る場合 TraceRecordingStatus=1,5,7
		TraceStatus	Inq	none, recording, preparing, readyforplay, playing, deleting 指定した PTZ トレース番号の状態を返します。 none : 通常 (下記の記録中～削除中のどれにも該当しない状態) recording : 記録中 (記録開始コマンドを受けてから、記録を停止するまでの間) preparing : 再生準備中 (再生準備コマンドを受けてから、再生準備が完了するままでの間) readyforplay : 再生準備完了状態 (再生準備が完了している状態) playing : 再生中 (再生コマンドを受けてから再生が完了するまでの間) deleting : 削除中 (削除コマンドを受けてから削除が完了するまでの間)

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
操作	Recording	TraceRecording	Set	[Value1] 1 ~ 16 [Value2] on, off	指定した PTZ トレース番号に軌跡の記録を開始します。 TraceRecording=Value1,Value2 [Value1] 登録する PTZ トレース番号 [Value2] (省略可能) 現在のカメラ画像をサムネイルとして使用するか否かの設定 on: 使用する off: 使用しない
		TraceRecordingNumber	Inq	0 ~ 16	PTZ トレース記録中の番号を返します。
		TraceStop	Set	on	PTZ トレース記録中は、記録を停止します。また、PTZ トレース再生中は、再生を停止します。
		TraceRecordingTime	Inq	0 ~ 180	PTZ トレース記録中に記録時間 (秒) を返します。
	Prepare	TracePreparedPlay Number	Inq	1 ~ 16	再生準備が完了した PTZ トレース番号を返します。 未準備の場合は 0 を返します。
		TracePreparePlay	Set	1 ~ 16	指定した PTZ トレース番号の開始位置に移動します。
	Play	TracePlay	Set	start	再生準備が完了している PTZ トレースの再生を開始します。
		TracePlayingTime	Inq	0 ~ 180	PTZ トレース再生中に再生している位置の時間 (秒) を返します。
	Delete	TraceDelete	Set	1 ~ 16	指定した PTZ トレース番号の軌跡を削除します。

traceimg

指定 PTZ トレース番号のサムネイル画像を取得する。

< 構文 >

http://<camera_address>/trace/traceimg<No.>.jpg

<No.>: PTZ トレース番号

PTZ オートフレーミング機能に関する設定

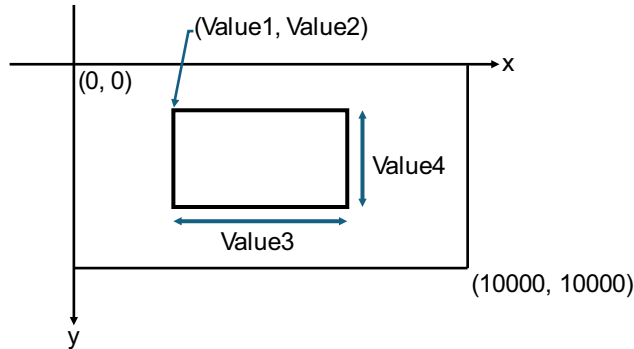
PTZ オートフレーミングで使用する座標は下図を参照してください。

Value1, 2 はカメラの画角内の座標です（左上：0, 0、右下：10000, 10000）。

領域を指定する場合は、Value3, 4 で指定してください。

以下の Parameter で使用します。

- PtzAutoFramingObjectPosition
- PtzAutoFramingObjectPositionRect
- PtzAutoFramingDetectionArea
- PtzAutoFramingMinDetectionArea



ptzautoframing

設定（Set）：analytics/ptzautoframing.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ（Inq）：command/inquiry.cgi?inq=ptzautoframing

ご注意

このコマンドの URL のパスは「/analytics/」です。他のコマンドとは異なりますのでご注意ください。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
機能 On/ Off	On/Off	PtzAutoFraming	Set Inq	off, on	PTZ オートフレーミング機能の on/off を設定します。 on: 有効 off: 無効 AbsoluteZoom コマンドを実行して動作が完了した直後は、本コマンドは実行できません。1 秒程度開けて実行してください。
		PtzAutoFramingPmt	Inq	enable, disable, display_only	PTZ オートフレーミングの設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
状態取得	初期設定済み状態	PtzAutoFramingInitial Setup	Set Inq	uninitialized, initialized	PTZ オートフレーミングの初回設定が完了しているかを取得します。 uninitialized: 初回設定未完了 initialized: 初回設定完了

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
構図	Adjust Framing	PtzAutoFramingAdjust Setting	Set Inq	[Value1] -50 ~ 0 ~ 70 [Value2] -50 ~ 0 ~ 50 [Value3] 250 ~ 1200 ~ 3500	追尾時の構図を設定します。 [Value1] 追尾対象の縦方向位置 [Value2] 追尾対象の横方向位置 [Value3] 追尾対象のサイズ。人物の身長を 1000 として、何 % を構図に収めるかを指定します。
		PtzAutoFramingAdjust RelativeSetting	Set	[Value1] -120 ~ 120 [Value2] -100 ~ 100 [Value3] -381 ~ 381	現在の構図を相対的に変更します。 [Value1] 追尾対象の縦方向位置 [Value2] 追尾対象の横方向位置 [Value3] 追尾対象のサイズ * CGI コマンド設定値 (AFR の構図調整) の項参照
	Lead Room	PtzAutoFramingLead RoomLevel	Set Inq	off, low, middle, high	目線空け機能を設定します。 off: オフ low: 弱 middle: 中 high: 強
自動追尾開始モード On/Off	Target Selection Type	PtzAutoFramingTrigger Type	Set Inq	auto, manual	PTZ オートフレーミングの追尾対象選択タイプを設定します。 auto: 自動選択 manual: 手動選択
自動追尾開始モードの設定	Detection Area	PtzAutoFramingDetection Area	Set Inq	[Value1] 0 ~ 9000 [Value2] 0 ~ 8000 [Value3] 1000 ~ 10000 [Value4] 2000 ~ 10000	追尾対象を自動選択するときの検知領域を設定します。 カメラ画角内の矩形を、左上座標、幅および高さで指定します。 [Value1] 検知領域左上の横座標 [Value2] 検知領域左上の縦座標 [Value3] 検知領域の幅 [Value4] 検知領域の高さ
		PtzAutoFramingMin DetectionArea	Inq	[Value1] 1000 [Value2] 2000	追尾対象を自動選択するときの検知領域の最小サイズを返します。 [Value1] 検知領域の幅の最小値 [Value2] 検知領域の高さの最小値
	Tracking Timeout	PtzAutoFramingFace LostWaitTime	Set Inq	0 ~ 60	追尾対象を自動選択したときの追尾タイムアウト時間を設定します。 [ロスト待機時間] が人検出のロスト時間であるのに対して、[追尾タイムアウト時間] は顔認識ができなくなってからの時間です。設定時間が経過すると、スタートポジションに戻って追尾対象の検知をやり直します。 1 秒 ~ 60 秒の間で設定できます。 0 を設定すると、タイムアウトしません。
	Detection Restart Time	PtzAutoFraming DetectionRestartTime	Set Inq	0 ~ 600	追尾対象を自動選択したときの追尾リスタート時間を設定します。追尾開始後、設定時間が経過すると、スタートポジションに戻って追尾対象の検知をやり直します。 1 秒 ~ 600 秒の間で設定できます。 0 を設定すると、リスタートしません。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
詳細設定	Personal Identification	PtzAutoFramingIndividualIdentification	Set Inq	off, on	個人識別を行うか否かを設定します。 on: 個人識別をする。 off: 個人識別をしない。
	Wait Time	PtzAutoFramingLostWaitTime	Set Inq	1 ~ 6 ~ 60	PTZ オートフレーミングの追尾ロスト待機時間を設定します。 1 秒 ~ 60 秒の間で設定できます。
	PTZ AFR On when Power On	PtzAutoFramingAutoStartEnable	Set Inq	off, on	カメラ起動時、自動的に PTZ オートフレーミングを開始するか否かを設定します。 on: 自動的に開始 off: 自動的に開始しない
	Detected Indicator	PtzAutoFramingFaceIndicatorEnable3	Set Inq	off, on	ストリーミングの映像出力への顔枠の重畳設定を行います。 on: 重畳する off: 重畳しない
追尾対象選択	Object Selection	PtzAutoFramingObjectPosition	Set	[Value1] 0 ~ 10000 [Value2] 0 ~ 10000	指定した座標付近の人物を追尾対象にします。 値は、カメラの画角内の座標です。 [Value1] 横座標 [Value2] 縦座標
		PtzAutoFramingObjectPositionRect	Set	[Value1] 0 ~ 10000 [Value2] 0 ~ 10000 [Value3] 0 ~ 10000 [Value4] 0 ~ 10000	指定した矩形領域内の人物を追尾対象にします。 値はカメラの画角内の座標です。複数の人物が検出されている場合、領域の図心に近い人物が選択されます。 [Value1] 矩形領域左上の横座標 [Value2] 矩形領域左上の縦座標 [Value3] 矩形領域の幅 [Value4] 矩形領域の高さ
ライブ操作	Status	PtzAutoFramingTrackingStatus	Inq	idle, missing, preparing, searching, tracking, waiting	PTZ オートフレーミングの動作状態を取得します。 idle: 停止中（初期状態） missing: 追尾ロスト中 preparing: 追尾準備中 searching: 自動追尾開始モードで人物の検知中 tracking: 追尾中 waiting: 手動追尾開始モードで追尾対象の選択待ち
	Pause	PtzAutoFramingPause	Set Inq	off, on	PTZ オートフレーミングの一時停止やその解除を設定します。 on: 一時停止 off: 一時停止解除

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
構図プリ セット	Set	PtzAutoFramingPreset Set	Set	[Value1] 1 ~ 3 [Value2] 0 ~ 32 characters	現在の構図設定を構図プリセットとして登録します。 PresetSet=Value1, Value2 [Value1] 登録する構図プリセットの番号 [Value2] 登録する構図プリセットの名前 32 文字以下の英数字で設定可能
	Recall	PtzAutoFramingPreset Call	Set	1 ~ 3	指定した構図プリセット番号の構図設定を呼び出します。
	Name	PtzAutoFramingPreset Name	Set Inq	[Value1] 1 ~ 3 [Value2] 0 ~ 32 characters	登録済みの構図プリセットの名前を設定します。 設定時は登録済み構図プリセットの番号を 1 つ指定して 設定します。 PtzAutoFramingPresetName=Value1, Value2 問い合わせに対しては、すべての登録済み構図プリセッ トの名前を返します。 PtzAutoFramingPresetName=Value11, Value21[, Val ue12, Value22, Value13, Value23] [Value1n] プリセットの番号 [Value2n] プリセットの名前 32 文字以下の英数字を設定可能
	Setting List	PtzAutoFramingPreset SettingList	Inq	[Value1] 1 ~ 3 [Value2] -50 ~ 70 [Value3] -50 ~ 50 [Value4] 250 ~ 3500	各構図プリセット番号の構図設定情報を取得します。 [Value1] 構図プリセット番号 [Value2] 構図枠の縦方向位置 [Value3] 構図枠の横方向位置 [Value4] 構図枠のサイズ

AFR の構図調整

PtzAutoFramingAdjustRelativeSetting の設定値（Value3）と サイズの変化量（倍率）は下記の式で計算されます。

倍率

=

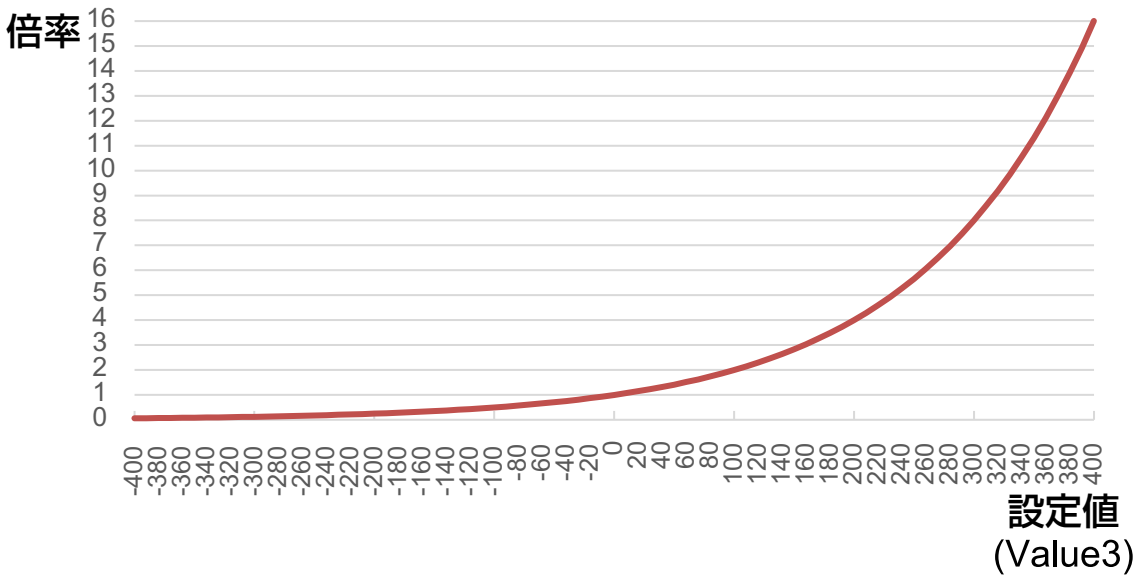
$2^{\frac{value3}{100}}$

設定後のサイズは、現在のサイズと倍率により下記の式で計算されます。

設定後のサイズ

=

現在のサイズ × 倍率



設定値と倍率（参考値）

設定値 (Value3 の値)	倍率
0	1
1	1.006
2	1.013
3	1.021
4	1.028
5	1.035
6	1.042
7	1.049
8	1.057
9	1.064
10	1.072
20	1.149
30	1.231
40	1.320
50	1.414
60	1.516
70	1.625
80	1.741
90	1.866
100	2.000

設定値 (Value3 の値)	倍率
110	2.144
120	2.297
130	2.462
140	2.639
150	2.828
160	3.031
170	3.249
180	3.482
190	3.732
200	4.000
210	4.287
220	4.595
230	4.925
240	5.278
250	5.657
260	6.063
270	6.498
280	6.964
290	7.464
300	8.000

設定値 (Value3 の値)	倍率
0	1
-1	0.993
-2	0.986
-3	0.979
-4	0.972
-5	0.965
-6	0.959
-7	0.952
-8	0.946
-9	0.939
-10	0.933
-20	0.870
-30	0.812
-40	0.757
-50	0.707
-60	0.659
-70	0.615
-80	0.574
-90	0.535
-100	0.500

設定値 (Value3 の値)	倍率
-110	0.466
-120	0.435
-130	0.406
-140	0.378
-150	0.353
-160	0.329
-170	0.307
-180	0.287
-190	0.267
-200	0.250
-210	0.233
-220	0.217
-230	0.203
-240	0.189
-250	0.176
-260	0.164
-270	0.153
-280	0.143
-290	0.133
-300	0.125

PTZ オートフレーミング機能に関する制御指示

ptzautoframingexe

設定 (Set) : analytics/ptzautoframingexe.cgi?<Parameter>=<Value>

ご注意

このコマンドの URL のパスは「/analytics/」です。他のコマンドとは異なりますのでご注意ください。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
追尾制御	自動追尾開始モードリスタート	PtzAutoFramingRestart	Set	on	PTZ オートフレーミングを自動追尾開始モードで実行しているとき、強制的にスタートポジションへ戻して追尾対象検出中の状態にします。
追尾設定	スタートポジション	PtzAutoFramingDecideStartPosition	Set	on	PTZ オートフレーミングの追尾開始位置を保存します。
		PtzAutoFramingMoveStartPosition	Set	on	PTZ オートフレーミングの追尾開始位置に移動します。

露出・ホワイトバランスに関する設定

imaging

設定 (Set) : command/imaging.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=imaging

ISO/ ゲイン (Custom モード /Flexible ISO モード)

CGI 項目名	Parameter	Set Inq	Value	内容
モード設定	ISO/Gain	ExposureISOGainMode	Inq	iso, gain iso: ISO gain: Gain
基準感度 (Custom/ Flexible ISO)	Base Sensitivity	ExposureBaseSensitivity	Set Inq	low , high
		ExposureBaseSensitivity Pmt	Inq	enable, disable, display_only ExposureBaseSensitivity の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
ゲイン	Gain	ExposureGain	Set Inq	6 ~ 9 ~ 39 ゲインのプリセット値を設定します。 ExposureISOGainMode が gain のとき、設定可能です。 * CGI コマンド設定値 (ゲイン) の項参照
		ExposureGainPmt	Inq	enable, disable, display_only ExposureGain の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
ISO 感度	ISO	ExposureISO	Set Inq	8 ~ 39 ISO のプリセット値を設定します。 ExposureISOGainMode が iso のとき、設定可能です。 * CGI コマンド設定値 (ISO) の項参照
		ExposureISOPmt	Inq	enable, disable, display_only ExposureISO の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
ISO/ ゲイン 一時調節	Gain Temporary	ExposureGainTemporary	Set Inq	6 ~ 9 ~ 39 ゲインの一時的な値を設定します。 ExposureISOGainMode が gain のとき、設定可能です。 * CGI コマンド設定値 (ゲイン) の項参照
		ExposureGainTemporary Pmt	Inq	enable, disable, display_only ExposureGainTemporary の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	ISO Temporary	ExposureISOTemporary	Set Inq	8 ~ 39 ISO の一時的な値を設定します。 ExposureISOGainMode が iso のとき、設定可能です。 * CGI コマンド設定値 (ISO) の項参照
		ExposureISOTemporary Pmt	Inq	enable, disable, display_only ExposureISOTemporary の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
状態表示	Gain Icon	ExposureGainIconState	Inq	gain_sw_l, temporary, depth_mode, agc Web App の表示用です。

Exposure Index (Cine EI/Cine EI Quick モード)

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
基準感度	Base ISO	ExposureBaseISO	Set Inq	iso800, iso12800	Cine EI モード用の基準 ISO 感度を設定します。
		ExposureBaseISOPmt	Inq	enable, disable, display_only	ExposureBaseISO の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
Exposure Index	Exposure Index	ExposureExposureIndex	Set Inq	1 ～ 7 ～ 13	Exposure Index を設定します。Cine EI モードのときのみ有効です。 * CGI コマンド設定値（Exposure Index）の項参照
		ExposureExposureIndex Pmt	Inq	enable, disable, display_only	ExposureExposureIndex の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効

ND フィルター

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
モード設定	ND Filter Mode	ExposureNDFilterMode	Inq	preset, variable	ND フィルターのプリセットモードとバリエアブルモードを切り替えます。 preset: プリセットモード variable: バリエアブルモード
ND フィルターの On/Off	ND Clear	ExposureNDClear	Set Inq	filtered, clear	ND フィルターを解除できます。 filtered: ND フィルター使用 clear: ND フィルター解除（クリア）
		ExposureNDClearPmt	Inq	enable, disable, display_only	ExposureNDClear の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
プリセットモード	ND Preset	ExposureNDPresetSelect	Set Inq	clear , nd1, nd2, nd3	ND フィルターのプリセットモードを切り替えます。 clear: クリア nd1: ND プリセット 1 nd2: ND プリセット 2 nd3: ND プリセット 3
		ExposureNDPresetSelect Pmt	Inq	enable, disable, display_only	ExposureNDPresetSelect の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	Preset Value	ExposureNDPreset1	Inq	0 ～ 20	ND フィルターのプリセット 1 の値を設定します。 * CGI コマンド設定値（ND フィルター）の項参照
		ExposureNDPreset2	Inq	0 ～ 8 ～ 20	ND フィルターのプリセット 2 の値を設定します。 * CGI コマンド設定値（ND フィルター）の項参照
		ExposureNDPreset3	Inq	0 ～ 16 ～ 20	ND フィルターのプリセット 3 の値を設定します。 * CGI コマンド設定値（ND フィルター）の項参照
	バリエアブルモード	ND Variable	ExposureNDVariable	Set Inq	0 ～ 20
ExposureNDVariable Pmt			Inq	enable, disable, display_only	ExposureNDVariable の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効

電子シャッター

CGI 項目名	Parameter	Set Inq	Value	内容
モード設定	Shutter	ExposureShutterMode	Set Inq	speed, angle 電子シャッターのモードを選択します。 speed: スピード angle: 角度
	Shutter Mode	ExposureShutterMode State	Inq	電子シャッターのモードを返します。 off: オフ（フル露光） speed: スピード angle: 角度 ecs: Extended Clear Scan auto: オートシャッター
		ExposureShutterMode StatePmt	Inq	ExposureShutterModeState の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
シャッター スピード	Shutter On/Off	ExposureShutterSpeed Enable	Set Inq	off, on Speed モード選択時の露光時間を、Shutter Speed の 設定値に従うかフル露光にするかを設定します。
	Shutter Speed	ExposureExposureTime	Set Inq	設定可能な値は映像出力方式（ビデオフォーマット）に依存します。 * CGI コマンド設定値（シャッター）の項参照
		ExposureExposureTime Pmt	Inq	ExposureExposureTime の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
		ExposureExposureTime Range	Inq	最小値、最大値 設定可能な最小値と最大値を返します。 * CGI コマンド設定値（シャッター）の項参照
シャッター アングル	Angle	ExposureAngle	Set Inq	1 ~ 17 ~ 29 Angle モード 選択時、開角度を設定します。 * CGI コマンド設定値（シャッター）の項参照
		ExposureAnglePmt	Inq	ExposureAngle の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
		ExposureAngleRange	Inq	最小値、最大値 設定可能な最小値と最大値を返します。 * CGI コマンド設定値（シャッター）の項参照
ECS 設定	ECS	ExposureECS	Set Inq	0 ~ 1120 ECS モード 選択時、ECS 周波数を設定します。 * Value に対応する ECS 周波数は ExposureECSValue の応答をご確認ください。システム周波数によって異なります。
		ExposureECSEnable	Set Inq	off, on Extended Clear Scan の設定を On/Off します。
		ExposureECSPmt	Inq	ExposureECS の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
		ExposureECSRange	Inq	最小値、最大値 ExposureECS で設定可能な最小値と最大値を返します。
		ExposureECSValue	Inq	2399 ~ 800000 ECS 周波数を 100 倍した値を返します。

アイリス

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
アイリス	Iris	ExposureFNumber	Inq	F 値を 100 倍した数値	アイリスの F 値を 100 倍した値を返します。
		ExposureFNumberPmt	Inq	enable, disable, display_only	ExposureFNumber で取得した値の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
		ExposureIris	Set Inq	0 ~ 65535	アイリスの値を設定します。 値が 1 変化すると明るさが約 1/256EV 変化します。設定値と F 値の目安は次のとおりです。 F1.0: 32768 F5.6: 31483 F32: 30208 設定と問い合わせの分解能が異なります。問い合わせで取得できる値の分解能は約 85 です。そのため、設定した値と問い合わせで取得した値は一致しません。
		ExposureIrisPmt	Inq	enable, disable, display_only	ExposureIris の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
		ExposureIrisRange	Inq	最小値、最大値	設定可能な最小値と最大値を返します。
ボケ調節モード	Depth of Field Adjustment Mode	DepthOfFieldAdjustmentEnable	Inq	off, on	ボケ調節機能の On/Off の状態です。

AUTO EXPOSURE

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
AUTO EXPOSURE	AE Level	ExposureCompensation	Set Inq	0 ~ 12 ~ 24	自動検出した露出に対する明暗レベルを設定します。 * CGI コマンド設定値 (AE Level) の項参照
		ExposureCompensationPmt	Inq	enable, disable, display_only	ExposureCompensation の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
オートゲイン / ISO 感度	AGC	ExposureAGCEnable	Set Inq	off, on	AGC(Auto Gain Control) の On/Off を設定します。
		ExposureAGCEnablePmt	Inq	enable, disable, display_only	ExposureAGCEnable の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
プッシュオートゲイン / ISO 感度	Push AGC	ExposurePushAGC	Set	press, release	[Push AGC] ボタンの押下を通知します。 press、release の順に組み合わせで通知します。
		ExposurePushAGCPmt	Inq	enable, disable, display_only	ExposurePushAGC の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
オート ND フィルター	Auto ND Filter	ExposureAutoNDFilterEnable	Set Inq	off, on	オート ND フィルターの On/Off を設定します。
		ExposureAutoNDFilterEnablePmt	Inq	enable, disable, display_only	ExposureAutoNDFilterEnable の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
プッシュ オート ND フィルター	Push Auto ND Filter	ExposurePushAutoND Filter	Set	press, release	Push Auto ND Filter ボタン ^{*1} ボタンの押下を通知します。 press、release の順に組み合わせて通知します。
		ExposurePushAutoND FilterPmt	Inq	enable, disable, display_only	ExposurePushAutoNDFilter の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
オート シャッター	Auto Shutter	ExposureAutoShutter Enable	Set Inq	off, on	オートシャッターの On/Off を設定します。
オートアイ リス	Auto Iris	ExposureAutoIris	Set Inq	off, on	オートアイリスの On/Off を設定します。
		ExposureAutoIrisPmt	Inq	enable, disable, display_only	ExposureAutoIris の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
プッシュ オートアイ リス	Push Auto Iris	ExposurePushAutoIris	Set	press, release	Push Auto Iris ボタン ^{*1} ボタンの押下を通知します。 press、release の順に組み合わせて通知します。
		ExposurePushAutoIris Pmt	Inq	enable, disable, display_only	ExposurePushAutoIris の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効

*1: Web App の [Push Auto] ボタンが該当します。

ホワイトバランス

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
モード設定	White Balance	WhiteBalanceMode	Set Inq	atw, memory_a , preset	ホワイトバランスモードを設定します。 atw: 常に適切なホワイトバランスになるように自動的に調整します。 memory_a: Memory A に保存されたホワイトバランスに調整します。 preset: 色温度をプリセット値（工場出荷時：3200K）に調整します。
		WhiteBalanceModePmt	Inq	enable, disable, display_only	WhiteBalanceMode の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	Web App 用	WhiteBalanceGainTemp	Set Inq	gain, temp	WhiteBalanceMode が Memory A に設定されているときの Web App で調整する項目を選択します。 gain: R Gain/B Gain temp: Color Temp/Tint
プリセット モード	Preset White	WhiteBalancePreset	Set Inq	2000 ~ 3200 ~ 15000	ホワイトバランスのプリセット値を設定します。
		WhiteBalancePresetPmt	Inq	enable, disable, display_only	WhiteBalancePreset の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
メモリー モード	Color Temp	WhiteBalanceColorTemp	Set Inq	2000 ~ 3200 ~ 15000	WhiteBalanceMode が Memory A に設定されている ときの色温度を設定します。
		WhiteBalanceColorTemp Current	Inq	2000 ~ 3200 ~ 15000	現在の色温度を返します。
		WhiteBalanceColorTemp Move	Set	[Value1] up, down [Value2] 1 ~ 30	WhiteBalanceMode が Memory A に設定されている ときの色温度を増減します。 [Value1] up: 色温度を上げます。 down: 色温度を下げます。 [Value2] 色温度の変化量
		WhiteBalanceColorTemp Pmt	Inq	enable, disable, display_only	WhiteBalanceColorTemp の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	Tint	WhiteBalanceTint	Set Inq	-99 ~ 0 ~ 99	Memory A に保存されたホワイトバランスの Tint 値を 設定します。
		WhiteBalanceTintPmt	Inq	enable, disable, display_only	WhiteBalanceTint の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	R Gain	WhiteBalanceCrGain	Set Inq	-990 ~ 0 ~ 990	WhiteBalanceMode が Memory A に設定されている ときの R ゲインを設定します。 Web App での表示値を 10 倍した値で設定します。
		WhiteBalanceCrGainPmt	Inq	enable, disable, display_only	WhiteBalanceCrGain の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	B Gain	WhiteBalanceCbGain	Set Inq	-990 ~ 0 ~ 990	WhiteBalanceMode が Memory A に設定されている ときの B ゲインを設定します。 Web App での表示値を 10 倍した値で設定します。
		WhiteBalanceCbGainPmt	Inq	enable, disable, display_only	WhiteBalanceCbGain の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	Auto White Balance	WhiteBalanceWBSet	Set	press, release	[WB Set] ボタンの押下を通知します。 press、release の順に組み合わせで通知します。
		WhiteBalanceWBSetPmt	Inq	enable, disable, display_only	WhiteBalanceWBSet の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
オフセット ホワイト	Offset Color Temp	WhiteBalanceOffsetColor Temp	Set Inq	-99 ~ 0 ~ 99	ATW のホワイトバランスに付加する色温度方向のオフ セットを設定します。
		WhiteBalanceOffsetColor TempPmt	Inq	enable, disable, display_only	WhiteBalanceOffsetColorTemp の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	Offset Tint	WhiteBalanceOffsetTint	Set Inq	-99 ~ 0 ~ 99	ATW のホワイトバランスに付加する Tint 方向のオフ セットを設定します。
		WhiteBalanceOffsetTint Pmt	Inq	enable, disable, display_only	WhiteBalanceOffsetTint の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
オフセット ホワイト状態表示	White Balance Offset	WhiteBalanceOffsetSign	Inq	zero, positive, negative	ホワイトバランスに付加する色温度方向のオフセットの極性を示します。 zero: オフセットなし positive: 正 negative: 負

カメラ映像の画面表示と記録・再生に関する操作

cameraoperation

設定 (Set) : command/cameraoperation.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=cameraoperation

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
メニュー操作	Menu	CamMenu	Set Inq	inactive, active	カメラメニューの On/Off を設定します。 Inactive: Off active: On
		CamMenuSelector	Set	[Value1] up, down, left, right, up-left, up-right, down-left, down-right, set, cancel_back [Value2] press, release	カメラメニューを操作します。 Value1 で指定したボタンの押下を Value2 で通知します。 [Value1] up: 上 down: 下 left: 左 right: 右 up-left: 左上 up-right: 右上 down-left: 左下 down-right: 右下 set: SET cancel_back: Cancel/Back [Value2] press、release の順に組み合わせで通知します。
表示操作	Display	DisplayButton	Set	press, release	[Display] ボタンの押下を通知します。 press、release の順に組み合わせで通知します。
	Thumbnail	ThumbnailButton	Set	press, release	[Thumbnail] ボタンの押下を通知します。 press、release の順に組み合わせで通知します。
		ThumbnailButtonPmt	Inq	enable, disable, display_only	ThumbnailButton の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
記録	Recording	MediaRecording	Set	press, release	録画 START/STOP ボタンの押下を通知します。 press、release の順に組み合わせで通知します。
		MediaRecording2nd	Set	press, release	[2nd Rec START/STOP] ボタンの押下を通知します。 press、release の順に組み合わせで通知します。
		MediaRecordingPmt	Inq	enable, disable, display_only	MediaRecording の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
		MediaRecordingStatus	Inq	standby, rec	記録状態を示します。 standby: 記録していない rec: 記録中

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
再生	Playback	MovieForward	Set	press, release	Fast Forward ボタンの押下を通知します。 press、release の順に組み合わせで通知します。
		MovieForwardPmt	Inq	enable, disable, display_only	MovieForward の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
		MovieNext	Set	press, release	Next ボタンの押下を通知します。 press、release の順に組み合わせで通知します。
		MovieNextPmt	Inq	enable, disable, display_only	MovieNext の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
		MoviePlayPause	Set	press, release	Play/Pause ボタンの押下を通知します。 press、release の順に組み合わせで通知します。
		MoviePlayPausePmt	Inq	enable, disable, display_only	MoviePlayPause の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
		MoviePrev	Set	press, release	Previous ボタンの押下を通知します。 press、release の順に組み合わせで通知します。
		MoviePrevPmt	Inq	enable, disable, display_only	MoviePrev の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
		MovieReverse	Set	press, release	Fast Reverse ボタンの押下を通知します。 press、release の順に組み合わせで通知します。
		MovieReversePmt	Inq	enable, disable, display_only	MovieReverse の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
		MovieStop	Set	press, release	Stop ボタンの押下を通知します。 press、release の順に組み合わせで通知します。
		MovieStopPmt	Inq	enable, disable, display_only	MovieStop の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
メディア	Slot Select	SlotSelect	Set	press, release	[Slot Select] ボタンの押下を通知します。 press、release の順に組み合わせで通知します。
		SlotSelectPmt	Inq	enable, disable, display_only	SlotSelect の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効

特殊な撮影機能や、LUT 操作に関する設定

shooting

設定 (Set) : command/shooting.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=shooting

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
S&Q Motion	On/Off	SandQMotionEnable	Set Inq	off, on	スロー&クイックモーションモードの On/Off を設定します。
		SandQMotionEnablePmt	Inq	enable, disable, display_only	SandQMotionEnable の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	Frame Rate	SandQMotionFrameRate	Set Inq	1 ~ 66	スロー&クイックモーション撮影時のフレームレートを設定します。 * CGI コマンド設定値 (S&Q Frame Rate) の項参照
		SandQMotionFrameRate Capability	Inq	60 ~ 66	現在設定可能なスロー&クイックモーションの最大フレームレートを返します。 * CGI コマンド設定値 (S&Q Frame Rate) の項参照
		SandQMotionFrameRate Pmt	Inq	enable, disable, display_only	SandQMotionFrameRate Capability の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
LUT On/ Off	Internal Rec	LutInternalRec	Inq	off, on	内蔵記録映像の Monitor LUT の適用状態です。
	SDI	LutSdi	Set Inq	off, on	SDI 出力映像に Monitor LUT を適用するか否かを設定します。
		LutSdiPmt	Inq	enable, disable, display_only	LutSdi の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	HDMI	LutHdmiStream	Set Inq	off, on	HDMI および Stream 出力映像に Monitor LUT を適用するか否かを設定します。
		LutHdmiStreamPmt	Inq	enable, disable, display_only	LutHdmiStream の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	Proxy	LutProxy	Inq	off, on	Proxy の Monitor LUT の適用状態です。

アサインابلボタンの操作

assignable

設定 (Set) : command/assignable.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=assignable

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
アサインابلボタン	操作	AssignableButton<n>	Set	press, release	アサインابلボタン 1 ～ 9 の押下を通知します。 press、release の順に組み合わせて通知します。
		AssignableButtonFocus Hold	Set	press, release	アサインابلボタンの Focus Hold ボタンの押下を通知します。 press、release の順に組み合わせて通知します。
	状態表示	AssignableButtonLamp <n>	Inq	0, 1	アサインابلボタン 1 ～ 9 のランプの点灯状態です。 0: 消灯 1: 点灯
		AssignableButtonLamp FocusHold	Inq	0, 1	アサインابلボタンの Focus Hold ボタンのランプの点灯状態です。 0: 消灯 1: 点灯
	設定取得	AssignableButtonSelect <n>	Inq	1 ～ 63	アサインابلボタン 1 ～ 9 の機能の割り当てを取得します。 * 番号に対応する機能は、「CGI コマンド設定値」のアサインابلボタンの機能を参照。
		AssignableButtonSelect FocusHold	Inq	1 ～ 63	アサインابلボタンの Focus Hold ボタンの機能の割り当てを取得します。 * 番号に対応する機能は、「CGI コマンド設定値」のアサインابلボタンの機能を参照。

タリーランプに関する設定、状態取得

tally

設定 (Set) : command/tally.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=tally

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
操作	Tally Control	RTallyControl	Set Inq	turn_on, turn_off	タリーランプ（赤）の点灯 / 消灯を設定します。 turn_on : 点灯 turn_off : 消灯
		GTallyControl	Set Inq	turn_on, turn_off	タリーランプ（緑）の点灯 / 消灯を設定します。 turn_on : 点灯 turn_off : 消灯
設定	Tally Lamp Brightness	TallyLampBrightness	Set Inq	off, low, high	タリーランプの明るさを設定します。 off : RTallyControl/GTallyControl の on/off 設定にかかわらず常時消灯 low : 暗い high : 明るい
		TallyLampBrightness Extra	Set Inq	on, off	TallyLampBrightness の high よりも、さらにタリーランプを明るくするか否かを設定します。 <div>● ご注意</div> <div>● 電源が PoE++ のときは On にしないでください。</div> <div>● SFP+ 使用時は On にしないでください。</div>
	G Tally Lamp Enable	GTallyLampEnable	Set Inq	on , off	緑色タリーランプを点灯するか否かを設定します。 off: 点灯しない on: 点灯する
	Tally Lamp Control	TallyControlMode	Set Inq	internal , external, ptz_afr	タリーランプの点灯が、カムコーダーとしての記録状態およびエラー状態に従うか、外部からの制御信号に従うかを設定します。 internal: カムコーダーとしての記録状態およびエラー状態に従います。 external: 外部からの制御信号に従います。 ptz_afr: PTZ オートフレーミングの状態およびエラー状態に従います。
	Tally TSL UMD	TallyTslUmdEnable	Set Inq	on, off	TSL UMD を有効にするか否かを設定します。 0 : 無効 1 : 有効
		TallyTslUmdPort	Set Inq	1024 ~ 8900 ~ 65534	TSL UMD の Port を設定します。
		TallyTslUmdIndex	Set Inq	0 ~ 1 ~ 65534	TSL UMD の Index を設定します。
	状態取得	Tally Lamp Status	RTallyOsdStatus	Inq	1, 0
GTallyOsdStatus			Inq	1, 0	Web App 用の緑タリー信号の出力状態です。 0: 出力 Off 1: 出力 On
RTallyOutputStatus			Inq	1, 0	OPTION 端子の赤タリー信号の出力状態です。 0: 出力 Off 1: 出力 On
GTallyOutputStatus			Inq	1, 0	OPTION 端子の緑タリー信号の出力状態です。 0: 出力 Off 1: 出力 On

レンズコントローラーに関する設定

lenscontroller

設定 (Set) : command/lenscontroller.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=lenscontroller

CGI 項目名	Parameter	Set Inq	Value	内容
設定	Enable	LensControllerZoom Set Inq	on, off	レンズコントローラーをオン / オフします。本設定を反映させるには、本機の再起動を行う必要があります。再起動コマンド (メンテナンス -> main -> System (reboot)) を発行するか電源の再投入を行います。電源の再投入を行う場合には本設定を実施後、少なくとも 30 秒の時間を空けてください。 本設定変更を行っても、本機の再起動を実施しない限りはその問い合わせ結果は変更されません。 on: オン off: オフ
	Mode	LensControllerZoom Mode Set Inq	0 ~ 15	レンズコントローラーの動作モードを設定します。値の範囲は 0 ~ 15 ですが、実際に設定できる値はレンズコントローラーに依存します。本設定は LensControllerZoom パラメータが on のときのみ可能です。
	Reverse	LensControllerZoom Reverse Set Inq	on, off	レンズコントローラーの回転を反転させます。本設定は LensControllerZoom パラメータが on のときのみ可能です。 on: 反転 off: 正転
操作	Initialize	LensControllerZoom Initialize Set	on	レンズコントローラーを初期化します。本設定は LensControllerZoom パラメータが on のときのみ有効に動作します。LensControllerZoom パラメータが off の場合に本設定を実施しても、正常な HTTP 応答が返却され実際の初期化動作は実施されません。
状態取得	Initialize	LensControllerZoom InitializeStatus Inq	uninitialized, failed, initializing, initialized	レンズコントローラーの初期化状態を返します。 uninitialized: 未初期化 failed: 初期化失敗 initializing: 初期化中 initialized: 初期化済
	Error Status	LensControllerZoom ErrorStatus Inq	no_error, comm_error, system_error, rotation_error, unknown_error	エラー状態を返します。 no_error: エラーなし comm_error: レンズコントローラーとの通信エラー system_error: レンズコントローラーのシステムエラー rotation_error: レンズコントローラーの回転エラー unknown_error: レンズコントローラーの未定義エラー

プロジェクトの設定

機能	コマンド
記録フォーマットの設定、記録機能に関する設定、All ファイルの管理	project all-file

記録フォーマットの設定、記録機能に関する設定、All ファイルの管理

project

設定 (Set) : `command/project.cgi?<Parameter>=<Value>`

問い合わせ (Inq) : `command/inquiry.cgi?inq=project`

基本動作モード

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
Base Setting	Shooting Mode	BaseSettingShooting Mode	Set Inq	custom , cine_ei, flexible_iso, cine_ei_quick	撮影モードを設定します。
		BaseSettingShooting ModePmt	Inq	enable, disable, display_only	BaseSettingShootingMode の実行可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	Target Display	BaseSettingTarget Display	Set Inq	bt_709 , hlg	Custom モード時の記録 / 出力の色域を設定します。 bt_709: SDR(BT.709) hlg: HDR(HLG)
		BaseSettingTarget DisplayPmt	Inq	enable, disable, display_only	BaseSettingTargetDisplay の実行可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
Cine EI/ Flex. ISO Set	Color Gamut	CineEIColorGamut Mode	Inq	s-gamut3_slog3, s-gamut3.cine_slog3	Log 撮影モード時の色域の状態です。

記録フォーマット

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
システム周波数	Frequency	RecFormatFrequency	Set Inq	5994, 5000, 2997, 2500, 2400, 2398	システム周波数を設定します。
		RecFormatFrequencyPmt	Inq	enable, disable, display_only	RecFormatFrequency の実行可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
イメージャースキャンモード	Imager Scan Mode	RecFormatImagerScan Mode	Set Inq	ff, s35	イメージャーサイズを設定します。
		RecFormatImagerScan ModePmt	Inq	enable, disable, display_only	RecFormatImagerScanMode の実行可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
Codec 設定	Codec	RecFormatCodec	Set Inq	raw, raw_xavc-i , xavc-i, xavc-l	クリップの記録・再生コーデックを設定します。
		RecFormatCodecPmt	Inq	enable, disable, display_only	RecFormatCodec の実行可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
RAW 出力フォーマットの設定	RAW Output Format	RecFormatRAWOutputFormat	Set Inq	4096x2160, 3840x2160	外部 RAW レコーダーに出力する RAW 画像のサイズを設定します。
		RecFormatRAWOutputFormatPmt	Inq	enable, disable, display_only	RecFormatRAWOutputFormat の実行可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
ビデオフォーマット	Video Format	RecFormatVideoFormat	Set Inq	4096x2160p, 3840x2160p, 1920x1080p, 1920x1080p_50, 1920x1080p_35	画像サイズ・ビットレートを設定します。
		RecFormatVideoFormatPmt	Inq	enable, disable, display_only	RecFormatVideoFormatList の実行可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	Video Format List	RecFormatVideoFormatList	Inq	-	現在選択可能な録画フォーマットのリストを返します。

記録機能

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容												
2 スロット 同時記録 (Simul Rec)	Simul Rec	SimulRecButtonsSet	Inq	a_b, b_a, ab_ab	同時記録機能が On の場合の、記録メディアに対する録画ボタンの割り当て状態です。 <table><tr><td></td><td>Rec</td><td>2nd Rec</td></tr><tr><td>a_b</td><td>Media A</td><td>Media B</td></tr><tr><td>b_a</td><td>Media B</td><td>Media A</td></tr><tr><td>ab_ab</td><td>Media A/B</td><td>Media A/B</td></tr></table>		Rec	2nd Rec	a_b	Media A	Media B	b_a	Media B	Media A	ab_ab	Media A/B	Media A/B
			Rec	2nd Rec													
		a_b	Media A	Media B													
		b_a	Media B	Media A													
ab_ab	Media A/B	Media A/B															
SimulRecEnable	Set Inq	off , on	同時記録機能の On/Off を設定します。														
SimulRecEnablePmt	Inq	enable, disable, display_only	SimulRecEnable の実行可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効														
プロキシ記 録 (Proxy Rec)	Proxy Rec	ProxyRecEnable	Set Inq	off , on	プロキシレックの On/Off を設定します。												
		ProxyRecEnablePmt	Inq	enable, disable, display_only	ProxyRecEnable の実行可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効												

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
インターバルレック (Interval Rec)	Interval Rec	IntervalRecEnable	Set Inq	off, on	インターバルレックモードを On/Off します。 この設定を On にすると、他の特殊記録モードの設定が Off になります。
		IntervalRecEnablePmt	Inq	enable, disable, display_only	IntervalRecEnable の実行可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
		IntervalRecFrames	Set Inq	1frame, 2frames, 3frames, 6frames, 9frames, 12frames	Interval Rec の設定が On の場合に、インターバル撮影時の 1 回の記録フレーム数を設定します。
		IntervalRecFramesList	Inq	–	インターバルレックに指定できる記録フレーム数のリストを返します。
		IntervalRecFramesPmt	Inq	enable, disable, display_only	IntervalRecFrames で取得した値の実行可否の状態です。 enable, display_only: 値有効 disable: 値無効
		IntervalRecTime	Set Inq	1 ~ 37	Interval Rec の設定が On の場合に、インターバル撮影時の録画間隔 (インターバル) を設定します。 * 「CGI コマンド設定値」を参照。
		IntervalRecTimePmt	Inq	enable, disable, display_only	IntervalRecTime の実行可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
ピクチャーキャッシュレック (Picture Cache Rec)	Picture Cache Rec	PictureCacheRecEnable	Set Inq	off, on	ピクチャーキャッシュレックの On/Off を設定します。
		PictureCacheRecEnablePmt	Inq	enable, disable, display_only	PictureCacheRecEnable の実行可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
		PictureCacheRecSize	Set Inq	short, medium, long, max	ピクチャーキャッシュレックのキャッシュサイズを設定します。
		PictureCacheRecSizePmt	Inq	enable, disable, display_only	PictureCacheRecSize の実行可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
		PictureCacheRecTime	Inq	[Value1] 0 ~ 100 [Value2] 0 ~ 100 [Value3] 0 ~ 100 [Value4] 0 ~ 100	ピクチャーキャッシュレックの各キャッシュサイズの時間 (単位: 秒) を返します。 [Value1] キャッシュサイズが short の場合の時間 [Value2] キャッシュサイズが medium の場合の時間 [Value3] キャッシュサイズが long の場合の時間 [Value4] キャッシュサイズが max の場合の時間

All ファイル

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
操作	All File Upload	AllFileLoadPmt	Inq	enable, disable, display_only	All File ロードの実行可否の状態です。 enable: 実行可 disable, display_only: 実行不可
	All File Download	AllFileSavePmt	Inq	enable, disable, display_only	All File セーブの実行可否の状態です。 enable: 実行可 disable, display_only: 実行不可

all-file

All ファイルを、Web App を開いているデバイスに保存します。

< 構文 >

http://<camera_address>/system/all-file.bin

Content-Type	application/x-www-form-urlencoded	
Content-Disposition	filename	all-file.ALL

Web App を開いているデバイスから、All ファイルをカメラに読み込みます。

< 構文 >

http://<camera_address>/update/all-file.cgi

Content-Type	application/octet-stream	
Content-Disposition	name	AllFile
	file-name	<path/name>

画づくりの設定

機能	コマンド
Scene ファイルに関する設定	scenefile
基本ルックの設定	baselook user-base-look
基本ルック以外の画づくりに関する設定	paint

Scene ファイルに関する設定

scenefile

設定 (Set) : command/scenefile.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=scenefile

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
状態表示	Scene File	SceneFileCurrentScene File	Set Inq	0 ~ 16	シーンファイルを設定します。 0: Scene ファイル Off (未選択) 1 ~ 16: Scene ファイル番号
		SceneFileCurrentScene FilePmt	Inq	enable, disable, display_only	SceneFileCurrentSceneFile の実行可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
		SceneFileList	Inq	-	シーンファイルの番号と名前の対のリストを返します。

基本ルックの設定

baselook

設定 (Set) : なし

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=baselook

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
基本ルック	状態取得	BaseLookCurrentBaseLook	Inq	s-cinetone, standard, still, itu709, 709tone, hlg_live, hlg_natural, s709, r709_800, s-log3, user1 ~ user16	現在の基本ルックを返します。 s-cinetone: S-Cinetone standard: Standard still: Still itu709: ITU709 709tone: 709tone hlg_live: HLG Live hlg_natural: HLG Natural s709: s709 r709_800: 709(800%) s-log3: S-Log3 user1 ~ user16: User1 ~ User16
		BaseLookCurrentBaseLookPmt	Inq	enable, disable, display_only	BaseLookCurrentBaseLook で取得できる値の状態です。 enable, display_only : 値有効 disable : 値無効
	情報取得	PresetBaseLookList	Inq	Base64 エンコードした文字列	現在選択可能な Base Look のリストを Base64 エンコードした文字列で返します。
		UserBaseLookList	Inq	User Base Look 情報	16 個の User Base Look の情報を返します。 User Base Look 1 個の情報は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • User Base Look 名 : Base64 エンコードした文字列 • Look ファイル識別 : cube • Input: Gamut • Output: Target Display • AE Level Offset: 0EV ~ 2EV
		UserBaseLookImportPmt	Inq	enable, disable, display_only	ユーザー基本 Look のインポートの設定可否状態です。 enable: インポート可 disable, display_only: インポート不可
	再生用情報取得	BaseLookPlaybackAppliedLutInfo	Inq	-	再生中のクリップに適用されている LUT 情報です。

user-base-look

ユーザー基本ルックをインポートする。

< 構文 >

http://<camera_address>/update/user-base-look.cgi

Content-Type	application/octet-stream	
Content-Disposition	name	UserBaseLookFile<n>
	file-name	<path/name>

基本ルック以外の画づくりに関する設定

paint

設定 (Set) : command/paint.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=paint

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
ブラック	Master Black	MasterBlack	Set Inq	-990 ~ 0 ~ 990	マスターブラックレベルを設定します。 Web App での表示値を 10 倍した値で設定します。
		MasterBlackPmt	Inq	enable, disable, display_only	MasterBlack の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	R Black	RBlack	Set Inq	-990 ~ 0 ~ 990	R ブラックレベルを設定します。 Web App での表示値を 10 倍した値で設定します。
		RBlackPmt	Inq	enable, disable, display_only	RBlack の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	B Black	BBlack	Set Inq	-990 ~ 0 ~ 990	B ブラックレベルを設定します。 Web App での表示値を 10 倍した値で設定します。
		BBlackPmt	Inq	enable, disable, display_only	BBlack の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効

映像出力の設定

機能	コマンド
映像出力に関する設定	monitoring

映像出力に関する設定

monitoring

設定 (Set) : command/monitoring.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=monitoring

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
Output Format	SDI/HDMI	MonitoringOutput Format	Set Inq	s4096p_h4096p, s4096p_h1920p, s4096p_h1920i, s3840p_h3840p, s3840p_h1920p, s3840p_h1920i, s1920plva_h1920p, s1920plva_h1920i, s1920plvb_h1920p, s1920plvb_h1920i, s1920i_h1920i, snone_h720p, s1920p_h1920p, s1920ipsf_h1920p, s1920ipsf_h1920i	SDI と HDMI 出力の解像度を設定します。 * 「CGI コマンド設定値」の Monitoring Output Format の Value リスト参照。
		MonitoringOutput FormatList	Inq	MonitoringOutput Format の Value のリ スト参照	現在選択可能な SDI と HDMI 出力の解像度のリストを 返します。
		MonitoringOutput FormatPmt	Inq	enable, disable, display_only	MonitoringOutputFormat の設定可否の状態です。 enable : 設定可 disable : 設定不可、値無効 display_only : 設定不可、値有効
Output Display On/Off	SDI	MonitoringOutput DisplaySdiEnable	Set Inq	on, off	SDI 出力信号へのメニューやステータス重畳表示の on/ off を設定します。
		MonitoringOutput DisplaySdiEnablePmt	Inq	enable, disable, display_only	MonitoringOutputDisplaySdiEnable の設定可否の状 態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	HDMI	MonitoringOutput DisplayHdmiEnable	Set Inq	on, off	HDMI/Stream 出力信号へのメニューやステータス重畳 表示の on/off を設定します。
		MonitoringOutput DisplayHdmiEnablePmt	Inq	enable, disable, display_only	MonitoringOutputDisplayHdmiEnable の設定可否の 状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効

音声の設定

機能	コマンド
音声に関する設定	audio

音声に関する設定

audio

設定 (Set) : command/audio.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=audio

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
Audio Input	Input Select	AudiolInputCH1InputSelect	Set Inq	input1	記録 CH1 に対する入力元を切り替えます (input1 固定)。 Input1: AUDIO IN CH1
		AudiolInputCH2InputSelect	Set Inq	input1, input2	記録 CH2 に対する入力元を切り替えます。 Input1: AUDIO IN CH1 Input2: AUDIO IN CH2
		AudiolInputCH3InputSelect	Set Inq	off, input1	記録 CH3 に対する入力元を切り替えます。 Off: Off Input1: AUDIO IN CH1
		AudiolInputCH4InputSelect	Set Inq	off, input1, input2	記録 CH4 に対する入力元を切り替えます。 Off: Off Input1: AUDIO IN CH1 Input2: AUDIO IN CH2
	Level Control	AudiolInputCH1LevelControl	Set Inq	auto , manual	記録 CH1 の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定します。
		AudiolInputCH2LevelControl	Set Inq	auto , manual	記録 CH2 の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定します。
		AudiolInputCH3LevelControl	Set Inq	auto , manual	記録 CH3 の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定します。
		AudiolInputCH4LevelControl	Set Inq	auto , manual	記録 CH4 の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定します。
	Input Level	AudiolInputCH1Level	Set Inq	0 ~ 49 ~ 99	記録 CH1 の入力レベルを設定します。
		AudiolInputCH2Level	Set Inq	0 ~ 49 ~ 99	記録 CH2 の入力レベルを設定します。
		AudiolInputCH3Level	Set Inq	0 ~ 49 ~ 99	記録 CH3 の入力レベルを設定します。
		AudiolInputCH4Level	Set Inq	0 ~ 49 ~ 99	記録 CH4 の入力レベルを設定します。
	Master Input Level	AudiolInputMasterLevel	Set Inq	0 ~ 99	音声入力レベルを設定します。マスターボリュームとして使用できます。
	Wind Filter	AudiolInputCH1WindFilter	Set Inq	off , on	記録 CH1 に対する風音低減フィルターを設定します。
		AudiolInputCH2WindFilter	Set Inq	off , on	記録 CH2 に対する風音低減フィルターを設定します。
		AudiolInputCH3WindFilter	Set Inq	off , on	記録 CH3 に対する風音低減フィルターを設定します。
		AudiolInputCH4WindFilter	Set Inq	off , on	記録 CH4 に対する風音低減フィルターを設定します。
Audio Output	HDMI Output CH	AudioOutputHdmiOutputCh	Set Inq	ch1_ch2 , ch3_ch4	HDMI/ ストリーミングに出力される音声チャンネルの組み合わせを設定します。 ch1_ch2: CH1/CH2 ch3_ch4: CH3/CH4

ネットワークの設定

機能	コマンド
ユーザー名・パスワードに関する設定	user
ネットワーク接続に関する設定	network
ファイル転送に関する設定	ftpconfig FtpCACert1 FtpCACert2 FtpCACert3
SSL に関する設定	ssl
SSL 証明書に関する操作	ssl-cert sslcert
SSH トンネリング機能に関する設定	sshtunneling
ネットワークのアクセス制限に関する設定	filtering
ネットワークのクライアント認証に関する設定	auth attackerlist
RCP/MSU（別売）との接続に関する設定	s700p

ユーザー名・パスワードに関する設定

user

設定（Set）：command/user.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ（Inq）：command/inquiry.cgi?inq=user

パラメーター末尾の <n> は 1 ～ 9 の数字です。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
User Management	Administrator	Administrator	Set	–	Web メニューから使用します。直接使用しないでください。
		AdminInfo	Inq	–	管理者名を返します。
	User	UserNum	Inq	9	登録可能な最大ユーザー数を返します。
		User<n>	Set	–	Web メニューから使用します。直接使用しないでください。
		UserInfo<n>	Inq	–	ユーザー数を返します。
	Digest Authentication	DigestAuthNonceDuration	Set Inq	1 ～ 300 ～ 3600	ダイジェストアクセス認証で、Nonce 値の有効な持続時間（単位：秒）を設定します。

ネットワーク接続に関する設定

network

設定 (Set) : command/network.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=network

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
Status	Host Name	Hostname	Inq		ホストネームを返します。
	MAC Address	MacAddress	Inq	-	カメラの MAC アドレスを返します。
	Status	PhyStat	Inq	10half, 10full, 100half, 100full, 1000half, 1000full	イーサネットの接続状態を返します。 10half : 10Mbps、半二重通信 10full : 10Mbps、全二重通信 100half : 100Mbps、半二重通信 100full : 100Mbps、全二重通信 1000half : 1000Mbps、半二重通信 1000full : 1000Mbps、全二重通信
	IP Address	CurrentIp	Inq	IPv4 address	現在の IPv4 アドレスを返します。
	Subnet Mask	CurrentSubnetmask	Inq	IPv4 address	現在の IPv4 サブネットマスクを返します。
	Gateway	CurrentGateway	Inq	IPv4 address	現在の IPv4 デフォルトゲートウェイのアドレスを返します。
	DNS Server	CurrentPrimaryDns	Inq	IPv4 or IPv6 address	プライマリー DNS サーバーの現在の IP アドレスを返します。
		CurrentSecondaryDns	Inq	IPv4 or IPv6 address	セカンダリー DNS サーバーの現在の IP アドレスを返します。
	IPv6 Address	CurrentIpv6Address1	Inq	IPv6 address	現在の IPv6 アドレス 1 を返します。
		CurrentIpv6Address2	Inq	IPv6 address	現在の IPv6 アドレス 2 を返します。
	IPv6 Gateway	CurrentGatewayv6	Inq	IPv6 address	現在の IPv6 のデフォルトゲートウェイのアドレスを返します。
	IPv6 Prefix	CurrentPrefix1	Inq	0 ~ 128	現在の IPv6 のプレフィックス 1 の値を返します。
		CurrentPrefix2	Inq	0 ~ 128	現在の IPv6 のプレフィックス 2 の値を返します。
	Link-local	LinkLocalIPv6	Inq	IPv6 address	IPv6 のリンクローカルアドレスを返します。
IPv4	DHCP	Dhcp	Set Inq	on, off	DHCP クライアント機能の on/off を設定します。
	IP Address	Ip	Set Inq	IPv4 address	IPv4 アドレスを設定します。
	Subnet Mask	Subnetmask	Set Inq	IPv4 address	IPv4 サブネットマスクを設定します。
	Gateway	Gateway	Set Inq	IPv4 address	デフォルトゲートウェイの IPv4 アドレスを設定します。
IPv6	Auto	AutoIpv6	Set Inq	on, off	IPv6 の IP アドレスを自動取得するかどうかを設定します。
	IP Address	Ipv6	Set Inq	IPv6 address	IPv6 アドレスを設定します。
	Prefix Length	Prefix	Set Inq	0 ~ 64 ~ 128	IPv6 のプレフィックス長の値を設定します。
	Gateway	Gatewayv6	Set Inq	IPv6 address	IPv6 のデフォルトゲートウェイのアドレスを設定します。
SSDP(UPnP)	SSDP(UPnP)	SsdpDiscovery	Inq	on, off	SSDP プロトコルによる機器検索が有効かどうかを取得します。
		SsdpTtl	Set Inq	1 ~ 4 ~ 255	SSDP プロトコルにおいて、カメラが送信する Advertisement の TTL 値を設定します。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
System	Camera Name	CameraName	Set Inq	0 ~ 8 characters (FR7)	カメラの名前を設定します。 8 文字以下の英数字で設定可能です。
	IP Setup Set Enable	IPsetupSetEnable	Set Inq	on, off	RM-IP Setup Tool による設定を受け付けるか否かを設定します。 off: 受け付けない on: 受け付ける * off にすることで、RM-IP Setup Tool による不用意な変更を防止できます。
Common	HTTP Port	HttpPort	Set Inq	80, 1024 ~ 65534	HTTP プロトコルで使用するポート番号を設定します。 この設定は、IPv4 と IPv6 に共通です。
	DNS Auto	DnsAuto	Set Inq	on, off	DNS サーバーの IP アドレスを DHCP サーバーから取得する機能の有効 / 無効を設定します。 この設定は、IPv4 と IPv6 に共通です。
	DNS Server	PrimaryDns	Set Inq	IPv4 or IPv6 address	プライマリー DNS サーバーの静的 IP アドレスを設定します。
		SecondaryDns	Set Inq	IPv4 or IPv6 address	セカンダリー DNS サーバーの静的 IP アドレスを設定します。
	Keep Alive	HttpMaxKeepAliveldle	Set Inq	0 ~ 70 ~ 7200	Idle と判定してセッションを切断するまでの時間（単位：秒）を設定します。 * 0 に設定するとセッションは切断されません。

ファイル転送に関する設定

ftpconfig

設定 (Set) : command/ftpconfig.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=ftpconfig

パラメーター末尾の <n> は 1 ~ 3 の数字で、カメラに登録できる FTP Server 1 ~ 3 に対応します。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
ファイル転送	Auto Upload	FileTransferAuto UploadProxyEnable	Set Inq	off, on	プロキシファイルの自動転送の On/Off を設定します。
	File Transfer	FileTransferDefault UploadServer	Set Inq	1 ~ 3	ファイルの転送先サーバーを設定します。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
FTP Server	サーバー設定数	FileTransferFcServerNum	Set Inq	3	登録可能な FTP Server 数です。
	Display Name	FileTransferFcDisplayName<n>	Set Inq	1 ~ 16 characters	転送先設定のメニュー上の表示名を入力します。
	Host Name	FileTransferFcServerName<n>	Set Inq	0 ~ 127 characters	転送先設定の Web App 設定画面の表示名を入力します。
	Port	FileTransferFcServerPort<n>	Set Inq	21, 990, 1024 ~ 65534	転送先サーバーのポート番号を設定します。
	User Name	FileTransferFcUserName<n>	Set Inq	0 ~ 127 characters	転送先サーバー接続の認証用ユーザー名を入力します。
	Password	FileTransferFcPassword<n>	Set		転送先サーバー接続の認証パスワードを設定します。
		FileTransferFcPasswordUsed<n>	Inq	0, 1	転送先サーバー接続の認証パスワードの設定状態です。 0: 未設定 1: 設定済
	Passive Mode	FileTransferFcPassive<n>	Set Inq	off, on	PASV モードの On/Off を設定します。
	Destination Directory	FileTransferFcRemotePath<n>	Set Inq	0 ~ 127 characters	転送先のディレクトリー名を入力します。
	Protocol	FileTransferFcProtocol<n>	Set Inq	ftp, ftps	FTP 転送のプロトコルを設定します。 ftp: FTP ftps: FTPS
	Certificate	FileTransferFcRootCertInstalled<n>	Inq	0, 1	ルート証明書の有無を返します。 0: なし 1: あり

FtpCACert1

FTP Server 1 の CA 証明書をインポートします。

< 構文 >

http://<camera_address>/FtpCACert1.cgi

Content-Type	application/octet-stream	
Content-Disposition	name	FTPCACert1ImportFile
	file-name	<path/name>

FtpCACert2

FTP Server 2 の CA 証明書をインポートします。

< 構文 >

http://<camera_address>/FtpCACert2.cgi

Content-Type	application/octet-stream	
Content-Disposition	name	FTPCACert2ImportFile
	file-name	<path/name>

FtpCACert3

FTP Server 3 の CA 証明書をインポートします。

< 構文 >

http://<camera_address>/FtpCACert3.cgi

Content-Type	application/octet-stream	
Content-Disposition	name	FTPCACert3ImportFile
	file-name	<path/name>

SSL に関する設定

ssl

設定 (Set) : command/ssl.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=ssl

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
SSL	Cert	SSLCertAvailability	Inq	0, 1	SSL 証明書の状態を返します。 1 : 証明書が有効 0 : 証明書が無効
		SSLCertExtendedKeyUsage	Inq	0 ~ 128 characters	SSL サーバー証明書の拡張キーの使用法を返します。 秘密鍵パスワードが正しく設定されていない場合は "<Put correct private key password>" を返します。
		SSLCertInstalled	Inq	0, 1	SSL サーバー証明書の状態を返します。 1 : 証明書あり 0 : 証明書なし
		SSLCertIssuerDn	Inq	0 ~ 128 characters	SSL サーバー証明書の発行者の識別名を返します。 秘密鍵パスワードが正しく設定されていない場合は "<Put correct private key password>" を返します。
		SSLCertSubjectDn	Inq	0 ~ 128 characters	SSL サーバー証明書のサブジェクトの識別名を返します。
		SSLCertValidity	Inq	0 ~ 128 characters	SSL サーバー証明書の有効期間を返します。 秘密鍵パスワードが正しく設定されていない場合は "<Put correct private key password>" を返します。
	SSL	HttpsPort	Set Inq	443, 1024 ~ 65534	HTTPS プロトコルで使用するポート番号を設定します。
		SSLCertMode	Set Inq	auto, user	HTTPS 機能で使用するサーバー証明書モードを設定します。 auto : カメラ内で作成した自己署名証明書を使用します。 user : インポートされた外部証明書を使用します。
		SSLMode	Set Inq	Plain, SSL, Plain-SSL, SSL-Plain	HTTPS 機能のモードを設定します。 Plain : HTTP のみで動作します。HTTPS は無効です。 SSL : HTTPS のみで動作します。HTTP は無効です。 Plain-SSL : HTTP と HTTPS の両方で動作します。 SSL-Plain : HTTPS と HTTP の両方で動作する。アクセス時に指定がない場合は HTTPS で動作します。
		SSLPrivPassword	Set	0 ~ 50 characters	サーバー証明の秘密鍵を設定します。
		SSLPrivPasswordUsed	Inq	0, 1	HTTPS 機能で使用するサーバー証明の秘密鍵の状態を返します。 0 : 未設定 1 : 設定済み

SSL 証明書に関する操作

ssl-cert

設定 (Set) : command/ssl-cert.cgi?<Parameter>=<Value>

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
SSL	Cert	DeleteCert	Set	sslcert, rtmpcert, ftpccert1, ftpccert2, ftpccert3	カメラに保存されている証明書を削除します。 sslcert: SSL のサーバー証明書を削除します。 rtmpcert: RTMP のサーバー証明書を削除します。 ftpcacert1: FTP Server 1 のサーバー証明書を削除します。 ftpcacert2: FTP Server 2 のサーバー証明書を削除します。 ftpcacert3: FTP Server 3 のサーバー証明書を削除します。
	SSL	GenerateCert	Set	selfsignedcert	SSL の自己署名証明書を生成します。

sslcert

SSL サーバー証明書をインポートする。

< 構文 >

http://<camera_address>/command/sslcert.cgi

Content-Type	application/octet-stream		
Content-Disposition	name	SSLCertImportFile	
	file-name	<path/name>	

SSH トンネリング機能に関する設定

sshtunneling

設定 (Set) : command/sshtunneling.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=sshtunneling

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
SSH トンネリング機能	On/Off	SshTunnelingEnable	Set Inq	on, off	トンネリング用 SSH サーバー機能を有効にするか否かを設定します。 on: 有効 off: 無効
	Authentication	SshTunnelingAuthUserName	Set Inq	1 ~ 16 characters	トンネリング用 SSH サーバーへの認証のためのユーザー名を設定します。
		SshTunnelingAuthPassword	Set	8 ~ 18 characters	トンネリング用 SSH サーバーへの認証のためのパスワードを設定します。
		SshTunnelingAuthPasswordUsed	Inq	0, 1	トンネリング用 SSH サーバーへの認証のためのパスワードが使用されているか確認します。 0: 使用されていない 1: 使用されている
	Fingerprint	SshTunnelingFingerprint	Inq	0 ~ 120 characters	トンネリング用 SSH サーバーのフィンガープリントを取得します。
	Reset	SshTunnelingReset	Set	reset	トンネリング用 SSH サーバーの各種設定を初期化します。

ネットワークのアクセス制限に関する設定

filtering

設定 (Set) : `command/filtering.cgi?<Parameter>=<Value>`

問い合わせ (Inq) : `command/inquiry.cgi?inq=filtering`

ご注意

アクセスを許可する IP アドレスを未登録の状態で、FilterDefaultRule を reject に設定すると、管理者でも CGI コマンドでアクセスできなくなります。その場合は、カメラのリセットスイッチでネットワークリセットを実施してください。

パラメーター末尾の <n> は 1 ～ 3 の数字で、カメラに登録できる IPv4 のフィルター 1 ～ 3 または IPv6 のフィルター 1 ～ 3 に対応します。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
Dos Protection	Dos Protection	DosDefenseRuleNum	Inq	3	DoS プロテクションの設定可能な数を返します。
	IPv4	V4DosDefenseBurst<n>	Set Inq	3 ～ 600	IPv4 の DoS 攻撃プロテクション機能で攻撃を受けていると判定する連続アクセス回数を設定します。
		V4DosDefenseEnable<n>	Set Inq	on, off	IPv4 の DoS 攻撃プロテクション機能の on/off を設定します。
		V4DosDefenseExpire<n>	Set Inq	1 ～ 60 ～ 86400	IPv4 の DoS 攻撃プロテクション機能で DoS 攻撃と判断した結果を破棄するまでの時間（単位：秒）を設定します。
		V4DosDefenseLimit<n>	Set Inq	1 ～ 5 ～ 100	IPv4 の DoS 攻撃プロテクション機能でアクセス上限を制限後に可能な 1 分間あたりのリクエスト回数を設定します。
		V4DosDefensePort<n>	Set Inq	0 ～ 80 ～ 65535	IPv4 の DoS 攻撃プロテクション機能でリクエストを制限するポート番号を設定します。
	IPv6	V6DosDefenseBurst<n>	Set Inq	2 ～ 3 ～ 600	IPv6 の DoS 攻撃プロテクション機能で攻撃を受けていると判定する連続アクセス回数を設定します。
		V6DosDefenseEnable<n>	Set Inq	on, off	IPv6 の DoS 攻撃プロテクション機能の on/off を設定します。
		V6DosDefenseExpire<n>	Set Inq	10 ～ 60 ～ 86400	IPv6 の DoS 攻撃プロテクション機能で DoS 攻撃と判断した結果を破棄するまでの時間（単位：秒）を設定します。
		V6DosDefenseLimit<n>	Set Inq	1 ～ 5 ～ 100	IPv6 の DoS 攻撃プロテクション機能でリクエストを制限する制限適用回数を設定します。
		V6DosDefensePort<n>	Set Inq	0 ～ 80 ～ 65535	IPv6 の DoS 攻撃プロテクション機能でリクエストを制限するポート番号を設定します。
Fragment Deny	Fragment Deny	FragmentDeny	Set Inq	on, off	Fragment パケットを拒否するか否かを設定します。 on : Fragment パケットを拒否しません。 off : Fragment パケットを拒否します。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
IP Filter	IPv4	V4FilterDefaultRule	Set Inq	allow, reject	IPv4 の IP Filter の基本ポリシーを設定します。 allow: V4FilterRule パラメーターにより設定が規定されていない他のアクセスは、すべて許可されます。 reject: V4FilterRule パラメーターにより設定が規定されていない他のアクセスは、すべて拒否されます。
		V4FilterFunc	Set Inq	on, off	IPv4 の IP Filter 機能の on/off を設定します。
		V4FilterRule	Set Inq	[Value1] 0 ~ 9 [Value2] IPv4 address [Value3] 0 ~ 32 [Value4] tcp, udp, icmp, all [Value5] 0 ~ 65535 [Value6] allow, reject	IPv4 の Filter 機能のルールを設定します。 ルールは最大 10 件設定できます。 V4FilterRule=Value11,Value21,Value31,Value41,Value51,Value61,Value12,Value22,Value32,Value42,Value52, Value62[,...,Value110,Value210,Value310,Value410,Value510,Value610] [Value1] ルールの番号を設定します。 値が小さいほど優先度が高いルールになります。 [Value2] 対象のネットワークアドレスを設定します。 [Value3] QoS の対象とするサブネットマスク値（ネットワークアドレスの左からのビット数）を設定します。 [Value4] 対象とするプロトコルを設定します。 tcp : TCP udp : UDP icmp : ICMP この場合、ポート番号（Value5）は無視されますが、必要なものであり、フィルターはすべての ICMP メッセージに適用されます。 all : TCP、UDP、ICMP ポート番号（Value5）は、TCP と UDP でのみ指定されます。 [Value5] 対象のポート番号を設定します。 0 を設定した場合はすべての Port 番号を対象にします。 [Value6] ポリシーを設定します。 allow: カメラへの特定のアクセスが許可されます。 reject: カメラへの特定のアクセスが拒否されます。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
IP Filter	IPv6	V6FilterDefaultRule	Set Inq	allow, reject	IPv6 の IP Filter の基本ポリシーを設定します。 allow: V6FilterRule パラメーターにより設定が規定されていない他のアクセスは、すべて許可されます。 reject: V6FilterRule パラメーターにより設定が規定されていない他のアクセスは、すべて拒否されます。
		V6FilterFunc	Set Inq	on, off	IPv6 の IP Filter 機能の on/off を設定します。
		V6FilterRule	Set Inq	[Value1] 0 ~ 9 [Value2] IPv6 address [Value3] 0 ~ 128 [Value4] tcp, udp, icmp, all [Value5] 0 ~ 65535 [Value6] allow, reject	IPv6 の Filter 機能のルールを設定します。 ルールは最大 10 件設定できます。 V6FilterRule=Value11,Value21,Value31,Value41,Value51,Value61,Value12,Value22,Value32,Value42,Value52, Value62[,...,Value110,Value210,Value310,Value410,Value510,Value610] [Value1] ルールの番号を設定します。 値が小さいほど優先度が高いルールになります。 [Value2] 対象のネットワークアドレスを設定します。 [Value3] QoS の対象とするサブネットマスク値（ネットワークアドレスの左からのビット数）を設定します。 [Value4] 対象とするプロトコルを設定します。 tcp : TCP udp : UDP icmp : ICMP この場合、ポート番号（Value5）は無視されますが、必要なものであり、フィルターはすべての ICMP メッセージに適用されます。 all : TCP、UDP、ICMP ポート番号（Value5）は、TCP と UDP でのみ指定されます。 [Value5] 対象のポート番号を設定します。 0 を設定した場合はすべての Port 番号を対象にします。 [Value6] ポリシーを設定します。 allow: カメラへの特定のアクセスが許可されます。 reject: カメラへの特定のアクセスが拒否されます。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
SYN Flood Protection	IPv4	V4SynFloodBurst	Set Inq	2 ~ 3 ~ 60	IPv4 の SYN Flood 攻撃プロテクション機能で攻撃と判定する SYN Packet の連続回数を設定します。
		V4SynFloodExpire	Set Inq	10 ~ 60 ~ 86400	IPv4 の SYN Flood 攻撃プロテクション機能で攻撃と判断した結果を破棄するまでの時間（単位：秒）を設定します。
		V4SynFloodLimit	Set Inq	1 ~ 5 ~ 1000	IPv4 の SYN Flood 攻撃プロテクション機能で制限後に可能な 1 分間あたりのアクセス可能回数を設定します。
		V4SynFloodProtection	Set Inq	on, off	IPv4 の SYN Flood 攻撃プロテクション機能の on/off を設定します。
	IPv6	V6SynFloodBurst	Set Inq	2 ~ 3 ~ 60	IPv6 の SYN Flood 攻撃プロテクション機能で攻撃と判定する SYN Packet の連続回数を設定します。
		V6SynFloodExpire	Set Inq	10 ~ 60 ~ 86400	IPv6 の SYN Flood 攻撃プロテクション機能で攻撃と判断した結果を破棄するまでの時間（単位：秒）を設定します。
		V6SynFloodLimit	Set Inq	1 ~ 5 ~ 1000	IPv6 の SYN Flood 攻撃プロテクション機能で制限後に可能な 1 分間あたりのアクセス可能回数を設定します。
		V6SynFloodProtection	Set Inq	on, off	IPv6 の SYN Flood 攻撃プロテクション機能の on/off を設定します。

ネットワークのクライアント認証に関する設定

auth

設定 (Set) : command/auth.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=auth

パラメーター末尾の <n> は 1 ~ 10 の数字で、カメラに登録できる Referer チェックの例外 1 ~ 10 に対応します。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
Referer check	Referer check	RefererCheck	Set Inq	on, off	Referer チェック機能の on/off を設定します。
		RcExceptionNum	Set Inq	10	Referer チェックの対象外として登録可能なホストの最大数を返します。
		RcExceptionHostname<n>	Set Inq	0 ~ 63 characters	<n> で指定した番号に登録する Referer チェックの対象にしない例外ホスト名または IP アドレスを設定します。
		RcExceptionPort<n>	Set Inq	0 ~ 80 ~ 65535	<n> で指定した番号に登録する Referer チェックの対象にしない例外ポート番号を設定します。
Brute Force Attack Protection	Brute Force Attack Protection	BruteForceAttack Protection	Set Inq	on, off	ブルート・フォース・アタック・プロテクション機能の On/Off を設定します。
		BruteForceAttackCount	Set Inq	3 ~ 8 ~ 100	ブルート・フォース・アタックと判定する認証失敗の回数を設定します。
		BruteForceAttack ReleaseMode	Set Inq	always, timer	ブルート・フォース・アタック判定を解除する条件を設定します。 always: 攻撃と判定後に解除しません。 timer: 攻撃と判定後、 BruteForceAttackReleaseTimer で設定された時間の経過後に解除します。
		BruteForceAttack ReleaseTimer	Set Inq	30 ~ 60 ~ 86400	BruteForceAttackReleaseMode が timer に設定されているときの攻撃者判定を解除するまでの時間（単位：秒）を設定します。

attackerlist

ブルートフォースアタックの攻撃者と判定したリストを取得します。

< 構文 >

http://<camera_address>/attackerlist

ブルートフォースアタックの攻撃者と判定したリストを取得します（認証失敗が指定回数未満を含む）。

< 構文 >

http://<camera_address>/attackerlist?list=all

RCP/MSU（別売）との接続に関する設定

s700p

設定（Set）：command/s700p.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ（Inq）：command/inquiry.cgi?inq=s700p

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
S700PTP	S700PTP	S700pSystemMode	Set Inq	Off, bridge, mcs, pccontrol	接続形態の設定です。 off: 接続しません。 bridge: RCP とカメラを 1 対 1 で接続します。 mcs:MSU を使ったマルチカメラ環境でカメラを使用します。 pccontrol: カメラリモートコントロールソフトウェアを使ったマルチカメラ環境でカメラを使用します。
		S700pMasterIP	Set Inq	IPv4 Address	マルチカメラ環境でカメラを使用する際の MSU/ カメラリモートコントロールソフトウェアの IP Address の設定です。
		S700pCameraNo	Set Inq	1 ~ 96	マルチカメラ環境でカメラを使用する際のカメラ番号の設定です。

ストリーミングの設定・操作

機能	コマンド
ストリーミング方法の設定	stream
RTSP に関する設定	rtspconfig
RTMP に関する設定	rtmp rtmpexe
SRT-Listener/Caller に関する設定・操作	srt srtexe
NDI HX に関する設定	ndi
ストリーミングコーデックの設定	codeconfig capability-video

ストリーミング方法の設定

stream

設定 (Set) : command/stream.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=stream

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
Streaming	Stream	StreamMode	Set Inq	rtsp, rtmp, srt-caller, srt-listener, ndi_hx, off	Streaming のプロトコルを設定します。 ^{*1}
		StreamStatus	Inq	invalid, off, ready, ready-ssl, streaming, streaming-ssl	RTMP および SRT のストリーミングの状態を返します。 UserData の Streaming と同じ状態を示します。 invalid: ステータスなし off: RTMP/SRT-Caller Streaming 未接続 ready: RTMP Server との接続確認済み ready-ssl: RTMPS Server との接続確認済み streaming: RTMP/SRT-Caller Streaming 配信中 streaming-ssl: RTMPS Streaming 配信中

^{*1}: RTMP へ設定するには Audio Stream を有効化しておく必要があります。

RTSP に関する設定

rtspconfig

設定 (Set) : command/rtspconfig.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=rtspconfig

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
RTSP	RTSP	RTSPPort	Set Inq	554, 1024 ~ 65534	RTSP 配信に使用するポート番号を設定します。
		RTSPTimeout	Set Inq	0 ~ 60 ~ 600	RTSP 配信の Keep Alive コマンドによるタイムアウト時間 (単位: 秒) を設定します。 0 に設定すると、カメラが Keep Alive コマンド (RTSP GET_PARAMETER/SET_PARAMETER など) を受信しなくても、RTSP セッションは切断されたとはみなされません。
		AuthenRTSP	Set Inq	on, off	RTSP の認証の On/Off を設定します。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
RTSP	RTSP Unicast Port	RTSPUcAudioPort	Set Inq	1024 ~ 57000 ~ 65534	Audio の RTSP/RTP(UDP) ユニキャスト配信に使用するポートを設定します。 ^{*1*2}
		RTSPUcVideoPort1	Set Inq	1024 ~ 51000 ~ 65534	映像 1 の RTSP/RTP(UDP) ユニキャスト配信に使用するポートを設定します。 ^{*1*2}
		RTSPUcVideoPort2	Set Inq	1024 ~ 53000 ~ 65534	映像 2 の RTSP/RTP(UDP) ユニキャスト配信に使用するポートを設定します。 ^{*1*2}

*1: 偶数のみを割り当てることができます。指定された番号に 1 を加えた奇数が RTCP ポートに使用されます。

*2: 予約ポートは使用不可、また他の設定ポートとの重複も不可になります。予約ポートは CGI コマンド設定値（予約ポート）の項参照。

RTMP に関する設定

rtmp

設定 (Set) : command/rtmp.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=rtmp

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
RTMP	RTMP	RtmpServerUrl1	Set Inq	0 ~ 512 characters	"rtmp://" または "rtmps://" で始まる文字列（大文字・小文字の区別なし）か、または空文字（0 文字）を設定します。
		RtmpStreamKey1	Set	0 ~ 190 characters	利用するサイトから取得した Stream Key を設定します。
		RtmpStreamKey1Used	Inq	0, 1	0: 未設定 1: 設定済み
	RTMPS	RtmpCertInstalled	Inq	0, 1	RTMP サーバ証明書の状態を返します。 1: 証明書あり 0: 証明書なし
		RtmpLastEvent	Inq	0 ~ 9999	RTMP に関して発生した事象に対応する値を返します。

rtmpexe

設定 (Set) : command/rtmpexe.cgi?<Parameter>=<Value>

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
RTMP	RTMP	RtmpReady	Set	on	現在の設定で接続可能かどうかを確認します。
		RtmpStreaming	Set	off, on, force	RTMP Streaming を開始・停止します。 off: 停止する on: 開始する force: 強制的に開始を試みる

rtmpcert

RTMP の CA 証明書をインポートする。

< 構文 >

http://<camera_address>/command/rtmpcert.cgi

Content-Type	application/octet-stream	
Content-Disposition	name	RTMPCertImportFile
	file-name	<path/name>

SRT-Listener/Caller に関する設定・操作

srt

設定 (Set) : `command/srt.cgi?<Parameter>=<Value>`

問い合わせ (Inq) : `command/inquiry.cgi?inq=srt`

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
SRT	Caller	SrtServerUrl	Set Inq	0 ～ 512 characters	“srt://” で始まる文字列（大文字・小文字の区別なし）、または空文字（0 文字）を設定します。
	Listener	SrtListenPort	Set Inq	1024 ～ 4201 ～ 65534	SRT-Listener で動作する時の待ち受けポート番号を設定します。
	Encryption	SrtEncryption	Set Inq	none , aes-128, aes-256	暗号化を設定します。
		SrtPassphrase	Set	10 ～ 79 characters	暗号化のパスフレーズを設定します。
		SrtPassphraseUsed	Inq	0 , 1	パスフレーズの状態を返します。 0: 未設定 1: 設定済み
	SRT	SrtArc	Set Inq	off, on	自動レート制御機能の on/off を設定します。
		SrtLastEvent	Inq	0 ～ 9999	SRT に関して発生した事象に対応する値を返します。
		SrtPeerLatency	Set Inq	20 ～ 120 ～ 8000	レイテンシーを設定します。
		SrtTtl	Set Inq	1 ～ 64 ～ 255	TTL 値を設定します。

srtexe

設定 (Set) : `command/srtexe.cgi?<Parameter>=<Value>`

問い合わせ (Inq) : なし

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
SRT	Caller	SrtStreaming	Set	off, on	SRT-Caller の配信制御（開始・停止）を設定します。 on: 開始 off: 停止

NDI|HX に関する設定

ndi

設定 (Set) : `command/ndi.cgi?<Parameter>=<Value>`

問い合わせ (Inq) : `command/inquiry.cgi?inq=ndi`

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
NDI HX	NDI License Key	NdiLicenseKeyValid	Inq	valid	NDI ライセンスの状態を返します。 valid: 有効化済
		NdiRegistKey	Set Inq	0 ～ 32 characters	NDI ライセンスを設定します。 0 文字を設定すると、ライセンスが削除されます。 * ソフトウェアバージョン 3.0 以降以降非対応になります。
	Source Name	NdiSourceName	Set Inq	0 ～ 64 bytes	NDI ソース名を設定します。
	Group	NdiGroupEnable	Set Inq	off, on	NDI のグルーピング機能の On/Off を設定します。
		NdiGroupName	Set Inq	0 ～ 128 characters	NDI グループの名前を設定します。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
NDI HX	Discovery	NdiDiscoveryServer1	Set Inq	IPv4 Address	NDI ディスカバリサーバー 1 を設定します。
		NdiDiscoveryServer2	Set Inq	IPv4 Address	NDI ディスカバリサーバー 2 を設定します。
	Multicast	NdiTransferModeMulticastUdp	Set Inq	off, on	Multicast 配信の On/Off を設定します。
		NdiTransferMulticastNetmask	Set Inq	IPv4 Address (255.255.0.0)	Multicast 配信時の Multicast Address の範囲を決定し、Netmask を設定します。
		NdiTransferMulticastPrefix	Set Inq	IPv4 Address (255.255.0.0)	Multicast 配信時の Multicast Address の Prefix を設定します。
		NdiTransferMulticastTTL	Set Inq	1 ~ 3 ~ 255	Multicast 配信時の TTL を設定します。
	Multi-TCP Mode	NdiTransferModeMultiTcp	Set Inq	off, on	Multi-TCP モードの On/Off を設定します。
	Unicast UDP Mode	NdiTransferModeUnicastUdp	Set Inq	off, on	Unicast UDP モードの On/Off を設定します。
	Camera Name	NdiCameraName	Inq	0 ~ 8 characters (FR7)	カメラの名前を返します。

ストリーミングコーデックの設定

codeconfig

設定 (Set) : `command/codeconfig.cgi?<Parameter>=<Value>`

問い合わせ (Inq) : `command/inquiry.cgi?inq=codeconfig`

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
Video Stream	Image Codec	ImageCodec1	Set Inq	h264 , h265	映像 1 のビデオコーデックを設定します。 h264: H.264 h265: H.265 * StreamMode が srt-caller または srt-listener に設定された場合は初期値に戻ります。
		ImageCodec2	Set Inq	h264, h265, off	映像 2 のビデオコーデックを設定します。 h264: H.264 h265: H.265 off: オフ * StreamMode が srt-caller または srt-listener に設定された場合は初期値に戻ります。
		ImageCodec3	Set Inq	jpeg	映像 3 のビデオコーデックを設定します。 jpeg: Motion Jpeg

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
Video Stream	Image Size	ImageSize1	Set Inq	4096, 2160 3840, 2160 2048, 1080 1920, 1080 1280, 720 640, 360	映像 1 に対応するビデオストリームの画像サイズを設定します。 * 設定可能な値は映像出力方式（ビデオフォーマット）によって制限されます。 * CGI コマンド設定値（画像サイズ）の項参照 * StreamMode が srt-caller または srt-listener に設定された場合は初期値に戻ります。
		ImageSize2	Set Inq	4096, 2160 3840, 2160 2048, 1080 1920, 1080 1280, 720 640, 360 512, 270	映像 2 に対応するビデオストリームの画像サイズを設定します。 * 設定可能な値は映像出力方式（ビデオフォーマット）によって制限されます。 * CGI コマンド設定値（画像サイズ）の項参照 * StreamMode が srt-caller または srt-listener に設定された場合は初期値に戻ります。
		ImageSize3	Set Inq	1280, 720 1024, 540 640, 360	映像 3 に対応するビデオストリームの画像サイズを設定します。 * CGI コマンド設定値（画像サイズ）の項参照 * StreamMode が srt-caller または srt-listener に設定された場合は初期値に戻ります。
	Frame Rate	FrameRate1	Set Inq	設定可能な値は映像出力方式（ビデオフォーマット）に依存します。 5, 10, 15, 20, 30, 60 (59.94P) 5, 10, 12.5, 25, 50 (50P) 5, 10, 15, 30 (29.97, 59.94i) 5, 12.5, 25 (25, 50i) 6, 12, 24 (24) 6, 12, 24 (23.98)	映像 1 に対応するビデオストリームのフレームレート（フレーム / 秒）を設定します。 * StreamMode が srt-caller または srt-listener に設定された場合は初期値に戻ります。
		FrameRate2	Set Inq	設定可能な値は映像出力方式（ビデオフォーマット）に依存します。 5, 10, 15, 20, 30 (59.94P) 5, 10, 12.5, 25 (50P) 5, 10, 15, 30 (29.97, 59.94i) 5, 12.5, 25 (25, 50i) 6, 12, 24 (24) 6, 12, 24 (23.98)	映像 2 に対応するビデオストリームのフレームレート（フレーム / 秒）を設定します。 * StreamMode が srt-caller または srt-listener に設定された場合は初期値に戻ります。
		FrameRate3	Set Inq	設定可能な値は映像出力方式（ビデオフォーマット）に依存します。 5, 10, 15, 20, 30, 60 (59.94P) 5, 10, 12.5, 25, 50 (50P) 5, 10, 15, 30 (29.97, 59.94i) 5, 12.5, 25 (25, 50i) 6, 12, 24 (24) 6, 12, 24 (23.98)	映像 3 に対応するビデオストリームのフレームレート（フレーム / 秒）を設定します。
	IDR-Frame Interval	IFrameInterval1	Set Inq	0 ～ 1 ～ 5	映像 1 の I ピクチャー間隔（単位：秒）を設定します。 * 0 のとき、IFrameRatio1 の設定が有効になります。
		IFrameInterval2	Set Inq	0 ～ 1 ～ 5	映像 2 の I ピクチャー間隔（単位：秒）を設定します。 * 0 のとき、IFrameRatio2 の設定が有効になります。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
Video Stream	IDR-Frame Ratio	IFrameRatio1	Set Inq	15 ~ 30 ~ 300	映像 1 の I ピクチャーを挿入する間隔（単位：フレーム）を設定します。 * IFrameInterval1 が 0 のとき、IFrameRatio1 の設定で動作します。
		IFrameRatio2	Set Inq	15 ~ 30 ~ 300	映像 2 の I ピクチャーを挿入する間隔（単位：フレーム）を設定します。 * IFrameInterval2 が 0 のとき、IFrameRatio2 の設定で動作します。
	Insert IDR-Frame	InsertIFrame1	Set	on	映像 1 のビデオストリームに I ピクチャーを挿入します。
		InsertIFrame2	Set	on	映像 2 のビデオストリームに I ピクチャーを挿入します。
	CBR	CBR1	Set Inq	on, off	映像 1 のビットレート制御モードを設定します。 on: CBR でビットレートを制御します。 off: VBR でビットレートを制御します。 * StreamMode が srt-caller または srt-listener に設定された場合は初期値に戻ります。 * StreamMode が srt-caller または srt-listener の場合は VBR に変更できません。
		CBR2	Set Inq	on, off	映像 2 のビットレート制御モードを設定します。 on: CBR でビットレートを制御します。 off: VBR でビットレートを制御します。 * StreamMode が srt-caller または srt-listener に設定された場合は初期値に戻ります。 * StreamMode が srt-caller または srt-listener の場合は VBR に変更できません。
	Bit Rate	BitRate1	Set Inq	512 ~ 16000 ~ 80000	映像 1 のビットレート（単位：kbps）を設定します。 CBR1 が on に設定されているときのみ、このパラメータは有効です。
		BitRate2	Set Inq	512 ~ 8000 ~ 80000	映像 2 のビットレート（単位：kbps）を設定します。 CBR2 が on に設定されているときのみ、このパラメータは有効です。
H.264	H.264 Profile	H264Profile1	Set Inq	high , main, baseline	映像 1 の H.264 プロファイルを設定します。 high: ハイプロファイル main: メインプロファイル baseline: ベースラインプロファイル
		H264Profile2	Set Inq	high , main, baseline	映像 2 の H.264 プロファイルを設定します。 high: ハイプロファイル main: メインプロファイル baseline: ベースラインプロファイル
	H.264 Quality	H264Quality1	Set Inq	1 ~ 6 ~ 10	映像 1 の H.264 VBR（可変ビットレート）画質を設定します。 CBR1 が off に設定されているときのみ、このパラメータは有効です。 * 値が大きいほど画質が向上しますが、発生データ量は増えます。
		H264Quality2	Set Inq	1 ~ 6 ~ 10	映像 2 の H.264 VBR（可変ビットレート）画質を設定します。 CBR2 が off に設定されているときのみ、このパラメータは有効です。 * 値が大きいほど画質が向上しますが、発生データ量は増えます。

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
H.265	H.265 Profile	H265Profile1	Set Inq	main, main10	映像 1 の H.265 プロファイルを設定します。 main: メインプロファイル main10: メイン 10 プロファイル * main10 に設定時は、HDMI 出力が RGB の場合は main で動作し、YCrCb 時は main10 で動作します。 また、main10 に設定した場合、ImageCodec2 は off 以外にできません。
		H265Profile2	Set Inq	main	映像 2 の H.265 プロファイルです。 main: メインプロファイル
	H.265 Quality	H265Quality1	Set Inq	1 ~ 6 ~ 10	映像 1 の H.265 VBR (可変ビットレート) 画質を設定します。 CBR1 が off に設定されているときのみ、このパラメーターは有効です。 * 値が大きいほど画質が向上しますが、発生データ量は増えます。
		H265Quality2	Set Inq	1 ~ 6 ~ 10	映像 2 の H.265 VBR (可変ビットレート) 画質を設定します。 CBR2 が off に設定されているときのみ、このパラメーターは有効です。 * 値が大きいほど画質が向上しますが、発生データ量は増えます。
Motion JPEG	Jpeg Quality	JpegQuality3	Set Inq	1 ~ 6 ~ 10	映像 3 の画質を設定します。 * 値が大きいほど画質が向上しますが、発生データ量は増えます。
	Motion Jpeg	MotionJpegAvailability	Inq	1, 0	映像 3 の出力の可否状態を返します。 0: 出力不可 1: 出力可能
Audio	Audio	Audioln	Set Inq	on, off	ストリーミングの音声を有効にするか否かを設定します。 on: 有効 off: 無効
	Audio Codec	AudInCodec	Set Inq	aac48_128 , aac48_256	音声ストリーミングのオーディオコーデックモードとビットレートを設定します。 aac48_128: AAC 48 kHz (128 kbps) aac48_256: AAC 48 kHz (256 kbps)

capability-video

ストリーミング関連の各種設定項目について、特定の条件下で設定可能な設定値を問い合わせます。Web App の表示用です。

< 構文 >

http://<camera_address>/command/capability-video?Format=<Format>&Target=<Target>

または

http://<camera_address>/command/capability-video?Format=<Format>&Target=<Target>&<SettingName>=<SettingValue>

<Format>: 出力フォーマット。下表の「指定する文字列」のいずれかを指定可能。

形式	指定する文字列	出力例
Text 形式	text	CapableImageCodec1=h264,h265
JS 形式	js	var CapableImageCodec1="h264,h265"\n

<Target>: 設定可能な設定値を知りたい設定項目のパラメーター名。下表の「Parameter」のいずれかを指定可能。

CGI 項目名	Parameter
Image Codec	ImageCodec1, ImageCodec2, ImageCodec3
Image Size	ImageSize1, ImageSize2, ImageSize3
Frame Rate	FrameRate1, FrameRate2, FrameRate3

CGI 項目名	Parameter
IDR-Frame Interval	IFrameInterval1, IFrameInterval2
CBR	CBR1, CBR2
Bit Rate	BitRate1, BitRate2
H.264 Profile	H264Profile1, H264Profile2

<SettingName>, <SettingValue>: 条件を指定するための設定項目のパラメーター名と設定値の組み合わせ。

- <SettingName> は <Target> で指定可能なものと同じ。
- <SettingValue> は <SettingName> で指定したパラメーターにおいて指定可能な文字列または値。
- 条件の指定を省略した場合は、現在の設定が参照される。

使用例 1: 現在の設定で、ImageSize1 で設定可能な設定値を Text 形式で知りたい

CGI コマンド:

http://<camera_address>/command/capability-video?Format=text&Target=ImageSize1

応答:

CapableImageSize1=1920,1080,1280,720,640,360

→ ImageSize1 の設定値として、"1920,1080", "1280,720", "640,360" の 3 つから選択できる。

使用例 2: ImageSize2 に "640,360" を設定した場合に、ImageCodec2 で設定可能な設定値を JS 形式で知りたい

CGI コマンド:

http://<camera_address>/command/capability-video?Format=js&Target=ImageCodec2&ImageSize2=640,360

応答:

var CapableImageCodec2="h264,h265,off"

→ ImageCodec2 の設定値として、"h264", "h265", "off" の 3 つから選択できる。

メタデータの設定

機能	コマンド
トラッキングデータ出力に関する設定	freedconfig

トラッキングデータ出力に関する設定

freedconfig

設定 (Set) : command/freedconfig.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=freedconfig

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
free-d	Camera ID	FreeDCameralID	Set Inq	0 ～ 255	CameraID を設定します。
		FreeDOutputNum	Inq	1	1 に固定です。
	Output	FreeDDestination1	Set Inq	on, off	トラッキング情報の 1 番目の宛先への送信をオン / オフします。
	IPv4 Address	FreeDDestinationAddress1	Set Inq	IPv4 アドレス	トラッキング情報の 1 番目の宛先 IP アドレスを設定します。
	Port	FreeDDestinationPort1	Set Inq	1024 ～ 40000 ～ 65534	トラッキング情報の 1 番目の宛先ポート番号を設定します。

trackingdata

設定 (Set) : command/trackingdata.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=trackingdata

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
トラッキングデータ	Camera ID	TrackingDataCameraID	Set Inq	0 ～ 255	CameraID を設定します
		TrackingDataOutputNum	Inq	4	4 に固定です
	Output	TrackingDataDestination<n>	Set Inq	on, off	指定した対象の宛先へのトラッキング情報の送信をオン / オフします。
	IPv4 Address	TrackingDataDestinationAddress<n>	Set Inq	IPv4 アドレス	指定した対象のトラッキング情報の宛先 IP アドレスを設定します。
	Port	TrackingDataDestinationPort<n>	Set Inq	1024 ～ 40000 ～ 65534	指定した対象のトラッキング情報の宛先ポート番号を設定します。
	Protocol	TrackingDataProtocolOutputNum	Inq	1	1 に固定です
TrackingDataProtocol1		Set Inq	freed_d1	トラッキング情報のプロトコルを設定します。 すべての出力先のトラッキング情報に適用されます。	
カメラ座標	Camera Position	TrackingDataCameraPositionX	Set Inq	-1310720 ～ 0 ～ 1310719	トラッキング情報に含めるカメラ位置の X 座標を設定します。単位は 0.1mm です。
		TrackingDataCameraPositionY	Set Inq	-1310720 ～ 0 ～ 1310719	トラッキング情報に含めるカメラ位置の Y 座標を設定します。単位は 0.1mm です。
		TrackingDataCameraPositionZ	Set Inq	-1310720 ～ 0 ～ 1310719	トラッキング情報に含めるカメラ位置の Z 座標を設定します。単位は 0.1mm です。

メンテナンス

機能	コマンド
言語の設定	language
文字読み上げに関する設定	screenreader
<div>ご注意</div> 仕向けにより使用できません。	
日時の設定	datetime
電源と設定リセットの操作	main
カラーバーの設定、ストリーミング設定の取得	camera
赤外線リモコンの設定	remotecontrol
RCP/MSU（別売）との接続に関する設定	ネットワークの設定の「s700p」を参照。
ソフトウェアの更新	versionup lens_versionup sysinfo
ログに関する設定・操作	logconfig deviceinformation accesslog systemlog
サービス用の操作	maintenance
<div>ご注意</div> 使用しないでください。	

言語の設定

language

設定（Set）：command/language.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ（Inq）：command/inquiry.cgi?inq=language

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
言語設定	Language	Language	Set Inq	お買い上げの地域によって値が異なります。	表示する言語を設定します。 設定可能な言語は、LanguageList コマンドで取得してください。
		LanguageList	Inq	お買い上げの地域によって値が異なります。	選択できる言語のリストを返します。
		LanguagePmt	Inq	enable, disable, display_only	Language の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効

文字読み上げに関する設定

screenreader

ご注意

仕向けにより使用できません。

設定 (Set) : `command/screenreader.cgi?<Parameter>=<Value>`

問い合わせ (Inq) : `command/inquiry.cgi?inq=screenreader`

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
Screen Reader	Screen Reader	ScreenReaderEnable	Set Inq	–	Web App の読み上げ用のパラメーターです。
		ScreenReaderSpeed	Set Inq	–	Web App の読み上げ用のパラメーターです。
		ScreenReaderVolume	Set Inq	–	Web App の読み上げ用のパラメーターです。
	読み上げ文字列	ScreenReaderText	Inq	–	Web App の読み上げ用のパラメーターです。

日時の設定

datetime

設定 (Set) : `command/datetime.cgi?<Parameter>=<Value>`

問い合わせ (Inq) : `command/inquiry.cgi?inq=datetime`

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
時計設定	Date Format	DateFormat	Set Inq	y md, mdy, dmy	日時の表示形式を設定します。 ymd: 年-月-日 mdy: 月-日-年 dmy: 日-月-年
		DateFormatPmt	Inq	enable, disable, display_only	DateFormat の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
		HourFormat	Set Inq	12h, 24h	時刻表示を設定します。 12h: 12 時間表示 24h: 24 時間表示
		HourFormatPmt	Inq	enable, disable, display_only	HourFormat の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
時計設定	Date Time	GmTime	Set Inq	YYMMDDhhmmssW format	グリニッジ標準時（GMT 00:00）を設定します。 YYMMDD：年月日 （実際は DateFormat により定義されます。） hhmmss：時分秒（24 時制） W：週（日 =1、月 =2、...、土 =7） W に間違った値を設定すると、自動的に修正されます。
		Time	Set Inq	YYMMDDhhmmssW format	ローカルタイムを設定します。 YYMMDD：年月日 （実際は DateFormat により定義されます。） hhmmss：時分秒（24 時制） W：週（日 =1、月 =2、...、土 =7） W に間違った値を設定すると、自動的に修正されます。
		TimePmt	Inq	enable, disable, display_only	GmTime および Time の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効
	NTP	NtpService	Set Inq	on, off	NTP サーバーとの同期を行うか否かを設定します。 on: 同期する off: 同期しない
		NtpAuto	Set Inq	on, off	NTP（Network Time Protocol）サーバーの IP アドレスを、DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバーからを取得するか否かを設定します。 on: 取得する off: 取得しない
		NtpServer	Set Inq	0 ～ 63 characters	IPv4 アドレスまたはホスト名のスタイルで、NTP サーバーを設定します。 63 文字以下の英数字を設定可能です。
	Time Zone	TimeZone	Set Inq	CGI コマンド設定値 （TIME_ZONE）の項参照	タイムゾーンを設定します。
		TimeZonePmt	Inq	enable, disable, display_only	TimeZone の設定可否の状態です。 enable: 設定可 disable: 設定不可、値無効 display_only: 設定不可、値有効

電源と設定リセットの操作

main

設定（Set）：command/main.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ（Inq）：なし

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
再起動	Reboot	System	Set	on, reboot, standby	カメラの電源状態を設定します。 on: 起動状態にします。 reboot: カメラを再起動します。 standby: スタンバイ状態にします。 * system.cgi の Power で状態を取得できます。
設定値の初期化	Factory Default	FactoryDefault	Set	soft, network, hard	カメラの初期化方法を設定します。 soft: 画質設定を初期値に戻します。 network: ネットワーク設定を初期値に戻します （Network Reset）。 hard: 工場出荷状態に戻します（Factory Default）。

カラーバーの設定、ストリーミング設定の取得

camera

設定 (Set) : `command/camera.cgi?<Parameter>=<Value>`

問い合わせ (Inq) : `command/inquiry.cgi?inq=camera`

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
カラーバー	Color Bar	ColorBar	Set Inq	on, off	出力映像にカラーバーを出力するか否かを設定します。 on: カラーバーを出力します。 off: 通常映像
RTSP	Multicast	Multicast	Inq	off	マルチキャスト配信を許可するか否かを設定します。常時 off です。 off: 許可しません。
	RTSP	RTSPPort	Inq	rtspconfig.cgi の RTSPPort と同様です (問い合わせ専用)。	
Video	Frame Rate	FrameRate1	Inq	codeconfig.cgi の FrameRate1 と同様です (問い合わせ専用)。	
		FrameRate2	Inq	codeconfig.cgi の FrameRate2 と同様です (問い合わせ専用)。	
		FrameRate3	Inq	codeconfig.cgi の FrameRate3 と同様です (問い合わせ専用)。	
	Image Codec	ImageCodec1	Inq	codeconfig.cgi の ImageCodec1 と同様です (問い合わせ専用)。	
		ImageCodec2	Inq	codeconfig.cgi の ImageCodec2 と同様です (問い合わせ専用)。	
		ImageCodec3	Inq	codeconfig.cgi の ImageCodec3 と同様です (問い合わせ専用)。	
	Image Size	ImageSize1	Inq	codeconfig.cgi の ImageSize1 と同様です (問い合わせ専用)。	
		ImageSize2	Inq	codeconfig.cgi の ImageSize2 と同様です (問い合わせ専用)。	
		ImageSize3	Inq	codeconfig.cgi の ImageSize3 と同様です (問い合わせ専用)。	

赤外線リモコンの設定

remotecontrol

設定 (Set) : `command/remotecontrol.cgi?<Parameter>=<Value>`

問い合わせ (Inq) : `command/inquiry.cgi?inq=remotecontrol`

CGI 項目名		Parameter	Set Inq	Value	内容
System		IRReceive	Set Inq	on, off	赤外線リモコンからの信号を受け付けるか否かを設定します。 on: 受け付けます。 off: 受け付けません。
		IRReceiveControlSpeed	Set Inq	normal, maximum	赤外線リモコンの操作によるパン・チルトの動作速度を設定します。 normal: 標準速度で動作 maximum: 最高速度で動作

ソフトウェアの更新

versionup

バージョンアップします。

< 構文 >

`http://<camera_address>/update/versionup.cgi`

Content-Type	application/octet-stream	
Content-Disposition	name	FirmwareFile
	file-name	upgrade.bin

lens_versionup

レンズをバージョンアップします。

< 構文 >

http://<camera_address>/update/lens_versionup.cgi

Content-Type	application/octet-stream	
Content-Disposition	name	LensFirmwareFile
	file-name	<name>

sysinfo

設定 (Set) : なし

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=sysinfo

CGI 項目名	Parameter	Set Inq	Value	内容
バージョンアップ	VersionupProgress	Inq	-	Web App の表示用です。
	VersionupStatus	Inq	-	Web App の表示用です。

ログに関する設定・操作

logconfig

設定 (Set) : command/logconfig.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : command/inquiry.cgi?inq=logconfig

CGI 項目名	Parameter	Set Inq	Value	内容
システムログ	SystemLogLevel	Set Inq	info, warning, critical	システムログのログレベルを設定します。 info: すべての異常レベルのログを保存します。 warning: critical (重大な) と warning (警告) レベルのログを保存します。 critical: 重大なレベルのログのみ保存します。
	SystemLogSize	Set Inq	200 ~ 1024	システムログの最大ログサイズ (単位: 行) を設定します。
アクセスログ	AccessLogLevel	Set Inq	info, warning, critical	アクセスログのログレベルを設定します。 info: すべての異常レベルのログを保存します。 warning: critical (重大な) と warning (警告) レベルのログを保存します。 critical: 重大なレベルのログのみ保存します。
	AccessLogSize	Set Inq	200 ~ 1024	アクセスログの最大ログサイズ (単位: 行) を設定します。
サービスログ	EnableDiagData Download	Set Inq	on, off	解析データのダウンロードを許可するか否かを設定します。 on: 許可します。 off: 許可しません。
温度ログリセット	StatisticsInfo Temperature	Set	reset	メンテナンス用です。使用しないでください。

deviceinformation

サービスログを取得します。

< 構文 >

http://<camera_address>/system/deviceinformation.dat

accesslog

HTTP アクセスログを Content-Type text/plain 形式で取得します。

< 構文 >

http://<camera_address>/system/accesslog.txt

HTTP アクセスログを Content-Type application/x-www-form-urlencoded 形式で取得します。

< 構文 >

http://<camera_address>/system/accesslog.dat

systemlog

システムログを Content-Type text/plain 形式で取得します。

< 構文 >

http://<camera_address>/system/systemlog.txt

システムログを Content-Type application/x-www-form-urlencoded 形式で取得します。

< 構文 >

http://<camera_address>/system/systemlog.dat

統計ログ

統計ログを Content-Type text/plain 形式で取得します

< 構文 >

http://<camera_address>/system/statisticsinfo.dat

サービス用の操作

maintenance

設定 (Set) : command/maintenance.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : なし

CGI 項目名	Parameter	Set Inq	Value	内容
メンテナンスモード	ServicePort	Set	on	メンテナンス用です。使用しないでください。

Web App

機能	コマンド
Web App 用の設定です。使用しないでください。	pullinquiry
Web App 用の設定です。使用しないでください。	subscribe
Web App 用の設定です。使用しないでください。	unsubscribe

Web App 用の設定

pullinquiry

設定 (Set) : command/pullinquiry.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : なし

CGI 項目名	Parameter	Set Inq	Value	内容
CGI パラメーター変更通知	SubscriptionId	Set	-	Web App の表示用です。設定しないでください。

subscribe

設定 (Set) : command/subscribe.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : なし

CGI 項目名	Parameter	Set Inq	Value	内容
CGI パラメーター変更通知	inqjson	Set	-	Web App の表示用です。設定しないでください。
	SubscriptionDuration	Set	-	Web App の表示用です。設定しないでください。

unsubscribe

設定 (Set) : command/unsubscribe.cgi?<Parameter>=<Value>

問い合わせ (Inq) : なし

CGI 項目名	Parameter	Set Inq	Value	内容
CGI パラメーター変更通知	SubscriptionId	Set	-	Web App の表示用です。設定しないでください。

対応コーデック

カメラの RTSP ストリーミング機能は以下のコーデックをサポートしています。

ビデオ	オーディオ
H.264 H.265	AAC LC

RTSP 要求 URL

ライブストリームを取得するためにカメラの RTSP が要求する URL は以下です。

要求する URL	内容
rtsp://<camera_address>/video1 rtsp://<camera_address>/media/video1	CGI パラメーター "ImageCodec1" とその関連するパラメーターに対応するコーデックから映像 * ストリームを要求します。 * 状況によって音声ストリームは映像ストリームと一緒に送信されます。 「ストリームを取得する」(84 ページ) をご覧ください。 ** ImageCodec1 はカメラの Web メニューの "Video Stream 1" に対応します。
rtsp://<camera_address>/video2 rtsp://<camera_address>/media/video2	CGI パラメーター "ImageCodec2" とその関連するパラメーターに対応するコーデックから映像 * ストリームを要求します。 * 状況によって音声ストリームは映像ストリームと一緒に送信されます。 「ストリームを取得する」(84 ページ) をご覧ください。 ** ImageCodec2 はカメラの Web メニューの "Video Stream 2" に対応します。
rtsp://<camera_address>/audio rtsp://<camera_address>/media/audio	CGI パラメーター "AudInCodec" とその関連するパラメーターに対応するコーデックから音声ストリームを要求します。 * AudInCodec はカメラの Web メニューの "Audio Stream" に対応します。

カメラ (RTSP サーバー) の RTSP ポートは工場出荷時は 554 です。CGI パラメーター "RTSPPort" で CGI コマンド "rtspconfig.cgi" を使ってポートを変更できます。

ご注意

StreamMode が rtsp のとき RTSP Streaming が有効になります。

RTSP メソッド

対応メソッド

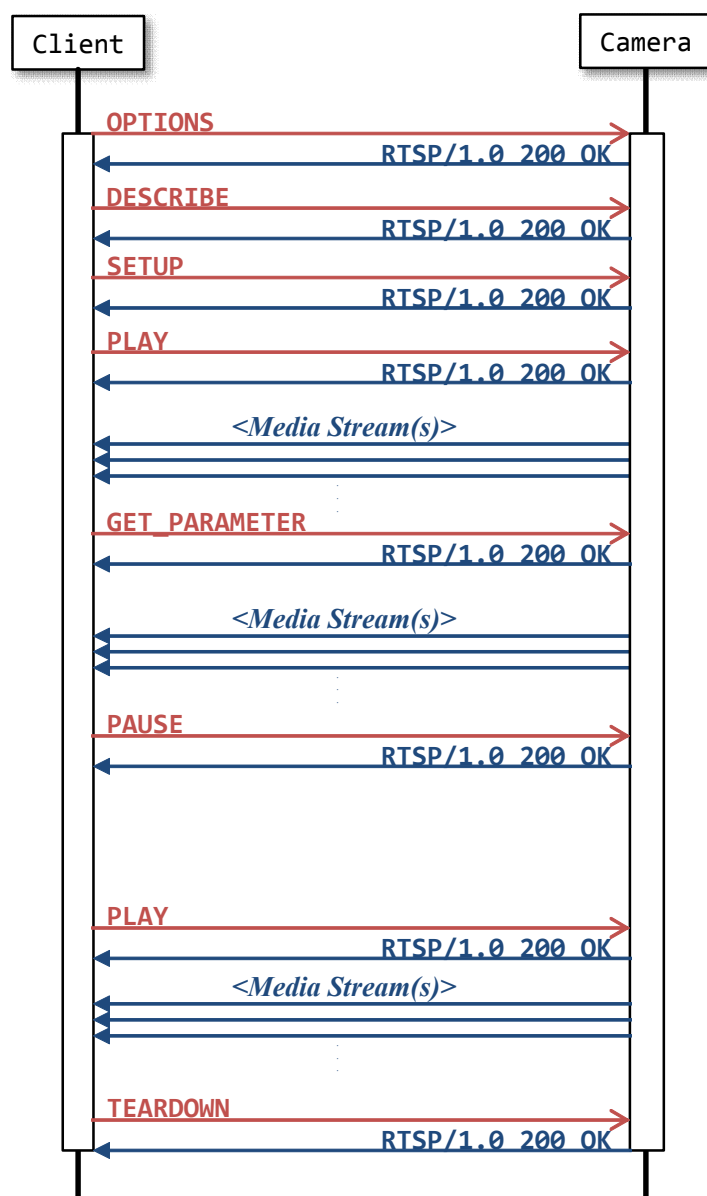
カメラは以下の RTSP メソッドをサポートしています。

Supported Method
OPTIONS
DESCRIBE
SETUP
PLAY
TEARDOWN
GET_PARAMETER
SET_PARAMETER
PAUSE

上記リストの RTSP メソッドの詳細については、IETF RFC 2326 を参照ください。

RTSP 通信の代表的なシーケンス

カメラ（RTSP サーバー）とクライアントの代表的な RTSP 通信シーケンスを以下に示します。



上記シーケンスの RTSP メソッド “GET_PARAMETER” は RTSP ストリーミングを継続するために使用します。

PLAY コマンドを使ってライブストリーミングを開始した後に PAUSE コマンドを使用してストリーミングを一時停止できます。再開するには再度 PLAY コマンドを送信してください。カメラは PLAY 再開要求を受けたタイミングで強制 IDR フレーム挿入処理を行い、現在からの映像ストリーミングを再開します。停止前と再開後の映像は連続ではありません。このテーマに関する詳細は「ストリームを取得する」（84 ページ）をご覧ください。

ストリームを取得する

<伝送プロトコル>

カメラの RTSP 機能は、映像および（または）音声をカメラからクライアントにストリーミングする以下の伝送プロトコルをサポートします。

- a) TCP ストリーム
- b) UDP ユニキャストストリーム

各詳細について以下に説明します。

<メディアストリームの数>

「RTSP 要求 URL」（81 ページ）で記載したように、カメラは同時に複数のコーデックをサポートします。カメラの RTSP セッションにおけるメディアストリームの数は最大 5 つまでです。

<RTSP セッションのタイムアウト>

カメラの RTSP セッションのタイムアウト時間は CGI パラメーター `RTSPTimeout` で設定します。

工場出荷時は 60 です（単位：秒）。この値を 0 に設定した場合には、RTSP セッションはタイムアウトしません。

Web ブラウザーを使用して設定メニューから RTSP タイムアウト時間の設定を変更する方法については、ヘルプガイドの「Web メニューと詳細設定」の [Stream] メニュー > [Stream Setting] を参照してください。

カメラの RTSP セッションタイムアウト値は、“SETUP” 要求に対する RTSP 応答で、クライアントに “timeout” パラメーター（秒数）として示されます。しかし、タイムアウト値が 0 に設定された場合、timeout パラメーターは応答の中に存在しません。

RTSP ストリーミングを継続するために、この文書の例では、カメラが timeout パラメーターにしたがって RTSP セッションを自動的に終了する前に RTSP “GET_PARAMETER” メソッドを使っています。

< RTSP セッションを終了する>

RTSP セッションとこのセッションに紐づけられた UDP ポートを安全に終了するには RTSP メソッド “TEARDOWN” を使用します。

映像ストリームを取得する

TCP ストリーム（映像）

下記に示される図およびパケットキャプチャーは、AudioIn が off の状態で、クライアントが TCP 経由で映像ストリームを取得する例になります。



```

OPTIONS rtsp://<camera_address>/video1 RTSP/1.0\r\n
CSeq: 1\r\n
User-Agent: <UserAgent>\r\n
\r\n

RTSP/1.0 200 OK\r\n
Server: <ServerName>\r\n
CSeq: 1\r\n
Public: DESCRIBE, SETUP, TEARDOWN, PLAY, OPTIONS, SET_PARAMETER, GET_PARAMETER\r\n
\r\n

DESCRIBE rtsp://<camera_address>/video1 RTSP/1.0\r\n
CSeq: 2\r\n
User-Agent <UserAgent>\r\n
\r\n

RTSP/1.0 200 OK\r\n
Server: <ServerName>\r\n
CSeq: 2\r\n
Content-Length: <Length>\r\n
Content-Type: application/sdp\r\n
Content-Base: rtsp://<camera_address>/video1/\r\n
\r\n
v=<ProtocolVersion>\r\n
o=- <SessionIdForOrigin> 1 IN IP4 <camera_address>\r\n
s=<SessionName>\r\n
t=0 0\r\n
a=range:npt=now-\r\n
c=IN IP4 <ConnectionAddress>\r\n
m=<MediaNameAndTransportAddress>\r\n
a=rtpmap: <PayloadType> <EncodingName> / <ClockRate> \r\n
a=control:trackID=1\r\n
a=framerate:<FrameRate>\r\n
a=fmtp: <Format> <FormatSpecificParameters>\r\n

SETUP rtsp://<camera_address>/video1/trackID=1 RTSP/1.0\r\n
CSeq: 3\r\n
Transport: RTP/AVP/TCP;unicast;interleaved=0-1\r\n
User-Agent: <UserAgent>\r\n
\r\n

RTSP/1.0 200 OK\r\n
Server: <ServerName>\r\n
CSeq: 3\r\n

```

```
Session: <SessionId>[;timeout=<SessionTimeout>]\r\n
Cache-Control: must-revalidate\r\n
Transport: RTP/AVP/TCP;interleaved=0-1;ssrc=<SSRC>\r\n
\r\n

PLAY rtsp://<camera_address>/video1 RTSP/1.0\r\n
CSeq: 4\r\n
Session: <SessionId>\r\n
Range: npt=0.000-\r\n
User-Agent: <UserAgent>\r\n
\r\n

RTSP/1.0 200 OK\r\n
Server: <ServerName>\r\n
CSeq: 4\r\n
Session: <SessionId>\r\n
RTP-Info: url=trackID=1;seq=<SequenceNumber>;rtptime=...\r\n
\r\n

<Video stream in RTP payload over TCP>

GET_PARAMETER rtsp://<camera_address>/video1 RTSP/1.0\r\n
CSeq: 5\r\n
Session: <SessionId>\r\n
User-Agent: <UserAgent>\r\n
\r\n

<Video stream in RTP payload over TCP>

TEARDOWN rtsp://<camera_address>/video1 RTSP/1.0\r\n
CSeq: 6\r\n
Session: <SessionId>\r\n
User-Agent: <UserAgent>\r\n
\r\n

RTSP/1.0 200 OK\r\n
Server: <ServerName>\r\n
CSeq: 6\r\n
Session: <SessionId>\r\n
\r\n
```

UDP ユニキャストストリーム（映像）

下記に示される図（89 ページ）およびパケットキャプチャ（90 ～ 91 ページ）は、AudioIn が off の状態で、クライアントが UDP ユニキャスト経由で映像ストリームを取得する例になります。

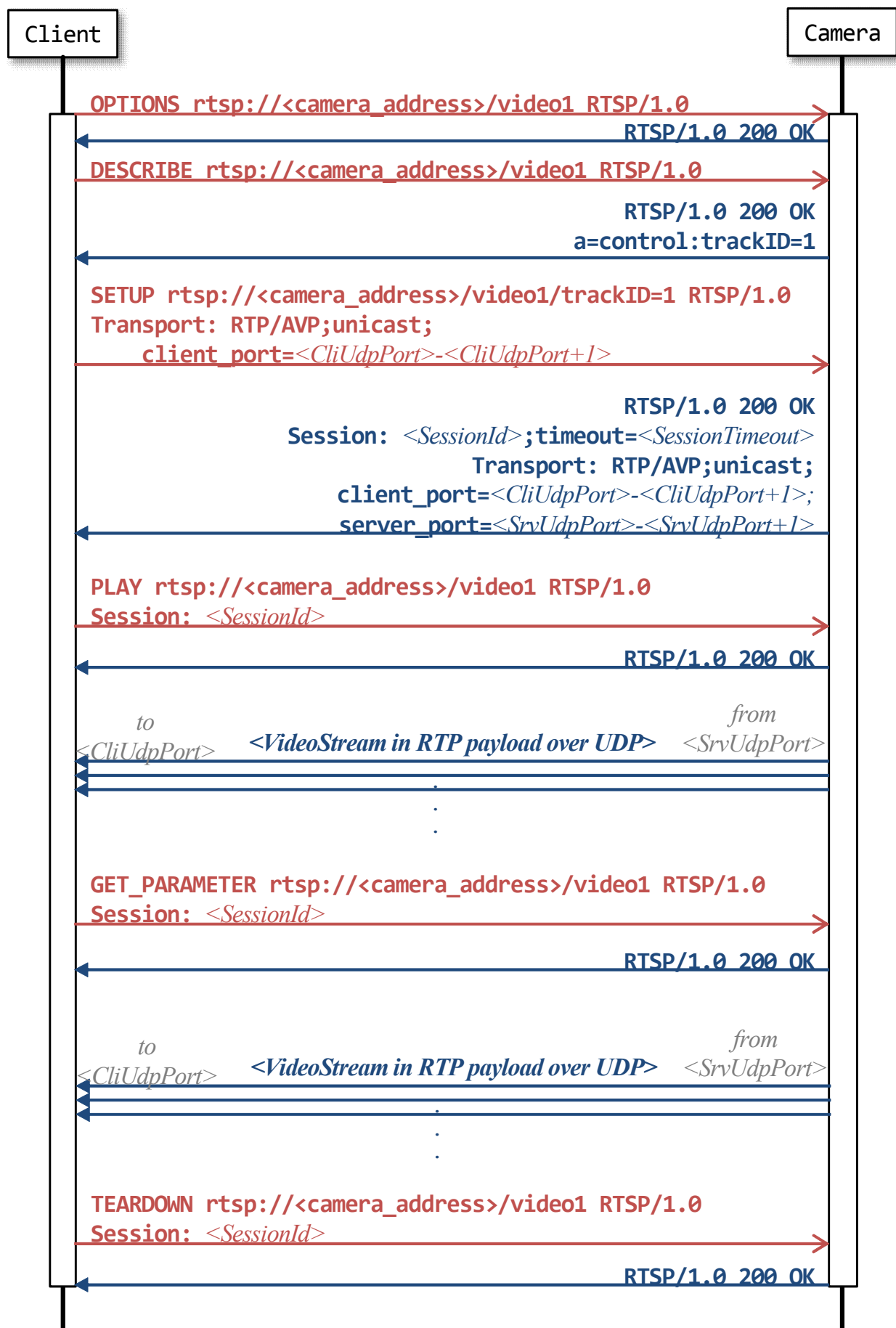
RTP/RTCP パケットの送信に使用する UDP ポート番号は、RTSP SETUP リクエストに付加される "client_port" パラメータ値がクライアントポートとして使用されます。サーバーポート（カメラ側のポート番号）については下表に示される CGI パラメーターが採用されます。

Web App でこれらの値を設定する方法については、ILME-FR7 / ILME-FR7K ヘルプガイドの「Stream メニュー」を参照してください。

CGI パラメーター	対応
RTSPUcVideoPort1	"ImageCodec1" ライブストリーミング用の UDP ユニキャストポート
RTSPUcVideoPort2	"ImageCodec2" ライブストリーミング用の UDP ユニキャストポート
RTSPUcAudioPort	"AudioCodec" ライブストリーミング用の UDP ユニキャストポート

すでに上記のパラメーターで指定された UDP ポート番号がカメラで使用されている場合は、カメラはパラメーターに指定されているポート番号に近い番号を割り当てます。クライアント側のソフトウェア実装では、上記の CGI パラメーター設定を参照することなく SETUP 応答に含まれる "server_port" に記載されるポート番号を使用して RTP/RTCP のデータを待ち受けるように実装してください。

UDPユニキャストストリーム（映像）図



UDP ユニキャストストリーム（映像）パケットキャプチャー

```
OPTIONS rtsp:// <camera_address>/video1 RTSP/1.0\r\n
CSeq: 1\r\n
User-Agent: <UserAgent>\r\n
\r\n

RTSP/1.0 200 OK\r\n
Server: <ServerName>\r\n
CSeq: 1\r\n
Public: DESCRIBE, SETUP, TEARDOWN, PLAY, OPTIONS, SET_PARAMETER, GET_PARAMETER\r\n
\r\n

DESCRIBE rtsp:// <camera_address>/video1 RTSP/1.0\r\n
CSeq: 2\r\n
User-Agent: <UserAgent>\r\n
\r\n

RTSP/1.0 200 OK\r\n
Server: <ServerName>\r\n
CSeq: 2\r\n
Content-Length: <Length>\r\n
Content-Type: application/sdp\r\n
Content-Base: rtsp:// <Address>/video1/\r\n
\r\n
v=0\r\n
o=- <SessionIdForOrigin> 1 IN IP4 <camera_address>\r\n
s=<SessionName>\r\n
t=0 0\r\n
a=range:npt=now-\r\n
c=IN IP4 <ConnectionAddress>\r\n
m=<MediaNameAndTransportAddress>\r\n
a=rtpmap: <PayloadType> <EncodingName> / <ClockRate> \r\n
a=control:trackID=1\r\n
a=framerate: <FrameRate>\r\n
a=fmtp: <Format> <FormatSpecificParameters>\r\n

SETUP rtsp:// <camera_address>/video1/trackID=1 RTSP/1.0\r\n
CSeq: 3\r\n
Transport: RTP/AVP;unicast;client_port=<CliUdpPort>-<CliUdpPort+1>\r\n
User-Agent: <UserAgent>\r\n
\r\n

RTSP/1.0 200 OK\r\n
Server: <ServerName>\r\n
CSeq: 3\r\n
Session: <SessionId>[;timeout=<SessionTimeout>]\r\n
Cache-Control: must-revalidate\r\n
Transport: RTP/AVP;unicast;client_port=<CliUdpPort>-<CliUdpPort+1>;source=<SourceAddress>;server_port=<SrvUdpPort>-<SrvUdpPort+1>;ssrc=<SSRC>\r\n
\r\n
```

```

PLAY rtsp:// <camera_address>/video1 RTSP/1.0\r\n
CSeq: 4\r\n
Session: <SessionId>\r\n
Range: npt=0.000-\r\n
User-Agent: <UserAgent>\r\n
\r\n

RTSP/1.0 200 OK\r\n
Server: <ServerName>\r\n
CSeq: 4\r\n
Session: <SessionId>\r\n
RTP-Info: url=trackID=1; seq= <SequenceNumber>; rtpptime=...\r\n
\r\n

<Video stream in RTP payload over UDP unicast>

GET_PARAMETER rtsp:// <camera_address>/video1 RTSP/1.0\r\n
CSeq: 5\r\n
Session: <SessionId>\r\n
User-Agent: <UserAgent>\r\n
\r\n

<Video stream in RTP payload over UDP unicast>

TEARDOWN rtsp:// <camera_address>/video1 RTSP/1.0\r\n
CSeq: 6\r\n
Session: <SessionId>\r\n
User-Agent: <UserAgent>\r\n
\r\n

RTSP/1.0 200 OK\r\n
Server: <ServerName>\r\n
CSeq: 6\r\n
Session: <SessionId>\r\n
\r\n

```

音声ストリームを取得する

ここで記録された以下のパケットは **Audioln** が **on** の状態でクライアントが TCP 経由で音声ストリームを取得する例になります。

UDP ユニキャストを経由する RTSP 音声ストリーミングについての説明は省略しています。これらは「UDP ユニキャストストリーム（映像）」（88 ページ）に記載の映像ストリーミングの類似事例によって説明されています。

映像と音声のストリーム両方を取得する

AudiIoIn が on の設定でクライアントが映像ストリームを要求する場合は、カメラは RTSP セッションで映像ストリームと音声ストリームを一度に送ります。ここで記録された以下のパケットは映像ストリームと音声ストリーム両方をカメラから一度で取得する例になります。

下図は“DESCRIBE”要求に対する RTSP 応答でのセッションは2つのメディアの記述を含んでいます。一つ目は映像で、二つ目が音声です。

```
DESCRIBE rtsp://<camera_address>/video1 RTSP/1.0\r\n
CSeq: 3\r\n
User-Agent: <User.Agent>\r\n
\r\n
RTSP/1.0 200 OK\r\n
Server: <ServerName>\r\n
CSeq: 3\r\n
Content-Length: <Length>\r\n
Content-Type: application/sdp\r\n
Content-Base: rtsp://<camera_address>/video1/\r\n
\r\n
v=0\r\n
o=- <SessionIdForOrigin> 1 IN IP4 <camera_address>\r\n
s= <SessionName>\r\n
t=0 0\r\n
a=range:npt=now- \r\n
c=IN IP4 <ConnectionAddress>\r\n
m=video 0 RTP/AVP 105\r\n
a=rtpmap:105 H264/90000\r\n
a=control:trackID=1\r\n
a=framerate:30.0\r\n
a=fmtp:105 packetization-mode=1; profile-level-id=640002a; sprop-parameter-set
s=Z2QAKqwsaoHgCJ+XAWiAAAH0gAB1MEI=,a048sA==\r\n
m=audio 0 RTP/AVP 103\r\n
a=rtpmap:101 mpeg4-generic/48000/2\r\n
a=control:trackID=2\r\n
a=fmtp:103 profile-level-id=2; streamtype=5; mode=AAC-hbr; config=1190; SizeLe
ngth=13; IndexLength=3; IndexDeltaLength=3; Profile=1; bitrate=256000;\r\n
SETUP rtsp://<camera_address>/video1/trackID=1 RTSP/1.0\r\n
CSeq: 4\r\n
User-Agent: <User.Agent>\r\n
Transport: RTP/AVP;unicast;client_port=<CliUdpPrt>-<CliUdpPort+1>\r\n
```

```

\r\n
RTSP/1.0 200 OK
Server: <ServerName>\r\n
CSeq: 4\r\n
Session: <SessionId>;timeout=<SessionTimeout>\r\n
Cache-Control: must-revalidate\r\n
Transport: RTP/AVP;unicast;client_port=<CliUdpPrt>-<CliUdpPrt+1>;source=<SrcIpAddress>;server_port=<ServerPort>;ssrc=<SSRC>\r\n
SETUP rtsp://<camera_address>/video1/trackID=2 RTSP/1.0\r\n
CSeq: 5\r\n
User-Agent: <UserAgent>\r\n
Transport: RTP/AVP;unicast;client_port=<CliUdpPrt>-<CliUdpPrt+1>\r\n
Session: <SessionId>\r\n
\r\n
RTSP/1.0 200 OK\r\n
Server: <ServerName>\r\n
CSeq: 5\r\n
Session: <SessionId>;timeout=<SessionTimeout>\r\n
Cache-Control: must-revalidate\r\n
Transport: RTP/AVP;unicast;client_port=<CliUdpPrt>-<CliUdpPrt+1>;source=<SrcIpAddress>;server_port=<ServerPort>;ssrc=<SSRC>\r\n
PLAY rtsp://<camera_address>/video1 RTSP/1.0\r\n
CSeq: 6\r\n
User-Agent: <UserAgent>\r\n
Session: <SessionId>\r\n
Range: npt=0.000-\r\n
\r\n
RTSP/1.0 200 OK\r\n
Server: <ServerName>\r\n
CSeq: 6\r\n
Session: <SessionId>\r\n
RTP-Info: url=trackID=1;seq=<SeqNoTrackId1>;rtptime=0,url=trackID=2;seq=<SeqNumTrackId2>;rtptime=0\r\n

```

rtpmap 属性

“DESCRIBE” 要求に対する RTSP の応答での “rtpmap” 属性値は、メディアストリームのコーデックによって異なります。下記は一例です。

コーデック	rtpmap 属性値
H.264	a=rtpmap:105 H264/90000\r\n
H.265	a=rtpmap:96 H265/90000\r\n
AAC (128 kbps)	a=rtpmap:102 mpeg4-generic/48000/2\r\n
AAC (256 kbps)	a=rtpmap:103 mpeg4-generic/48000/2\r\n

RTP/RTCP

RTP ヘッダーフィールド

RTP ヘッダーには以下のフォーマットがあります。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
V		P	X	CC				M	PT							Sequence Number															
Timestamp																															
Synchronization Source (SSRC) Identifier																															
Contributing Source (CSRC) Identifier																															
Payload data																															

フィールド	ビット長	内容
Version	2	このフィールドは RTP のバージョンを識別します。この仕様によって定義されるバージョンは 2 つです。
Padding	1	パディングビットが設定されると、パケットは最終的にペイロードではない追加の 8 ビットパディングを 1 つ以上含みます。パディングの最後の 8 ビットは、8 ビットパディングをいくつ無視するかのカウントを含みます。
Extension	1	拡張ビットが設定されると固定ヘッダーは正確に 1 つの拡張ヘッダーが続きます。
CSRC Count	4	CSRC カウントは固定ヘッダーに続く CSRC 識別子の数を含みます。
Marker	1	マーカの解釈はプロファイルで定義されます。パケットストリームでマークされるフレーム境界線のような重要なイベントを可能にします。
Payload Type	7	このフィールドでは RTP ペイロードのフォーマットを識別し、アプリケーションによるフォーマットを決めます。
Sequence Number	16	シーケンス番号は送信される各 RTP データパケットにつき 1 つ増加し、パケットロスを検知したりパケットシーケンスを回復するための受信装置によって使用されます。
Timestamp	32	タイムスタンプは RTP データパケットの初めの 8 ビットサンプリング時点を示します。サンプリング時点は同期とジッター計算を許容する単調で直線的に増加するクロックから算出されなければなりません。
Synchronization Source (SSRC) Identifier	32	SSRC フィールドは同期ソースを識別します。この識別子は同じ RTP セッション内で 2 つの同期するソースが同じ SSRC 識別子を持たない目的でランダムに選択されます。
Contributing Source (CSRC) Identifier	32	CSRC リストはこのパケットに含まれるペイロードに与えるソースを識別します。識別子の数は CC フィールドで付与されます。

SR : RTCP パケットの送信者レポート

RTCP 送信者レポートのヘッダーには以下のフォーマットがあります。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
V		P	RC					PT								Length															
Synchronization Source (SSRC) Identifier																															
NTP Timestamp (32bit x 2)																															
RTP Timestamp																															
Sender's Packet Count																															
Sender's Octet Count																															
Report Block 1st																															
Report Block 2nd																															

フィールド	ビット長	内容
Version	2	RTP データパケットと同じ RTCP パケットの RTP のバージョンを識別します。この仕様によって定義されるバージョンは 2 つです。
Padding	1	パディングビットが設定されると、パケットは最終的にペイロードではない追加の 8 ビットパディングを 1 つ以上含みます。パディングの最後の 8 ビットは、8 ビットパディングをいくつ無視するかのカウントを含みます。
Reception Report Count	5	このパケットに含まれる受信レポートブロックの数。ゼロ値は有効です。
Packet Type	8	これを RTCP SR パケットとみなすために定数 200 を含みます。
Length	16	この RTCP パケットの長さは 32 ビットでのワードを 1 マイナスします。ヘッダーとパディングを含みます。
Synchronization Source (SSRC) Identifier	32	同期ソースはこの SR パケットの元を識別します。
NTP Timestamp	64	本レポートが送信された実時間を示します。他のレセプションレポートから得られたタイムスタンプと合わせて、送受信者間のラウンドトリップタイムを計測できます。
RTP Timestamp	32	上記と同じ NTP タイムスタンプに相当しますが、同じ単位でデータパケットの RTP タイムスタンプと同等のランダムオフセットを備えています。
Sender's Packet Count	32	伝送が始まってこの SR パケットが生成された時間までに送信者が送信した RTP データパケットの総数
Sender's Octet Count	32	伝送が始まってこの SR パケットが生成された時間までに送信者が RTP データパケットで送信した（ヘッダーやパディングを含まない）8 ビットペイロードの総数。カウントは送信者が SSRC 識別子を変更するとリセットされます。

映像ストリームの Userdata 情報

RTSP ストリーミング機能を用いて配信される映像ストリームには補助的な情報である Userdata フィールドが追加されています。本章では本機がサポートする Userdata フィールドのデータ構造について説明します。

ビデオコーデック H.264 Userdata 情報

ビデオコーデックが H.264 に設定されているときの Userdata フィールドのデータ構造について説明します。RTP Packet として H.264 Userdata がカメラから送信される場合には下図のような形式のデータとなります。

RTP Header	NAL Unit Octet							Payload Type	Size	UUID	User Data	End Code	
	0	1	2	3	4	5	6						7
	F	NRI		NAL Unit Type									
	0	0	6				0x05						

上記のうち RTP Header 部分を除くデータの詳細について下表に示します。

フィールド		バイト長	オフセット	内容
NAL Unit Octet		1	0	このフィールドは 0x06 です。
Payload Type		1	1	このフィールドは 0x05 です。
Size		1	2	このフィールドは UUID と "user data" の総バイト長を示しています。
UUID		16	3	このフィールドはカメラの MAC アドレスを示しています。
User Data	Date Time	33	19	このフィールドはローカル時間を示しています。 [例] CamTim: 2020-01-01 Wed 15:15:15\r\n
	Frame Rate	15	52	このフィールドは映像ストリームの現在のフレームレートを示しています。 [例] FrmRate: 60.0\r\n
	Time Stamp	22	67	このフィールドは 90kHz タイマーによって増加する値を示しています。(1 増加するごとに約 11 ミリ秒) [例] TimeStamp: 0000000001\r\n
	PTZ Position	28	89	このフィールドはパン、チルト、ズームの位置を示しています。 [例] CamPos: 111pppppttttzzzm\r\n カメラが PTZ をサポートする場合、初めの 3 つの数字は 111 です。 続く "ppppp"、"ttttt"、"zzzz" はそれぞれパン、チルト、ズームの位置を示します。 最後の "m" は次のステータスを示します。 "M" : カメラが動作中 "S" : カメラが停止中
	Tally	10	117	このフィールドはタリールンプのステータスを示しています。0: オフ / 1: オン [例] Tally: 0\r\n
	Stream	14	127	このフィールドはストリーミングの状態を示しています。 [例] Stream: xxxx\r\n "IVLD" : ステータス無し "OFF" : Streaming 未接続 "STM" : ストリーミング配信中
End Code		1	141	このフィールドは 0x80 です。

ビデオコーデック H.265 Userdata 情報

ビデオコーデックが H.265 に設定されているときの Userdata フィールドのデータ構造について説明します。RTP Packet として H.265 Userdata がカメラから送信される場合には下図のような形式のデータとなります。

RTP Header	NAL Unit Header																Payload Type	Size	UUID	User Data	End Code	
	0	1	2	3	4	5	6	7	0	1	2	3	4	5	6	7						
	F	Type						Layer ID						TID								
	0	0x27						0						1								
	0x05																					

上記のうち RTP Header 部分を除くデータの詳細について下表に示します。

フィールド		バイト長	オフセット	内容
NAL Unit Header		2	0	このフィールドは 0x4e01 です。
Payload Type		1	2	このフィールドは 0x05 です。
Size		1	3	このフィールドは UUID と “user data” の総バイト長を示しています。
UUID		16	4	このフィールドはカメラの MAC アドレスを示しています。
User Data	Date Time	33	20	このフィールドはローカル時間を示しています。 [例] CamTim: 2020-01-01 Wed 15:15:15\r\n
	Frame Rate	15	53	このフィールドは映像ストリームの現在のフレームレートを示しています。 [例] FrmRate: 60.0\r\n
	Time Stamp	22	68	このフィールドは 90kHz タイマーによって増加する値を示しています。(1 増加するごとに約 11 ミリ秒) [例] TimeStamp: 0000000001\r\n
	PTZ Position	28	90	このフィールドはパン、チルト、ズームの位置を示しています。 [例] CamPos: 111pppppttttzzzzm\r\n カメラが PTZ をサポートする場合、初めの 3 つの数字は 111 です。 続く “ppppp”、“ttttt”、“zzzz” はそれぞれパン、チルト、ズームの位置を示します。 最後の “m” は次のステータスを示します。 “M” : カメラが動作中 “S” : カメラが停止中
	Tally	10	118	このフィールドはタリールランプのステータスを示しています。0: オフ / 1: オン [例] Tally: 0\r\n
	Stream	14	128	このフィールドはストリーミングの状態を示しています。 [例] Stream: xxxx\r\n “IVLD” : ステータス無し “OFF” : Streaming 未接続 “STM” : ストリーミング配信中
End Code		1	142	このフィールドは 0x80 です。

SRT 要求 URL

ライブストリームを取得するためにカメラの SRT が要求する URL は以下です。

要求する URL	内容
<code>srt://<camera_address>:<SrtListenPort>/</code>	CGI パラメーター “ImageCodec1”** とその関連するパラメーターに対応するコーデックから映像 * ストリームを要求します。 * 状況によって音声ストリームは映像ストリームと一緒に送信されます。 ** ImageCodec1 はカメラの Web メニューの “Video Stream 1” に対応します。

モーション JPEG 取得 URL

モーション JPEG を取得する URL は以下です。

要求する URL	内容
<code>http://<camera_address>/mjpeg</code> <code>http://<camera_address>/image3</code> * どちらも同一の内容です。	CGI パラメーター “ImageCodec3”* とその関連するパラメーターに対応する映像から、動画としてモーション JPEG を取得します。 * ImageCodec3 はカメラの Web メニューの “Video Stream 3” に対応します。

動画像（MJPEG）の出力データは “サーバープッシュ形式” で出力されます。これは JPEG 画像データ間に境界文字列が挿入される形式です。境界文字列と空行の間には以下のような HTTP ヘッダが挿入されます。

- Content-Type ヘッダデータ：チャンクが `image/jpeg` という形式であることを示しています。
- CamTim ヘッダ：セットの現在時刻を示すヘッダです。
- DataLen ヘッダ：チャンクに納められている JPEG データのデータサイズが格納されます。サイズは 8 桁固定で示され、上位桁は 0 で埋められます。

以下に応答データの例を示します。

```
HTTP/1.0 200 OK\r\n
Content-Type: multipart/x-mixed-replace;boundary=--myboundary\r\n
\r\n
--myboundary\r\n
Content-Type: image/jpeg\r\n
CamTim: 2004-05-18 Tue 10:13:05\r\n
\r\n
<JPEG image data>\r\n
--myboundary\r\n
Content-Type: image/jpeg\r\n
CamTim: 2004-05-18 Tue 10:13:05\r\n
\r\n
<JPEG image data>\r\n
--myboundary\r\n
Content-Type: image/jpeg\r\n
CamTim: 2004-05-18 Tue 10:13:06\r\n
\r\n
<JPEG image data>\r\n
--myboundary\r\n
```

One Shot JPEG 取得 URL

One Shot JPEG を取得する URL は以下です。

要求する URL	内容
http://<camera_address>/oneshotimage1	CGI パラメーター "ImageCodec1"* とその関連するパラメーターに対応するコーデックの映像から、静止画として JPEG を取得します。 * ImageCodec1 はカメラの Web メニューの "Video Stream 1" に対応します。
http://<camera_address>/oneshotimage2	CGI パラメーター "ImageCodec2"* とその関連するパラメーターに対応するコーデックの映像から、静止画として JPEG を取得します。 * ImageCodec2 はカメラの Web メニューの "Video Stream 2" に対応します。

CGI コマンド設定値

シャッター (Speed)

Value	映像出力方式 (ビデオフォーマット)				
	59.94P	50P	29.97P	25P	24P/ 23.98P
1	-	-	-	-	64F
2	-	-	-	-	32F
3	-	-	64F	64F	16F
4	-	-	32F	32F	8F
5	64F	64F	16F	16F	7F
6	32F	32F	8F	8F	6F
7	16F	16F	7F	7F	5F
8	8F	8F	6F	6F	4F
9	7F	7F	5F	5F	3F
10	6F	6F	4F	4F	2F
11	5F	5F	3F	3F	1/24
12	4F	4F	2F	2F	1/32
13	3F	3F	1/30	1/25	1/48
14	2F	2F	1/40	1/33	1/50
15	1/50	1/50	1/50	1/50	1/60
16	1/60	1/60	1/60	1/60	1/96
17	1/100	1/100	1/100	1/100	1/100
18	1/120	1/120	1/120	1/120	1/120
19	1/125	1/125	1/125	1/125	1/125
20	1/250	1/250	1/250	1/250	1/250
21	1/500	1/500	1/500	1/500	1/500
22	1/1000	1/1000	1/1000	1/1000	1/1000
23	1/2000	1/2000	1/2000	1/2000	1/2000
24	1/4000	1/4000	1/4000	1/4000	1/4000
25	1/8000	1/8000	1/8000	1/8000	1/8000

シャッター (Angle)

Value	Angle
1	64F
2	32F
3	16F
4	8F
5	7F
6	6F
7	5F
8	4F
9	3F
10	2F
11	360.0°
12	300.0°
13	270.0°
14	240.0°
15	216.0°
16	210.0°
17	180.0°
18	172.8°
19	150.0°
20	144.0°
21	120.0°
22	90.0°
23	86.4°
24	72.0°
25	45.0°
26	30.0°
27	22.5°
28	11.25°
29	5.6°

ISO

Value	ISO
8	ISO 320
9	ISO 400
10	ISO 500
11	ISO 640
12	ISO 800
13	ISO 1000
14	ISO 1250
15	ISO 1600
16	ISO 2000
17	ISO 2500
18	ISO 3200
19	ISO 4000
20	ISO 5000
21	ISO 6400
22	ISO 8000
23	ISO 10000
24	ISO 12800
25	ISO 16000
26	ISO 20000
27	ISO 25600
28	ISO 32000
29	ISO 40000
30	ISO 51200
31	ISO 64000
32	ISO 80000
33	ISO 102400
34	ISO 128000
35	ISO 160000
36	ISO 204800
37	ISO 256000
38	ISO 320000
39	ISO 409600

ゲイン

Value	Gain
6	-3dB
7	-2dB
8	-1dB
9	0dB
10	1dB
11	2dB
12	3dB
13	4dB
14	5dB
15	6dB
16	7dB
17	8dB
18	9dB
19	10dB
20	11dB
21	12dB
22	13dB
23	14dB
24	15dB
25	16dB
26	17dB
27	18dB
28	19dB
29	20dB
30	21dB
31	22dB
32	23dB
33	24dB
34	25dB
35	26dB
36	27dB
37	28dB
38	29dB
39	30dB

Exposure Index

Value	Base ISO	
	ISO 800	ISO 12800
1	200EI / 4.0E	3200EI / 4.0E
2	250EI / 4.3E	4000EI / 4.3E
3	320EI / 4.7E	5000EI / 4.7E
4	400EI / 5.0E	6400EI / 5.0E
5	500EI / 5.3E	8000EI / 5.3E
6	640EI / 5.7E	10000EI / 5.7E
7	800EI / 6.0E	12800EI / 6.0E
8	1000EI / 6.3E	16000EI / 6.3E
9	1250EI / 6.7E	20000EI / 6.7E
10	1600EI / 7.0E	25600EI / 7.0E
11	2000EI / 7.3E	32000EI / 7.3E
12	2500EI / 7.7E	40000EI / 7.7E
13	3200EI / 8.0E	51200EI / 8.0E

ND フィルター

Value	ND Filter
0	1/4
1	1/5
2	1/6
3	1/7
4	1/8
5	1/10
6	1/11
7	1/13
8	1/16
9	1/19
10	1/23
11	1/27
12	1/32
13	1/38
14	1/45
15	1/54
16	1/64
17	1/76
18	1/91
19	1/108
20	1/128

AE Level

Value	AE Level
24	+3.0
23	+2.75
22	+2.5
21	+2.25
20	+2.0
19	+1.75
18	+1.5
17	+1.25
16	+1.0
15	+0.75
14	+0.5
13	+0.25
12	±0
11	-0.25
10	-0.5
9	-0.75
8	-1.0
7	-1.25
6	-1.5
5	-1.75
4	-2.0
3	-2.25
2	-2.5
1	-2.75
0	-3.0

フォーカス位置

位置	Value	備考
Far 端	0000	
Near 端	FFFF	

Monitoring Output Format

Value	Monitoring Output Format	
	SDI	HDMI
s4096p_h4096p	4096×2160P	4096×2160P
s4096p_h1920p	4096×2160P	1920×1080P
s4096p_h1920i	4096×2160P	1920×1080i
s3840p_h3840p	3840×2160P	3840×2160P
s3840p_h1920p	3840×2160P	1920×1080P
s3840p_h1920i	3840×2160P	1920×1080i
s1920plva_h1920p	1920×1080P (Level A)	1920×1080P
s1920plva_h1920i	1920×1080P (Level A)	1920×1080i
s1920plvb_h1920p	1920×1080P (Level B)	1920×1080P
s1920plvb_h1920i	1920×1080P (Level B)	1920×1080i
s1920i_h1920i	1920×1080i	1920×1080i
snone_h720p	–	59.94:720×480P 50:720×576P
s1920p_h1920p	1920×1080P	1920×1080P
s1920ipsf_h1920p	1920×1080i (PsF)	1920×1080P
s1920ipsf_h1920i	1920×1080i (PsF)	1920×1080i

S&Q Frame Rate

Value	S&Q Frame Rate
1	1 fps
:	:
60	60 fps
61	100 fps
62	120 fps
63	150 fps
64	180 fps
65	200 fps
66	240 fps

* Value が 1 ～ 60 までの間はフレームレートの値になります。

アサインابلボタンの機能

Value	アサインابلボタンの機能
1	Off
2	Base ISO/Sensitivity
3	AGC
4	Push AGC
5	ND Filter
6	ND Filter Position
7	Auto ND Filter
8	Push Auto ND
9	Auto Iris
10	Push Auto Iris
11	Bokeh Control
12	Auto Shutter
13	AE Level/Mode
14	予約
15	Backlight
16	Spotlight
17	Preset White Select
18	ATW
19	ATW Hold
20	AF Speed/Sens.
21	Focus Setting
22	予約
23	予約
24	Face/Eye Detection AF
25	Push AF Mode
26	Push AF/Push MF
27	Focus Hold
28	予約
29	予約
30	予約
31	S&Q Motion
32	LUT On/Off
33	SteadyShot
34	Crop Select
35	Rec
36	Picture Cache Rec
37	Rec Review
38	Clip Flag OK
39	Clip Flag NG
40	Clip Flag Keep
41	Slot Select
42	Color Bars
43	予約
44	DURATION/TC/U-BIT
45	Display

Value	アサインابلボタンの機能
46	Lens Info
47	Video Signal Monitor
48	Marker
49	予約
50	予約
51	予約
52	予約
53	予約
54	予約
55	Thumbnail
56	予約
57	予約
58	予約
59	予約
60	Auto Upload (Proxy)
61	Direct Menu
62	User Menu
63	予約

Interval Rec Time

Value	IntervalRecTime
1	1 s
2	2 s
3	3 s
4	4 s
5	5 s
6	6 s
7	7 s
8	8 s
9	9 s
10	10 s
11	15 s
12	20 s
13	30 s
14	40 s
15	50 s
16	1 min
17	2 min
18	3 min
19	4 min
20	5 min
21	6 min
22	7 min
23	8 min
24	9 min
25	10 min
26	15 min
27	20 min
28	30 min
29	40 min
30	50 min
31	1 h
32	2 h
33	3 h
34	4 h
35	6 h
36	12 h
37	24 h

画像サイズ (ImageSize)

Monitoring Output Format HDMI	Frequency	Image Size1	Image Size2	Image Size3
4096x2160 (DCI-4K)	59.94P/50P	4096x2160 2048x1080	–	1024x540
	29.97P/25P	4096x2160 2048x1080	4096x2160 2048x1080 512x270	1024x540
	23.98P	4096x2160 2048x1080	4096x2160 2048x1080 512x270	1024x540
	24P	4096x2160 2048x1080	4096x2160 2048x1080 512x270	1024x540
3840x2160	59.94P/50P	3840x2160 1920x1080 1280x720 640x360	–	1280x720 640x360
	29.97P/25P	3840x2160 1920x1080 1280x720 640x360	3840x2160 1920x1080 1280x720 640x360	1280x720 640x360
	23.98P	3840x2160 1920x1080 1280x720 640x360	3840x2160 1920x1080 1280x720 640x360	1280x720 640x360
1920x1080	59.94P/50P	1920x1080 1280x720 640x360	1920x1080 1280x720 640x360	1280x720 640x360
	59.94i/50i	1920x1080 1280x720 640x360	1920x1080 1280x720 640x360	1280x720 640x360
	29.97P/25P	1920x1080 1280x720 640x360	1920x1080 1280x720 640x360	1280x720 640x360
	23.98P	1920x1080 1280x720 640x360	1920x1080 1280x720 640x360	1280x720 640x360
	24P	1920x1080 1280x720 640x360	1920x1080 1280x720 640x360	1280x720 640x360
720x480	59.94P	–	–	–
720x576	50P	–	–	–

パン・チルト

パン・チルト速度、プリセット駆動速度（参考値）

単位：°/秒

Value	Speed Step		
	Normal		Extended
	Speed Mode		
	Normal	Slow	
1	0.05	0.05	0.02
2	0.1	0.1	0.03
3	0.2	0.2	0.06
4	0.4	0.3	0.09
5	0.5	0.4	0.14
6	0.8	0.6	0.2
7	1.1	0.9	0.3
8	1.4	1.2	0.4
9	1.9	1.5	0.6
10	2.5	1.9	0.7
11	3.2	2.5	1.0
12	4.0	3.1	1.3
13	5.1	3.9	1.6
14	6.4	4.8	2.0
15	8.0	6.0	2.5
16	10.0	7.3	3.1
17	12.5	9.1	3.7
18	15.5	11.3	4.4
19	19.6	13.8	5.3
20	24.2	17.0	6.2
21	30.1	20.9	7.1
22	37.8	26.0	8.2
23	47.1	31.8	9.4
24	60.0	40.0	10.7
25	–	–	12.0
26	–	–	13.4
27	–	–	15.1
28	–	–	16.7
29	–	–	18.2
30	–	–	20.0
31	–	–	21.9
32	–	–	23.7
33	–	–	25.5
34	–	–	27.5
35	–	–	29.4
36	–	–	31.5
37	–	–	33.6
38	–	–	35.7
39	–	–	38.1

Value	Speed Step		
	Normal		Extended
	Speed Mode		
	Normal	Slow	
40	–	–	40.0
41	–	–	41.8
42	–	–	44.2
43	–	–	46.1
44	–	–	48.2
45	–	–	50.1
46	–	–	52.1
47	–	–	54.3
48	–	–	56.3
49	–	–	58.3
50	–	–	60.0

ズーム位置

ズーム位置の Value は 16 進数です。

位置	Value	備考
光学 Wide 端	0000	
光学 Tele 端	4000	
Clear Image Zoom 1.5x	5556	3840x2160 以上時の Clear Image Zoom Tele 端
Clear Image Zoom 2.0x	6000	Clear Image Zoom Tele 端

予約ポート

ポート番号	備考
52380	IP Setup プロトコルで使用
52381	VISCA over IP で使用

カメラ IP 設定コマンド

カメラに対して IP アドレス、カメラの名前を設定するため以下のコマンドが用意されています。

No.	名称	説明
1	Setting Protocol : 問い合わせ	コントローラーが、カメラのネットワーク設定を問い合わせる
2	Setting Protocol : 問い合わせ応答	カメラが、コントローラーの問い合わせに対して応答する
3	Setting Protocol : ネットワーク設定	コントローラーが、カメラのネットワーク設定を行う
4	Setting Protocol : ネットワーク設定応答	カメラが、コントローラーのネットワーク設定に対して応答する

カメラのネットワーク設定を行う場合、以下の通信シーケンスで行います。
設定用コンピュータはカメラと同じセグメントに接続してください。

1 問い合わせ

コントローラーは、問い合わせパケットを UDP のブロードキャストアドレス (255.255.255.255)、指定ポート番号 (52380) 宛てに送信する。カメラは問い合わせ応答パケットで返答する。

2 ネットワーク設定

コントローラーは、ネットワーク設定パケットを UDP のブロードキャストアドレス (255.255.255.255)、指定ポート番号 (52380) 宛てに送信する。カメラは、パケット内の MAC アドレスユニットを参照し、自分への要求である場合、ネットワーク設定応答で ACK を返す。
カメラが設定に失敗した場合はネットワーク設定応答で NACK を返す。

コマンド	データ
問い合わせ UDP ブロードキャストアドレス (255.255.255.255) 指定ポート番号 (52380)	02 ENQ:network *1 FF 03
問い合わせ応答 UDP ブロードキャストアドレス (255.255.255.255) 指定ポート番号 (52380)	02 MAC:**_**_**_**_**_** *1 FF MODEL:IPCARD *1 FF SOFTVERSION:**_**_** *1 FF IPADR:**_**_**_**_** *1 FF MASK:**_**_**_**_** *1 FF GATEWAY:**_**_**_**_** *1 FF NAME:xxxxxxxx *1 FF WRITE:on *1 FF 03
ネットワーク設定 UDP ブロードキャストアドレス (255.255.255.255) 指定ポート番号 (52380)	02 MAC:**_**_**_**_**_** *1 FF IPADR:**_**_**_**_** *1 FF MASK:**_**_**_**_** *1 FF GATEWAY:**_**_**_**_** *1 FF NAME:xxxxxxxx *1 FF 03
ネットワーク設定応答 UDP ブロードキャストアドレス (255.255.255.255) 指定ポート番号 (52380)	02 ACK:**_**_**_**_**_** *2 「xxxx」 *3 FF 03

*1: ASCII コードを使用。

*2: ASCII コードを使用。NACK の場合は NAK:**_**_**_**_**_** と返信。

*3: ASCII コードを使用。必要によりここに詳細メッセージをのせて返信する。無い場合もある。

ご注意

- カメラの名前 (NAME) は英数字、スペースを含めた最大 8 文字となります。
- 問い合わせ応答の WRITE が off の場合は、ネットワーク設定によるカメラの IP アドレスおよびカメラの名前を変更できません。

- 本機は電源投入後、20 分を過ぎると自動的に WRITE が off になり、ネットワーク設定を受け付けなくなります。
- CGI コマンドの IPSetupSetEnable (56 ページ) で WRITE を off にすることもできます。CGI コマンドで off にした場合は、電源投入直後からネットワーク設定を受け付けません。カメラの IP アドレスを設定後、WRITE を off にすることで、不用意な変更を防止できます。